

デバイス管理システムマニ ュアル

<https://manual.amnimo.com>

2025年4月23日に印刷しました

目次

[はじめに](#)

[基本仕様](#)

[権限表](#)

[ダッシュボード](#)

[デバイスリスト](#)

[1. デバイスをセットアップする](#)

[2. デバイス管理システムへログインする](#)

[3. 認証情報を登録する](#)

[4. デバイスを有効化する](#)

[5. カメラを検出する](#)

[基本情報の編集](#)

[設定ファイルの操作](#)

[ファームウェアを更新する](#)

[デバイスの詳細情報を確認する](#)

[接続機器の情報を確認する](#)

[PoE/USBの開始/停止/リセット](#)

[Syslog を取得する](#)

[履歴を表示する](#)

[デバイスを非有効化する](#)

[ファイル进行操作する](#)

[デバイスプロファイルの操作](#)

[ストレージエクスプローラーの操作](#)

[タスクスケジューラーの操作](#)

[アラート通知機能の設定](#)

[ユーザー管理](#)

[remote.it の初期設定](#)

[デバイスの登録を解除する](#)

[サービスを編集する](#)

[サービスを削除する](#)

[サービスの共有を解除する](#)

[サービスを接続する](#)

[ターミナルに接続する](#)

[ターミナルを切断する](#)

[AIアプリのインストール](#)

[AIアプリの削除](#)

[リモートでデバイスを再起動する](#)

[自動キックバックをする](#)

[複数のデバイスを一括で設定する](#)

[デバイスを交換する](#)

[デバイスタグを一括管理する](#)

[外部機器の死活監視をする](#)

[設定ファイル初期化後、デバイスの通信ができない](#)

[設定ファイルの配布や取得が進まない](#)

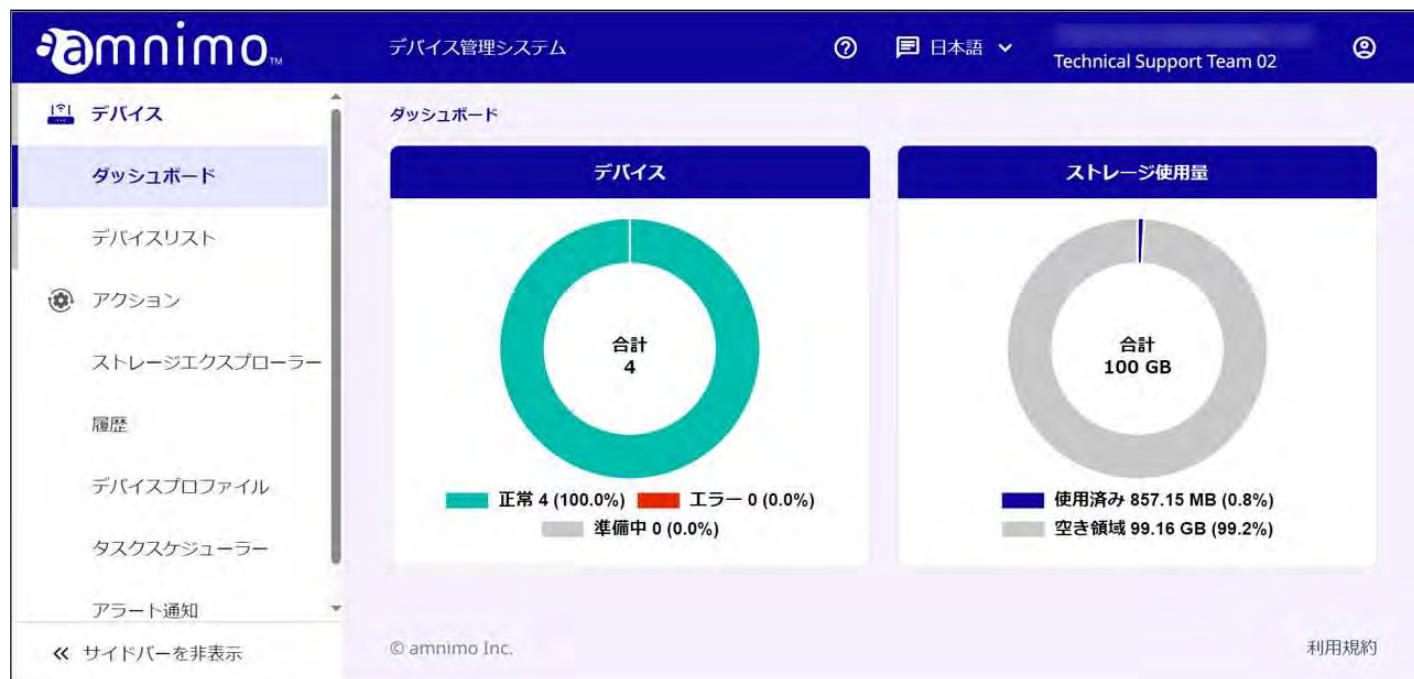
[テナントに割り当てたデバイスが表示されない](#)

[ファームウェアの更新が進まない](#)

はじめに

2024年5月27日

本マニュアルでは、デバイス管理システムの操作方法等について説明します。



デバイス管理システムの特徴

デバイス管理システムとは、多数の拠点に設置されたエッジゲートウェイやルーターなどのデバイスを、遠隔で管理、監視するソフトウェアです。

死活監視機能

デバイス管理システムは、デバイスが amnimo Cloudに接続していることを監視し、接続が切れるとデバイス管理システム上で通知します。

（接続が切れた場合、デバイス管理システム上に通知されるまでにかかる時間は最大約 15 分です。）

そのため、デバイスが動作しているかどうか遠隔で監視できます。

NOTE

デバイスは Keep Alive 機能を利用してデバイス管理システムとの通信状況を確認しており、通信が途絶えた場合に自動で再接続処理を繰り返します。再接続処理でも通信が復旧しない場合にはデバイスを再起動します。

設定変更機能

デバイス管理システムは、amnimo Cloudと接続したデバイスに設定ファイルをダウンロードして、遠隔で設定を変更できます。

NOTE

PCエッジについて、本機能は利用できません。

ファームウェア更新機能

デバイス管理システムは、最大 50 台のデバイスに対して、遠隔で同時にファームウェアを更新できます。

NOTE

PCエッジについて、本機能は利用できません。

Syslog 取得機能

デバイス管理システムは、デバイスから遠隔で Syslog を zip ファイル形式で取得できます。

Syslog は、デバイスが操作履歴やシステムからのメッセージをファイルとして保存する仕組みです。

NOTE

- デバイスで異常が発生した場合、それらを遠隔から取得することで、迅速に異常を解析できます。Syslog を取得し、[サポート](#) までご連絡ください。
- PCエッジについて、本機能は利用できません。

基本仕様

2024年5月27日

デバイス管理システムの基本仕様は以下の通りです。

- **ユーザー制限**
 - **アプリケーション管理者**：設定等すべての機能が利用可能です。
 - **エンジニア**：ユーザー管理を除き、設定等すべての機能が利用可能です。
- **表示言語**
 - 日本語
 - English
- **動作環境の条件**
 - Windows 10以降、Google Chrome（最新版）
 - ※ スマートフォンやタブレットでのご利用はサポート対象外です。

権限表

2024年5月27日

デバイス管理システムのユーザーの種類は以下の2種類です。

- アプリケーション管理者
- エンジニア



NOTE

- アプリケーション管理者は、サブテナントも含めた全てのデバイスにアクセス可能です。
- エンジニアは、所属するテナントのデバイスのみアクセスが可能です。（サブテナントへのアクセスは不可）

それぞれの権限は以下の表の通りです。

操作		権限	
カテゴリ	機能	アプリケーション管理者	エンジニア
ユーザー管理	—	○ (読み取り・更新・招待)	△ (読み取りのみ)
デバイスリスト	ダッシュボード閲覧	○	○
	検索	○	○
	デバイスリスト修復	○	○
デバイス設定	名前 / コメント	○ (読み取り・編集)	○ (読み取り・編集)
	設定ファイル操作	○	○
	ファームウェア更新	○	○
	再起動	○	○
	有効化	○	○
接続機器	名前	○ (読み取り・編集)	○ (読み取り・編集)
	ON / OFF / リセット	○	○
Syslog	取得	○	○
remote.it	各種設定	○	○
ストレージ エクスプローラー	閲覧	○	○
	検索	○	○
	アップロード	○	○
	ダウンロード	○	○
	ファイル削除	○	○
履歴	閲覧	○	○
	履歴のエクスポート	●	○
ファームウェア 更新タスク	タスクの作成	○	○
	タスクの編集	○	○
	タスクの閲覧	○	○
	タスクの削除	○	○

	タスクのキャンセル	○	○
アラート通知	アラート通知設定の新規作成	○	○
	アラート通知設定の編集	○	○
	アラート通知設定の削除	○	○

ダッシュボード

2024年5月28日

デバイス管理システムにログインすると、最初にダッシュボードが開きます。
ここでは、デバイスのステータスとストレージ使用量を確認することができます。



ダッシュボード画面

デバイス

デバイスのステータスを確認することができます。ステータスの意味は以下の通りです。

正常	アクティベーションされて、通信ができている状況のデバイスの数が表示されます。
準備中	アクティベーションされていないデバイスの数が表示されます。 アクティベーション をしてください。
エラー	アクティベーションされていますが、エラーが発生しているデバイスの数が表示されます。

グラフ上のそれぞれのステータス（正常、エラー、準備中）をクリックすると、選択したステータスで絞り込まれたリストが表示されます。

円グラフ上の表示をクリックする

ストレージ使用量

デバイスが使用しているストレージサイズと、利用可能なストレージサイズが表示されます。
グラフ上の合計部分をクリックすると、ストレージエクスプローラーが表示されます。

円グラフ上の合計部分をクリックする



デバイスリスト

2024年5月28日

デバイスリストでは、テナントに所属する各デバイスの状態が下図のように一覧で表示できます。



デバイスリスト画面

- ① 検索
- ② 状況
- ③ デバイス名
- ④ テナント名
- ⑤ 通信
- ⑥ アラート
- ⑦ ハードウェア
- ⑧ FW ver.
- ⑨ デバイスタイプ
- ⑩ デバイスタグ
- ▼
- ▼
- ▼
- ▼
- ▼
- ▼
- ▼
- ▼
- ▼

⑪ ユーザ定義	▼
⑫ タグ一覧	▼
⑬ デバイス名一括更新	▼
⑭ デバイスリストのエクスポート	▼
⑮ デバイスリストの修復	▼
⑯ デバイスの一括操作	▼
⑰ 表示項目の編集	▼

1. デバイスをセットアップする

2024年5月28日

デバイス管理システムを利用する場合、事前にデバイスをセットアップしてデバイス管理システムとの通信を確立する必要があります。

NOTE

セットアップの方法については、お使いの製品のスタートアップガイドを参照してください。

- [AIエッジゲートウェイスタートアップガイド](#)
- [エッジゲートウェイスタートアップガイド](#)
- [IoTルータースタートアップガイド](#)
- [コンパクトルータースタートアップガイド](#)



セットアップが完了し、デバイスとデバイス管理システムの通信が確立すると、リモートからも設定ファイルをデバイスにダウンロードして、設定を変更できるようになります。

WARNING

PCエッジは、セットアップが完了してもリモートから設定ファイルダウンロード、設定変更はできません。

2. デバイス管理システムへログインする

2024年5月28日

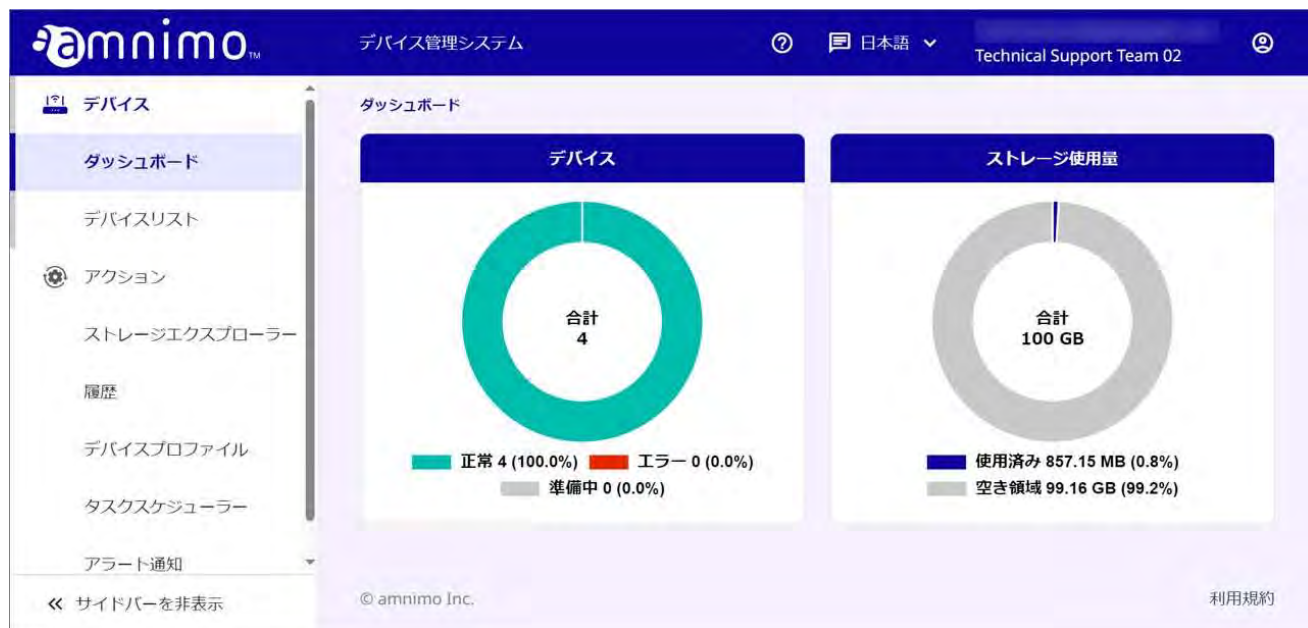
デバイスをセットアップしたら、デバイス管理システムにアクセスします。
以下の手順でログインができます。

1 [サービス管理ポータル](#) にアクセスし、サインインをします。

2 **[デバイス管理システム]** をクリックします。



3 デバイス管理システムの「ダッシュボード」が開きます。[ダッシュボード](#)では、デバイスのステータス別デバイス数やストレージ使用量などが確認できます。



テナント名の表示



3. 認証情報を登録する

2024年5月28日

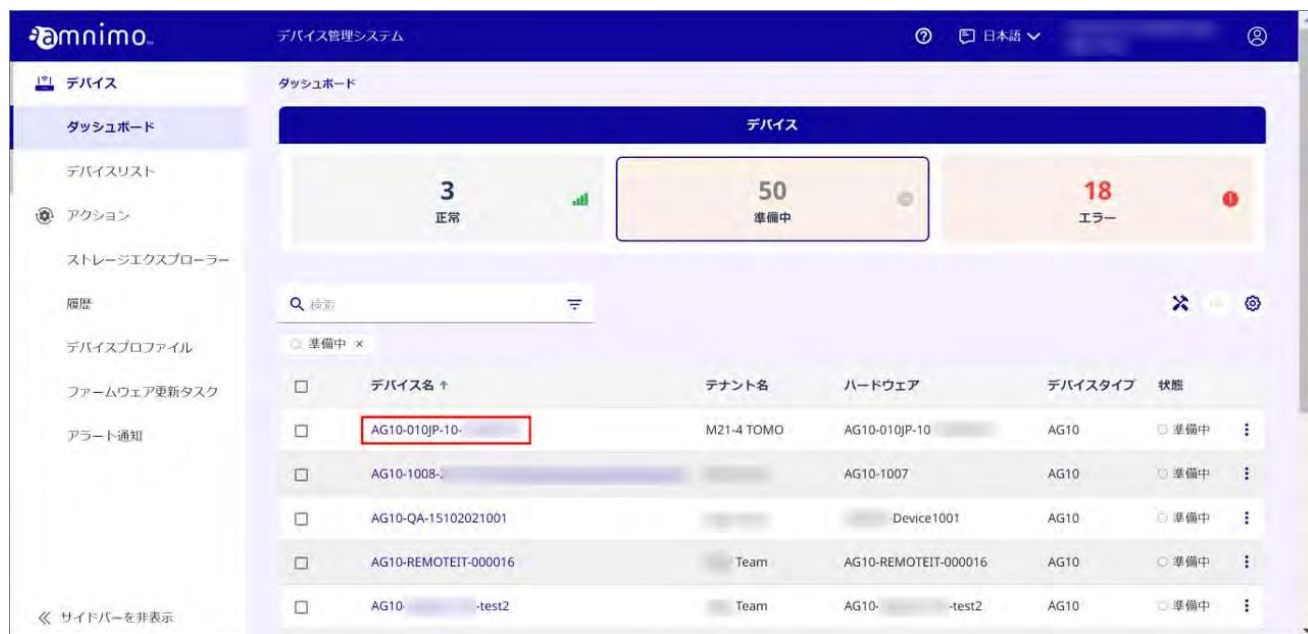
デバイスのセットアップが完了したら、Nx Witness の認証情報をデバイス管理システムに登録します。
これは、エッジゲートウェイに接続したカメラの映像を統合ビデオ管理システムでモニタリングする場合に必要な手順です。

NOTE

- 統合ビデオ管理システムを利用しない場合や、amnimo VMS を利用する場合、AX30、AR シリーズ、AC シリーズ、アムニモポータブル をご利用のお客様は、認証情報の登録は不要です。『[デバイスを有効化する](#)』に進んでください。
- 本項の『**認証情報**』とは、Nx Witness の Admin のパスワードを指します。これを登録することで、統合ビデオ管理システムでカメラ映像をモニタリングできるようになります。

認証情報登録手順

- 1 [**ダッシュボード**] または [**デバイスリスト**] を開き、対象のデバイス名を見つけてクリックします。



- 2 [**VMS 連携**] ボタンから [**認証情報**] をクリックします。



Nx Witness の Admin ユーザーのログイン情報を入力し、[保存] をクリックすると、認証情報の登録が完了します。



4. デバイスを有効化する

2024年5月28日

認証情報の登録が完了したら、デバイスを有効化（アクティベーション）を実施します。

NOTE

統合ビデオ管理システムを利用しない場合や、AR シリーズや AC シリーズをご利用のお客様は、認証情報の登録は不要です。

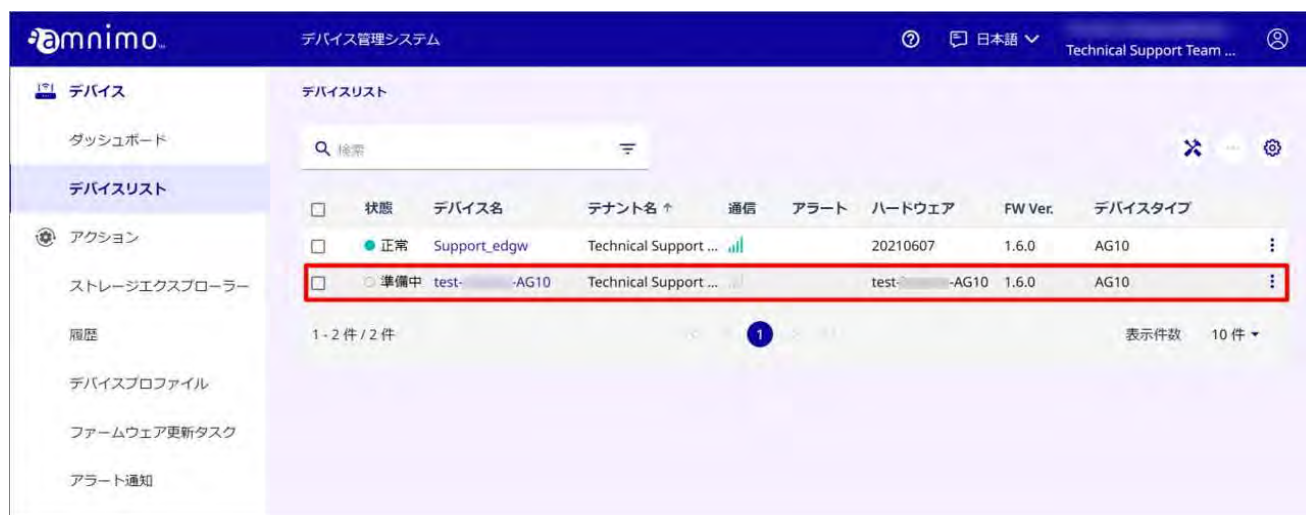
有効化が完了すると、デバイス管理システムからデバイスの状態監視や各種操作ができるようになります。

WARNING

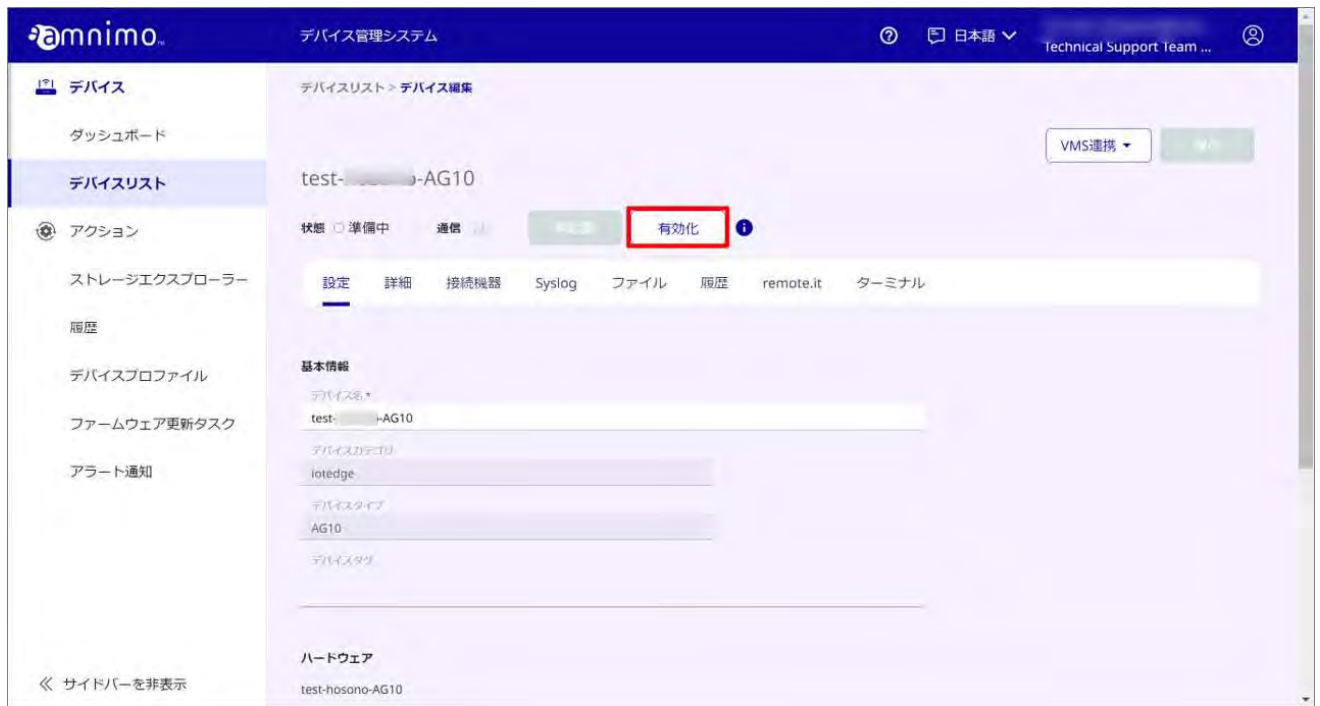
本作業は、必ずデバイスがインターネットに接続出来ていることを確認のうえ実施してください。
デバイスの有効化は通常10分程度で完了しますが、AC シリーズにおいては最大1時間かかる場合があります。
機器がお手元にある場合は、再起動することで、デバイス有効化にかかる時間を短縮することが出来ます。

有効化の手順

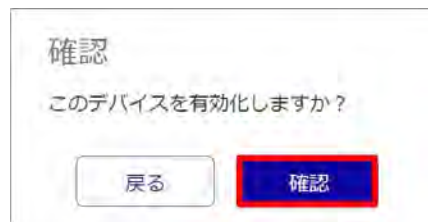
- 1 | **「デバイスリスト」を開き、状態が「準備中」となっている対象のデバイス名を見つけてクリックします。**



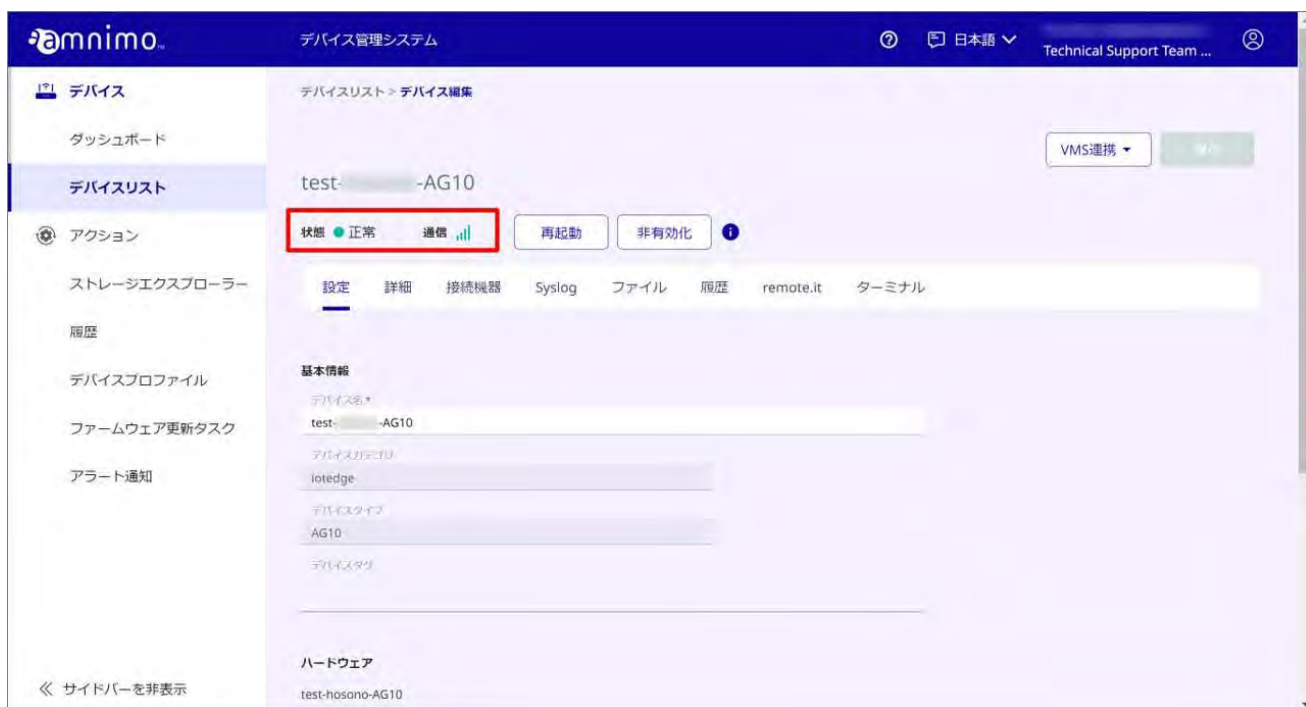
- 2 | **「有効化」をクリックします。**



3 [確認] をクリックします。



4 デバイスがインターネットに接続されると有効化が完了します。



有効化日時の確認方法



5. カメラを検出する

2024年5月28日

有効化済みのデバイスに対してカメラを新規追加したり交換したりする場合に、カメラの検出を行います。

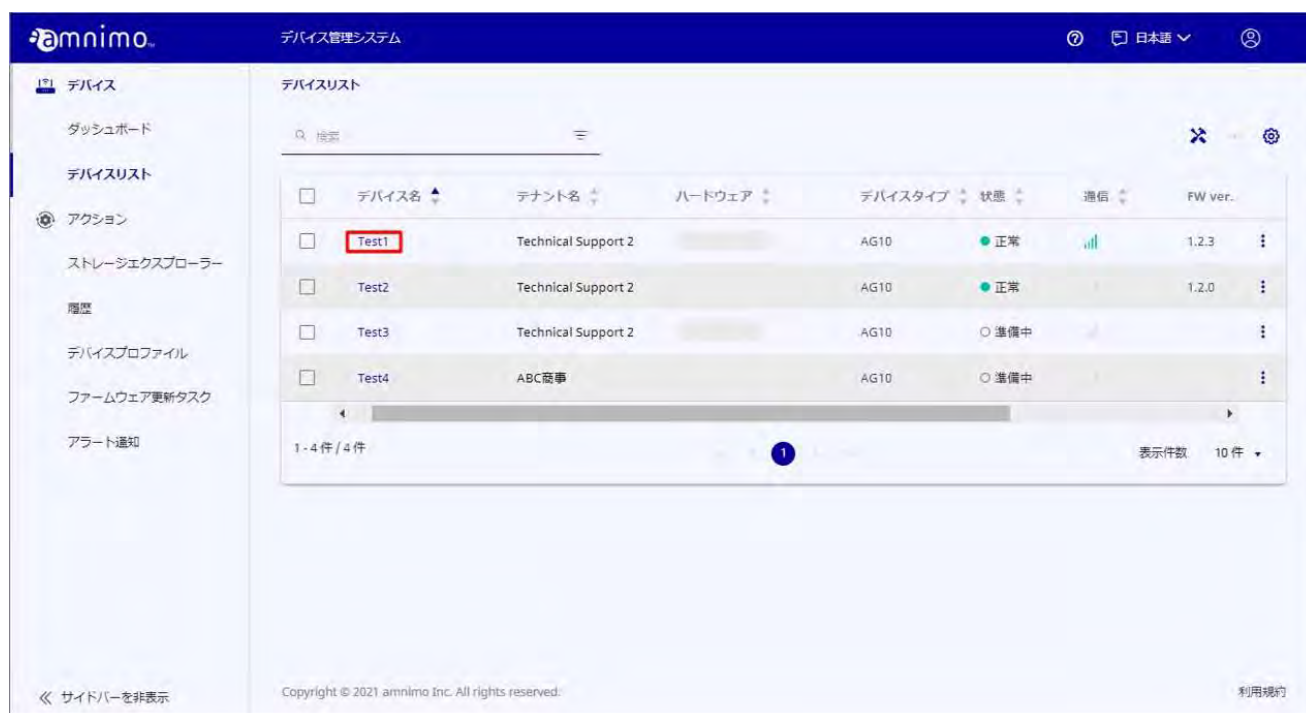
NOTE

統合ビデオ管理システムをご利用しない場合や、AR シリーズや AC シリーズ をご利用のお客様は、本作業は不要です。

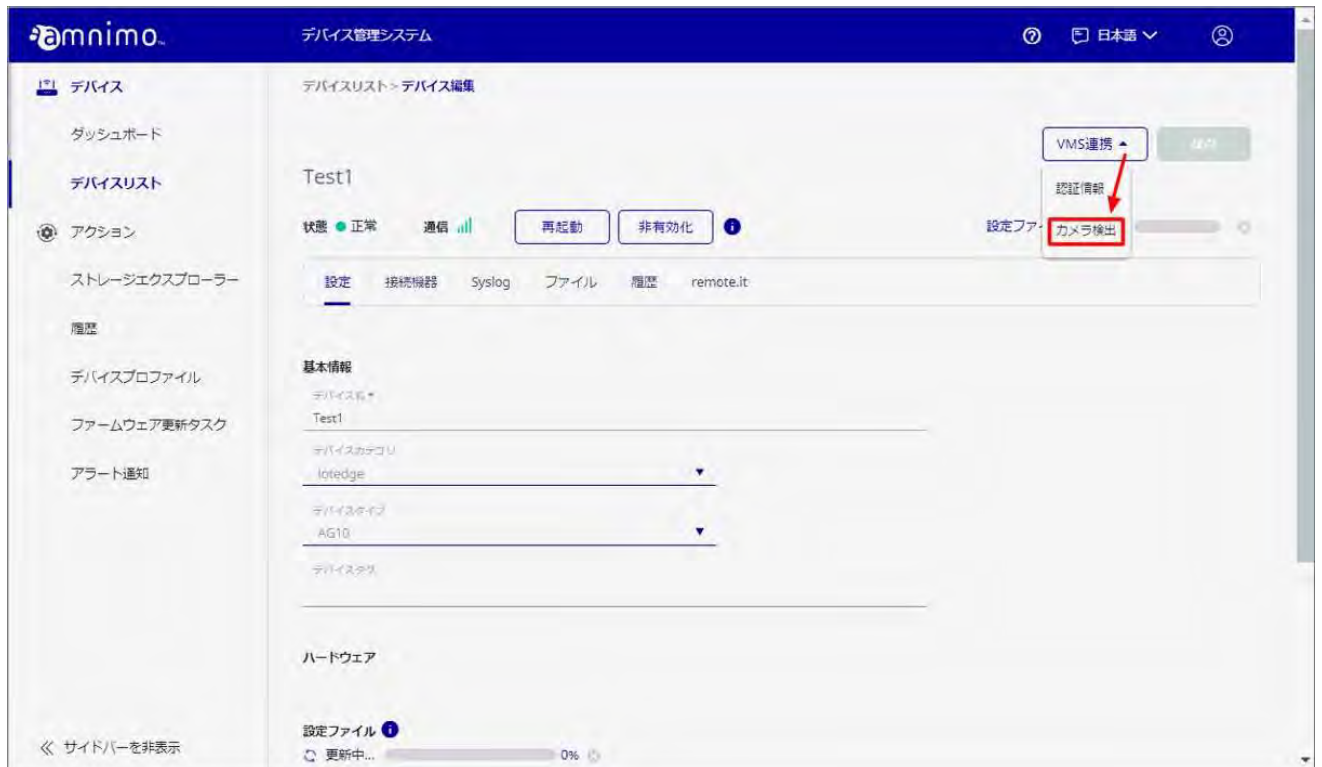
デバイスがカメラを検出して統合ビデオ管理システムにカメラ情報を送信すると、統合ビデオ管理システムに新しいカメラが登録されます。

カメラ検出手順

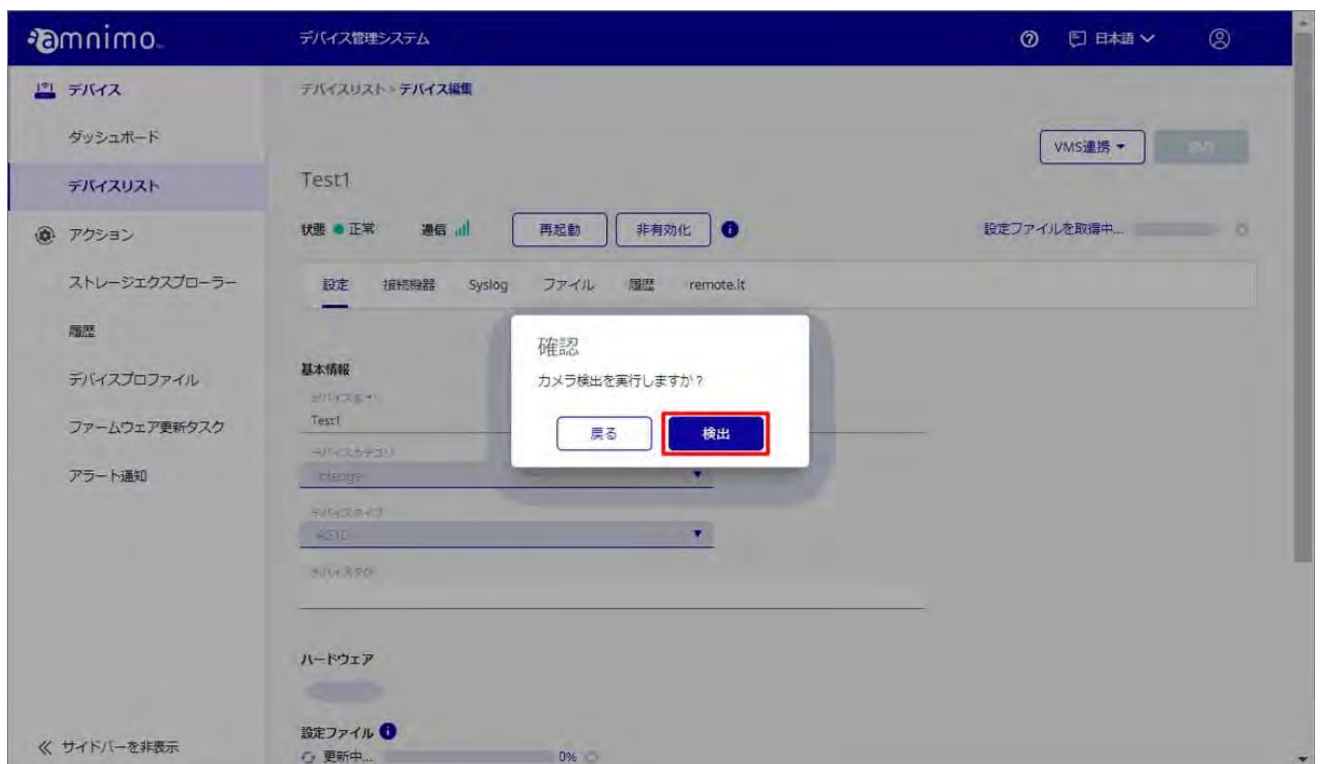
- 1 デバイス名をクリックします。



- 2 [VMS 連携] ボタンをクリックし、[カメラ検出] を選択します。



3 「検出」をクリックすると、カメラの検出が始まります。



基本情報の編集

2024年5月28日

! WARNING

アムニモポータブルについて、本ページに載っている機能は利用できません。



NOTE

[VMS連携] ボタンは、AR シリーズや AC シリーズをご利用の場合表示されません。

デバイス編集画面からは、デバイス名やデバイスタグを設定できます。



デバイス名を編集する

デバイス名を個別で編集する

任意の名前（100文字以内）を入力します。ただし、既存の他のデバイスの名前と重複しないようにしてください。



「保存」をクリックするとデバイス名が変更されます。



デバイス名を一括で更新

複数のデバイスについて、デバイス名とコメント、ユーザ定義を一括で更新することが可能です。

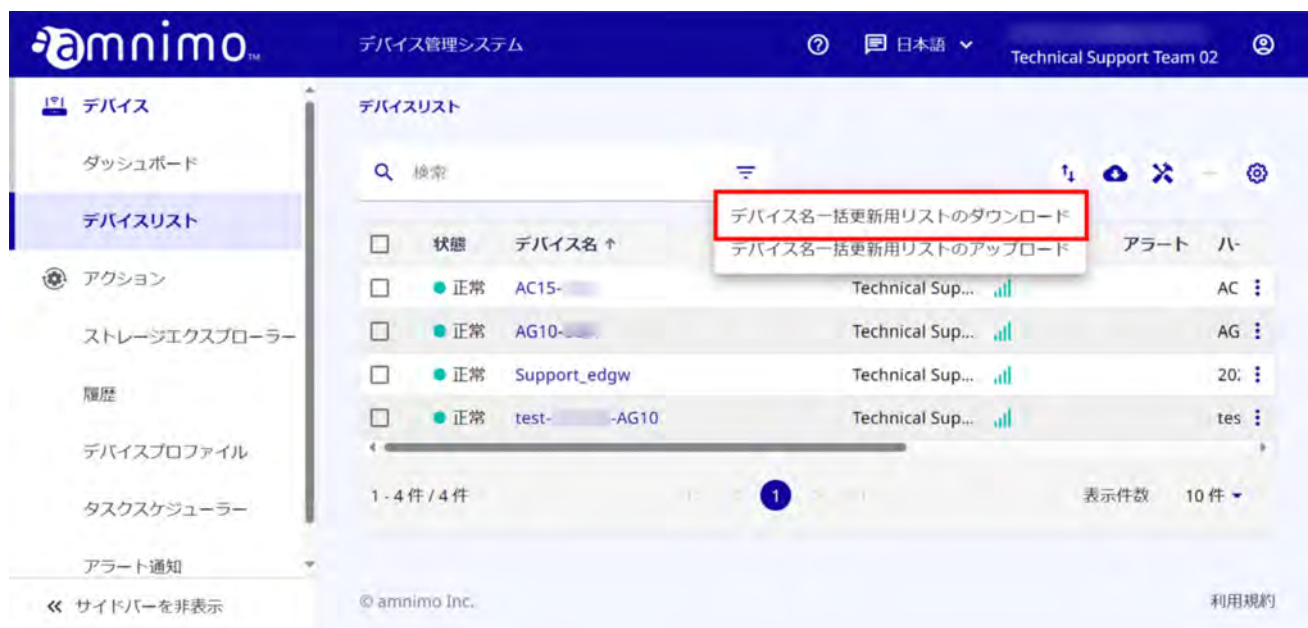
NOTE

一度に更新できるデバイス数は、最大100台です。

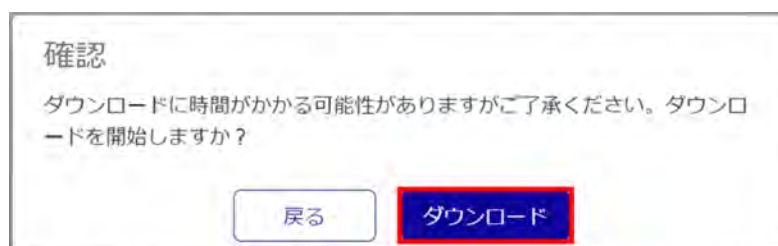
- 1 デバイスリストの画面右上にあるデバイス名の一括更新アイコンをクリックします。



- 2 「デバイス名一括更新用リストのダウンロード」をクリックします。



3 [ダウンロード] をクリックします。



4 デバイス名一括更新用リスト (CSVファイル) がダウンロードされます。



5 ダウンロードしたデバイス名一括更新用リスト (CSVファイル) を更新します。

- 「New Device Name」欄に新しいデバイス名を入力します。(最大100文字)
- デバイス名はそのままにコメントを更新したい場合は、「New Device Name」欄に現在のデバイス名を入力し「Comment」を更新します。(最大1000文字)

- デバイス名はそのままにユーザ定義を更新したい場合は、「New Device Name」欄に現在のデバイス名を入力し「ユーザ定義（01～05の中の任意のもの）」を更新します。（最大64文字）
- 更新する必要がないデバイスについては「New Device Name」欄を空白のままにします。
- 一部の半角記号（/?:*<>|\\）は、デバイス名に使用することができません。

Tenant Name	Pid	LDId	Hardware	Device Name	New Device Name	Comment	ユーザ定義 01	ユーザ定義 02	ユーザ定義 03	ユーザ定義 04	ユーザ定義 05
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	AC15-●●	AC15-new	AC15-011JP-10-001015					
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	AG10-●●	AG10-new	AG10-010JP-10-001213					
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●_edgw							
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	test-●●-AG10							

左から1列～5列は更新しないでください。

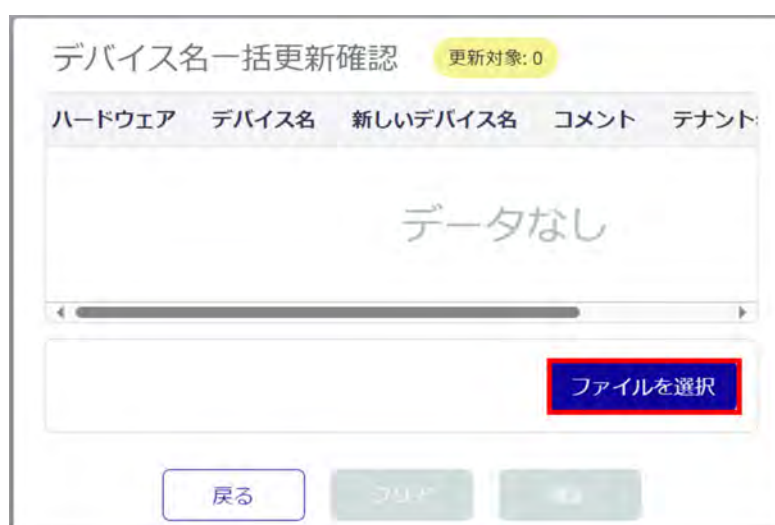
6 デバイスリストの画面右上にあるデバイス名の一括更新アイコンをクリックします。



7 「デバイス名一括更新用リストのアップロード」をクリックします。



「デバイス名一括更新確認」画面にて「ファイルを選択」をクリックし、手順5にて編集したデバイス名一括更新リスト (CSVファイル) を選択します。



更新対象のデバイス数および更新内容を確認し、「確定」をクリックします。

デバイス名一括更新用リスト (CSVファイル) でコメントやユーザ定義の更新のみ行った行がある場合は、DMS上で更新対象と見なされません。
⇒手順5に戻りデバイス名一括更新用リスト (CSVファイル) を修正してください。

デバイス名一括更新確認

更新対象: 2

ウェア	デバイス名	新しいデバイス名
011JP-10-001015	AC15-	AC15-new
010JP-10-001213	AG10-	AG10-new
607	Support_edgw	
050sono-AG10	test-	-AG10

20240711-175604-devicenamelist.csv

ファイルを選択

戻る

クリア

確定

- 10 「確認」画面にて「アップロード」をクリックします。

確認

アップロードに時間がかかる場合がありますがご了承ください。アップロードを開始しますか？

キャンセル

アップロード

- 11 更新内容が反映されていることを確認します。

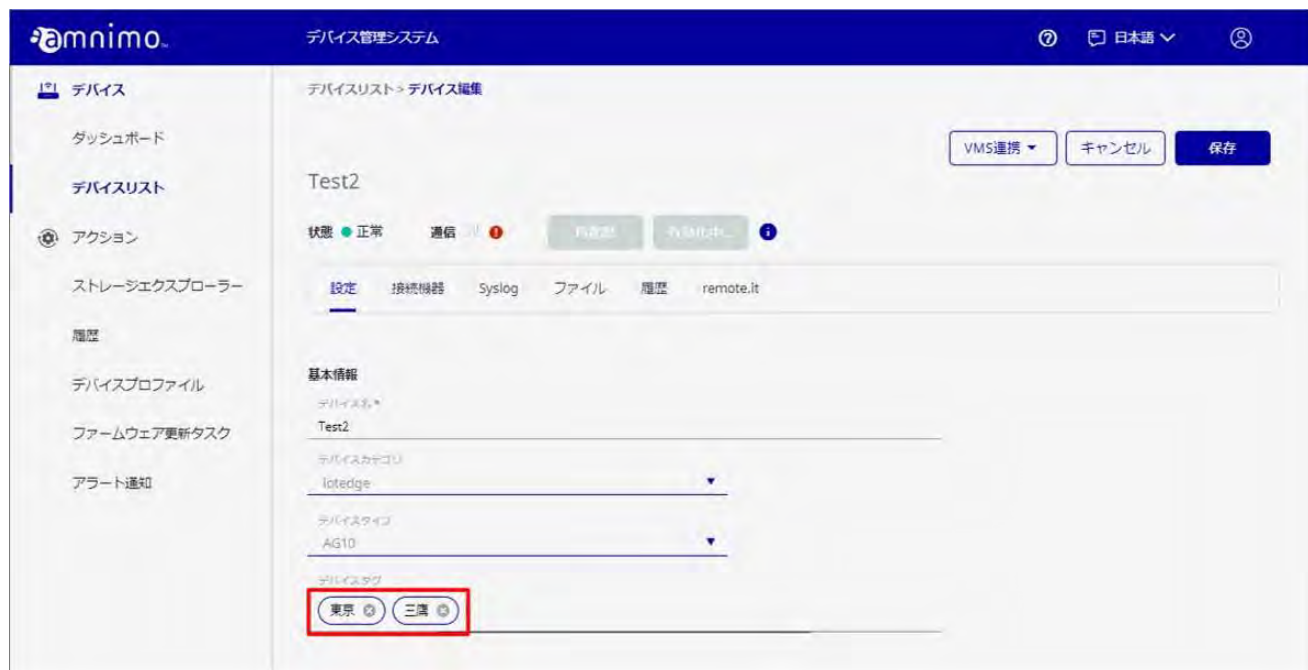
コメントを更新した場合は、デバイス名をそれぞれクリックし「デバイス編集」画面にて更新内容の確認をします。



デバイスタグを追加する

デバイスタグを追加することで、統合ビデオ管理システムにおけるデバイス検索時に、デバイスタグで検索ができるようになります。

1 デバイスに任意のタグを入力します。



2 「保存」をクリックするとデバイスタグが保存されます。



ユーザ定義の編集

ユーザ定義欄では、任意の文字列を入力することが出来ます。

NOTE

[デバイスリストの「表示項目の編集」](#)にて、非表示にしたユーザ定義については、ユーザ定義の編集を行うことができません。

1 下図の赤枠で囲われた箇所にユーザ定義を入力します。

ユーザ定義に入力可能な文字列は、最大64文字です。

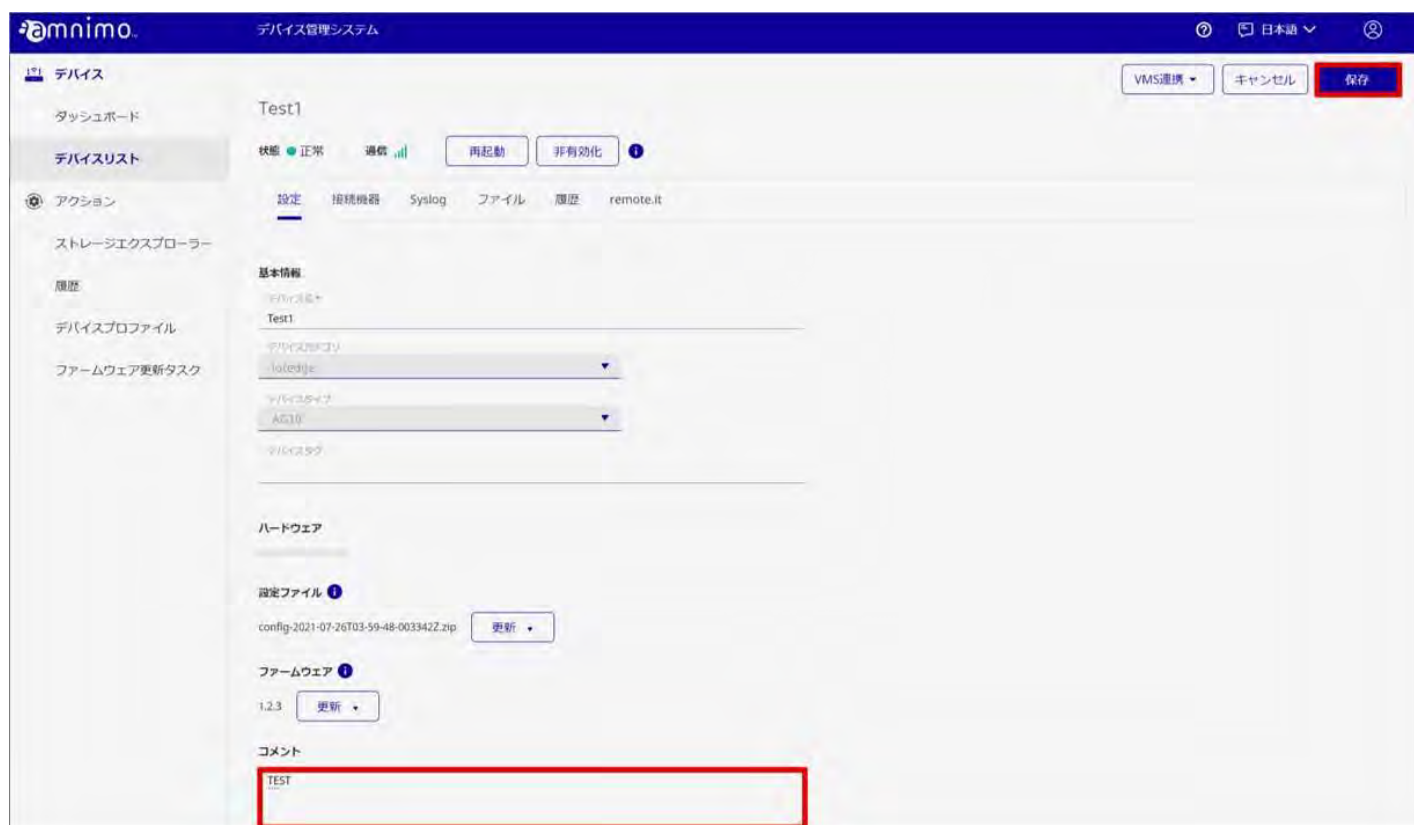


2 「保存」をクリックするとデバイスタグが保存されます。



コメント欄の編集

コメント欄では、コメントを追加したり編集することが出来ます。下図の赤枠で囲われた箇所に直接コメントを記載し、[保存]をクリックします。



設定ファイルの操作

2024年5月28日

デバイス管理システムには、『設定ファイル配布』『設定ファイル取得』という機能があります。

利用例

- あるデバイスの設定ファイルを、他のデバイスにも反映する
- 故障したデバイスの設定ファイルを、新しいデバイスに反映する

! WARNING

アムニモポータブルおよびPCエッジについて、本ページに載っている機能は利用できません。

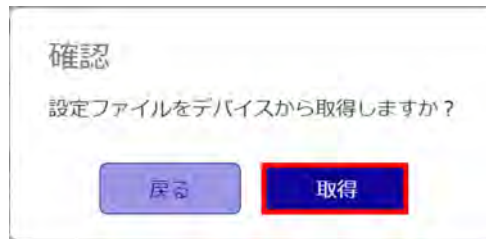
設定ファイルを取得する

現在のデバイスの設定ファイルを確認する方法を説明します。

- 1 設定ファイルの欄の「更新」より、「設定ファイル取得」をクリックします。



- 2 「取得」をクリックします。



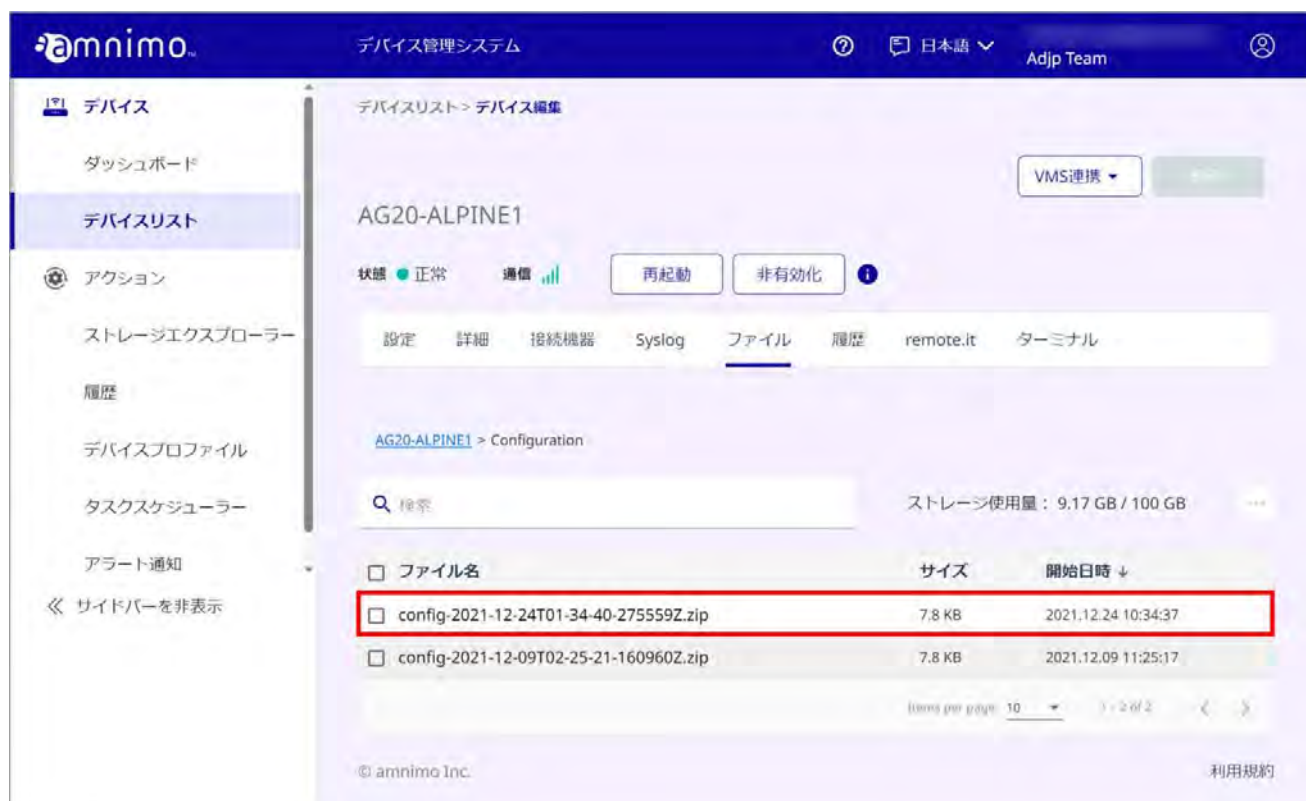
3 デバイスの現在の設定ファイルが表示されます。



4 また、設定ファイルを取得した時刻は、アイコンにカーソルを当てることで確認することができます。



5 取得した設定ファイルは、ファイルの Configuration フォルダに保存されます。



設定ファイルを配布する

デバイスの設定ファイルを配布する方法について説明します。

! WARNING

DHCP を使用しない環境等で、ご利用開始時にデバイスに対して固定 IP アドレスを設定した場合、同一の設定ファイルを複数のデバイスに対して適用すると、IP アドレスがコンフリクト（衝突）して、ネットワーク障害が発生することがあります。

- DHCP を使用しない環境等で、ご利用開始時にデバイスに対して固定 IP アドレスを設定した場合、同一の設定ファイルを複数のデバイスに対して適用すると、IP アドレスがコンフリクト（衝突）して、ネットワーク障害が発生することがあります。
- デバイスに対して IP アドレスを設定している場合は、デバイスに直接ログインしてデバイスの設定を変更してください。

1 設定ファイルの欄の「更新」より、「設定ファイル配布」をクリックします。



2

[アップロード] をクリックします。

ファイルをすでにアップロード済みの場合は、手順 4 へお進みください。



3

ファイルを選択し、[アップロード] をクリックします。

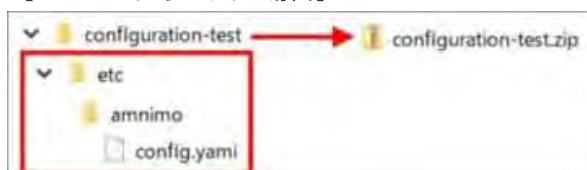
NOTE

ファイルをアップロードする際は、次の点に注意してください。

- アップロードするファイルは、AG / AR シリーズをご利用の場合は zip 圧縮、AC シリーズの場合 tar.gz で圧縮します。
- また、次のようなファイル構成である必要があります。

/etc/amnimo/config.yaml

【AG / AR シリーズの場合】



【AC シリーズの場合】



※/var/lib/amnimo-ecc/boardenv.txt ファイルはなくても配布可能です。

- config.yaml の改行コードは LF としてください。CRLF で作成されたファイルの場合、エラーとなります。



4 ファイルを選択し、「確認」をクリックします。



5 [更新] をクリックします。



6 設定変更が完了したことを確認します。



また、設定ファイルを配布した時刻は、アイコンにカーソルを当てることで確認することができます。



ファームウェアを更新する

2024年5月28日

! WARNING

アムニモポータブルおよびPCエッジについて、本ページに載っている機能は利用できません。

差分更新と全体更新

ファームウェア更新には、差分更新と全体講師の 2 つのタイプの更新方法があります。

差分更新

ファームウェアの差分がある場合に、ファームウェアの差分のみ更新します。
なお、ファームウェア差分更新の場合、デバイスは差分更新完了後に再起動することなく動作します。

! WARNING

AC シリーズはファームウェアの差分更新をサポートしていません。

全体更新

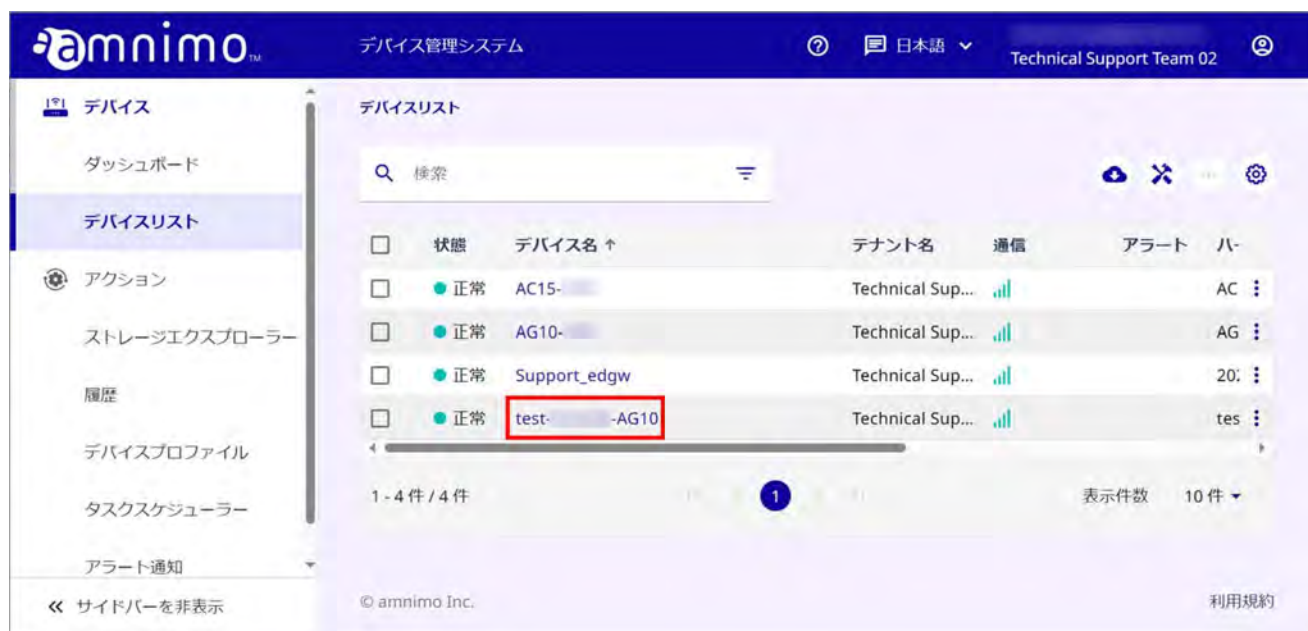
OS を含めてファームウェアを全て更新します。
ファームウェア更新をする場合、ファームウェアに含まれる領域 (boot/rootfs) が更新されます。amnimo が提供するイメージファイルを使ってファームウェア更新する場合、以下の領域は更新後も保持されます。

- config : 設定ファイルの永続化用領域 (/mnt/config/area0、/mnt/config/area1)
- userfs : ユーザ用ファームウェア領域 (/opt/local)
- sharefs : ブート切り替え対応の共有領域 (/mnt/share、/var/log、/opt/common)

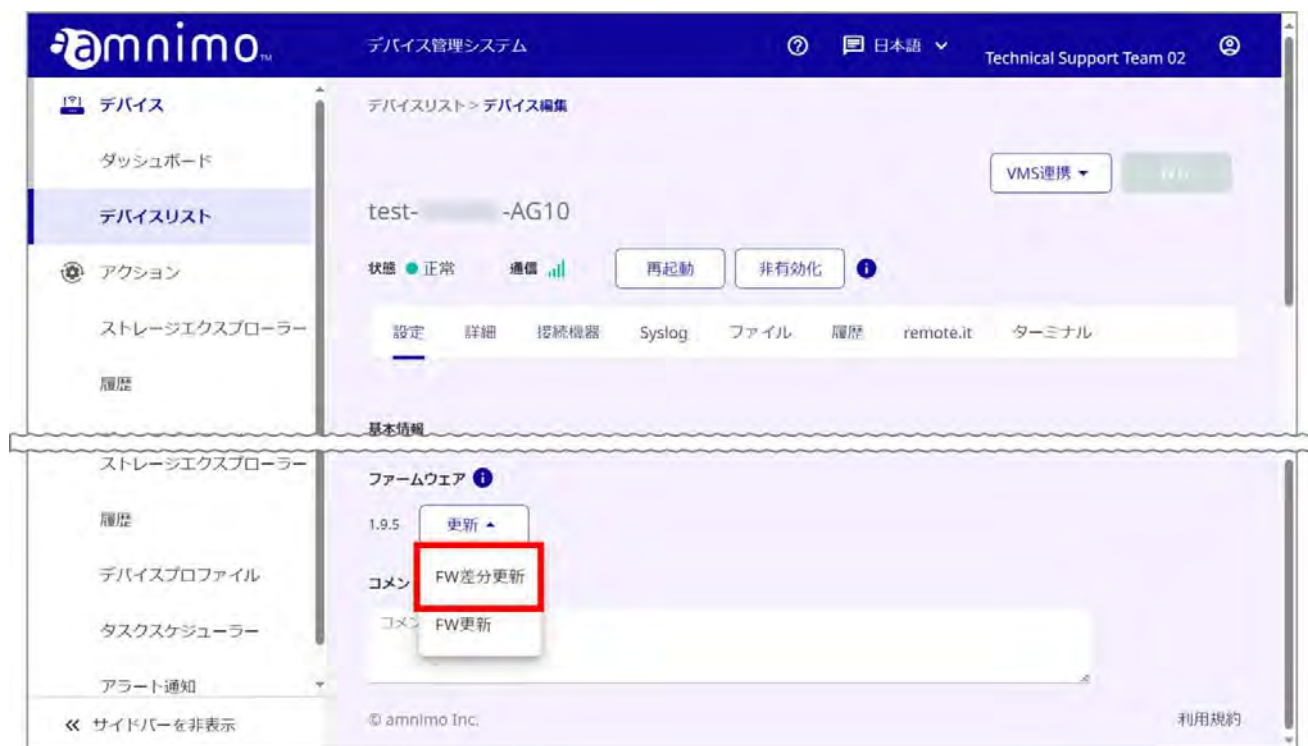
なお、ファームウェア更新の場合、デバイスは自動的に再起動します。

差分更新手順

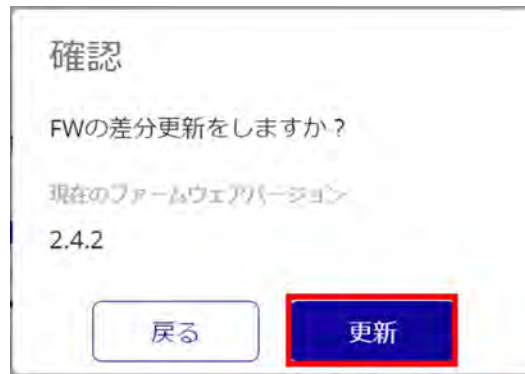
- 1 デバイスリストで、ファームウェアを更新したいデバイス名をクリックします。



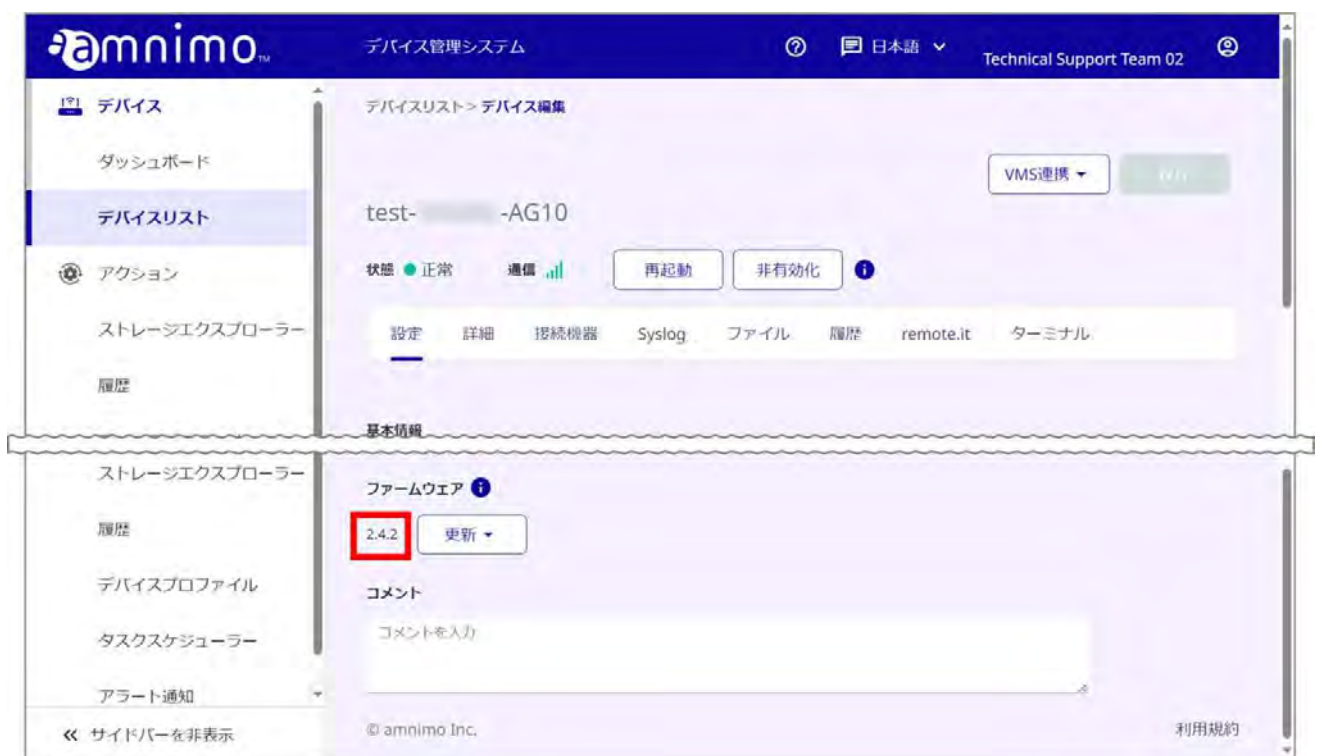
2 [更新] より、[FW 差分更新] をクリックします。



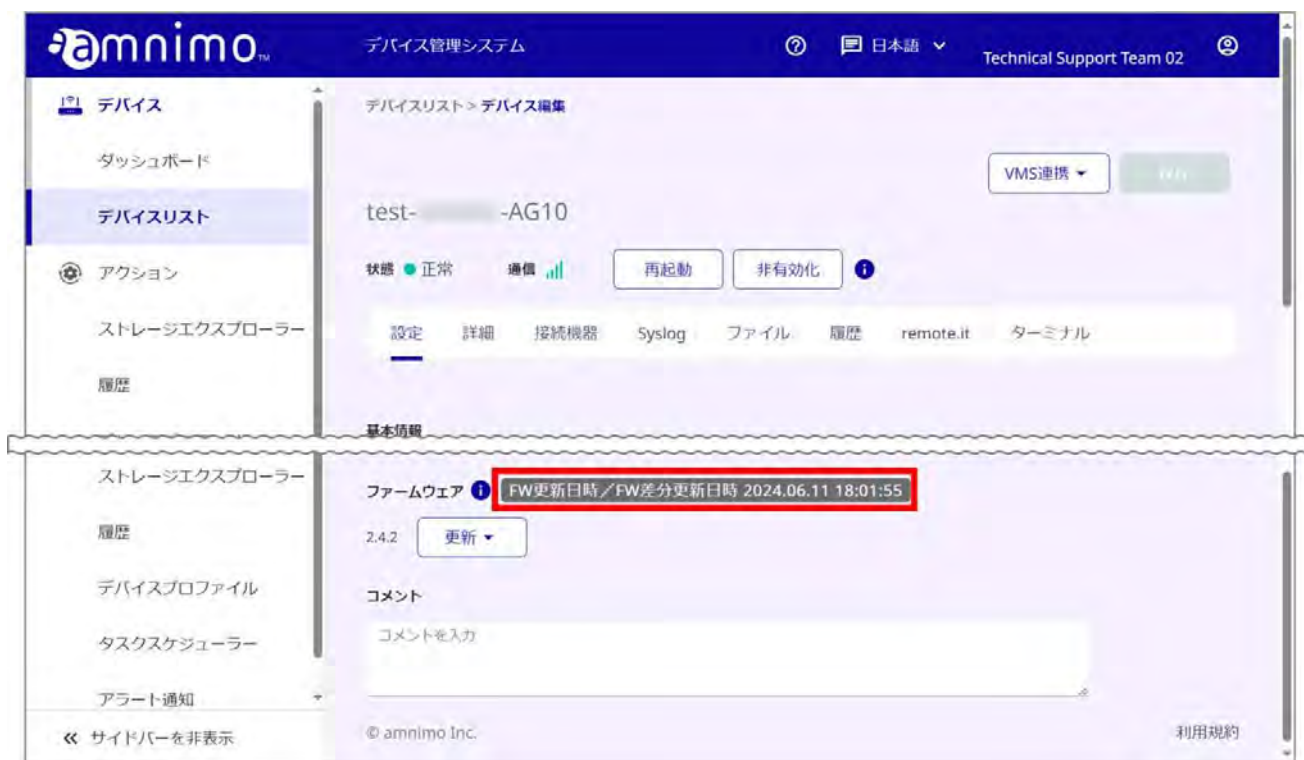
3 [更新] をクリックします。



4 ファームウェアのバージョンを確認し、更新が完了したことを確認します。



また、ファームウェアを更新時刻は、アイコンにカーソルを当てることで確認することができます。



全体更新手順

デバイスは、ファームウェアの更新エリアとして、起動エリアと冗長エリア（バックアップエリア）の2つのエリアを持っています。

ファームウェア更新をする際に、更新するエリアを選択することができます。なお、ファームウェア差分更新では、更新エリアの選択はありません。

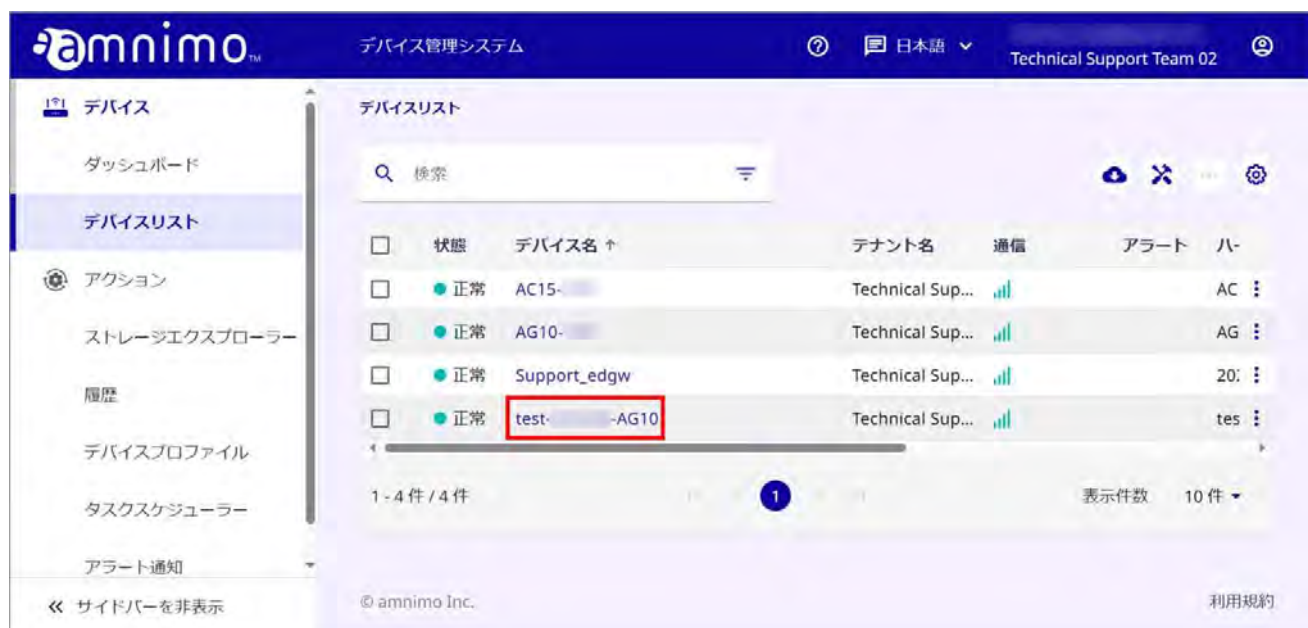
ファームウェア両面更新

起動エリアと冗長エリアの両方を更新します。なお、基本的には両面更新を実施することを推奨しています。

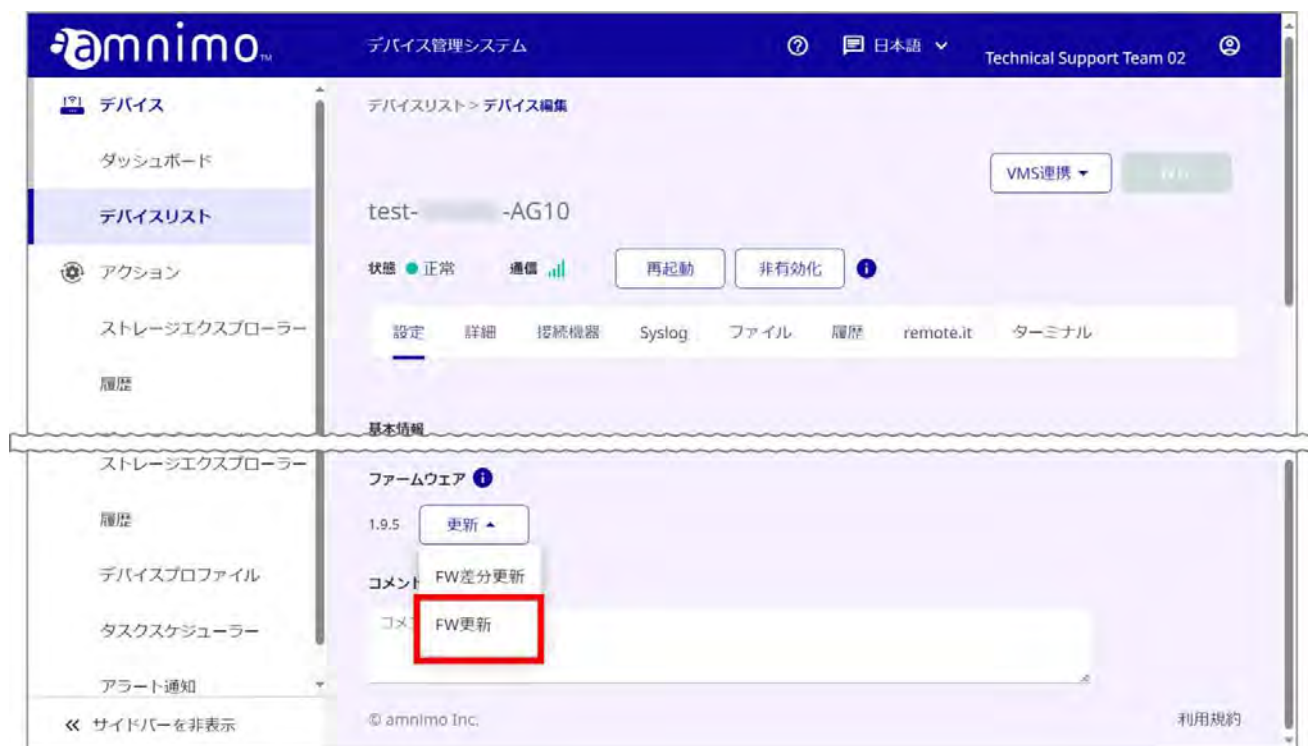
ファームウェア片面更新

冗長エリアのみ更新します。更新完了後は、更新したエリアで起動します。

- 1 デバイスリストで、ファームウェアを更新したいデバイス名をクリックします。



2 [更新] より、[FW 更新] をクリックします。



3 [アップロード] をクリックします。

※ ファイルをすでにアップロード済みの場合は、手順5へお進みください。



4 ファームウェアのイメージファイル を選択し、[アップロード] をクリックします。



＜ファームウェアのイメージファイルについて＞

以下の URL にアクセスし、ファームウェアのイメージファイルをダウンロードしてください。

NOTE

- アクセスするためには、アカウント名とパスワードが必要です。アカウント名とパスワードが分からない場合は [サポート](#) までご連絡ください。
- ブラウザーをご利用の場合は、Internet Explorer などの FTP にアクセス可能なブラウザーをご利用ください。

▼ エッジゲートウェイ 最新版 ファームウェアイメージファイル

ftp://(アカウント名):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag10.amf

▼ IoT ルーター 最新版 ファームウェアイメージファイル

ftp://(アカウント名):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar10.amf

なお、過去のファームウェアイメージファイルをダウンロードしたい方は、以下のFAQをご参照ください。
<https://support.amnimo.com/hc/ja/articles/360053300174>

- 5 ファイルを選択し、[確認] をクリックします。

FW更新

現在のファームウェアバージョン
1.9.5

イメージファイルを選んで、確認ボタンを押してください

+ アップロード

ファイル名	
☒ aaaa.amf	2024.06.12 13:40
☐ ag-2.4.2-b61835.amf	2024.03.22 10:10
☐ ag10.amf	2023.06.07 13:06

表示件数 10 1 - 3 of 3

戻る 確認

- 6 更新面を選択し、[確認] をクリックします。

FW更新

更新面を選択し、確認ボタンを押します

☒ 両面更新

☐ 片面更新

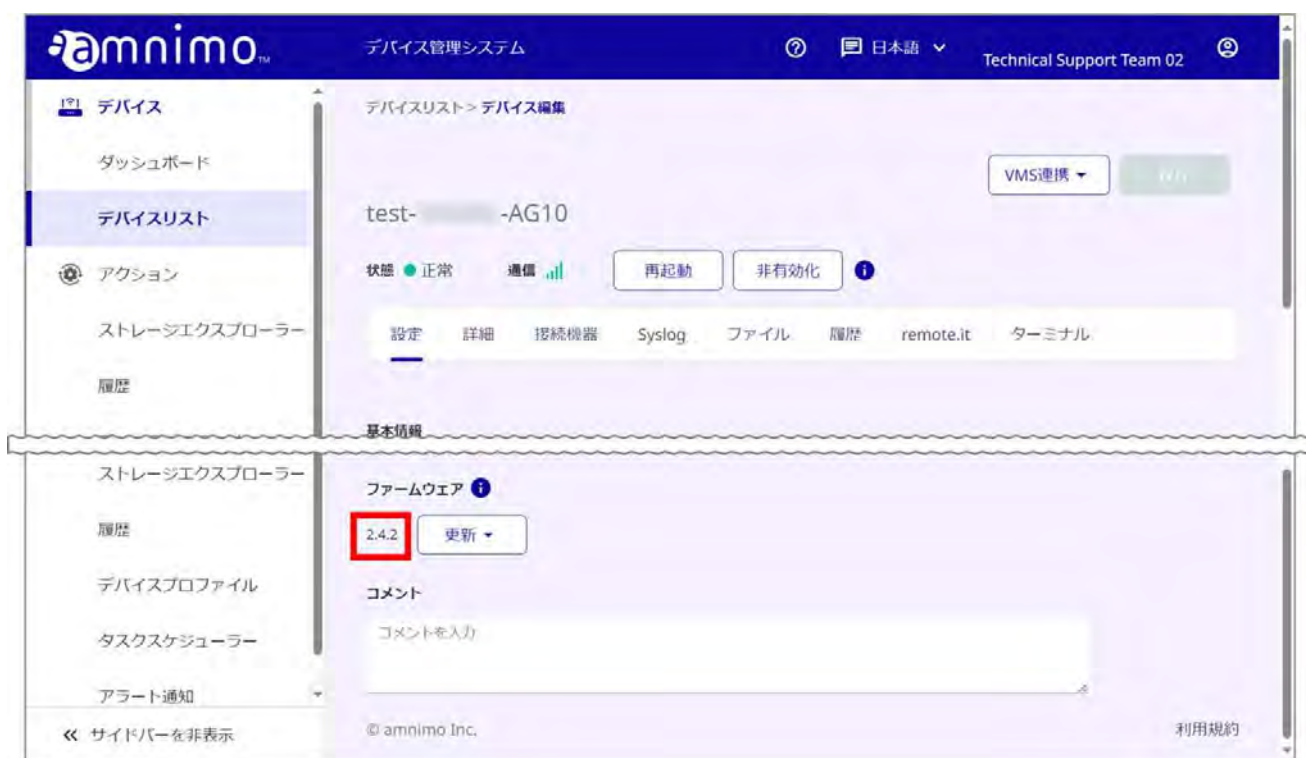
戻る 確認

- 7 [更新] をクリックします。

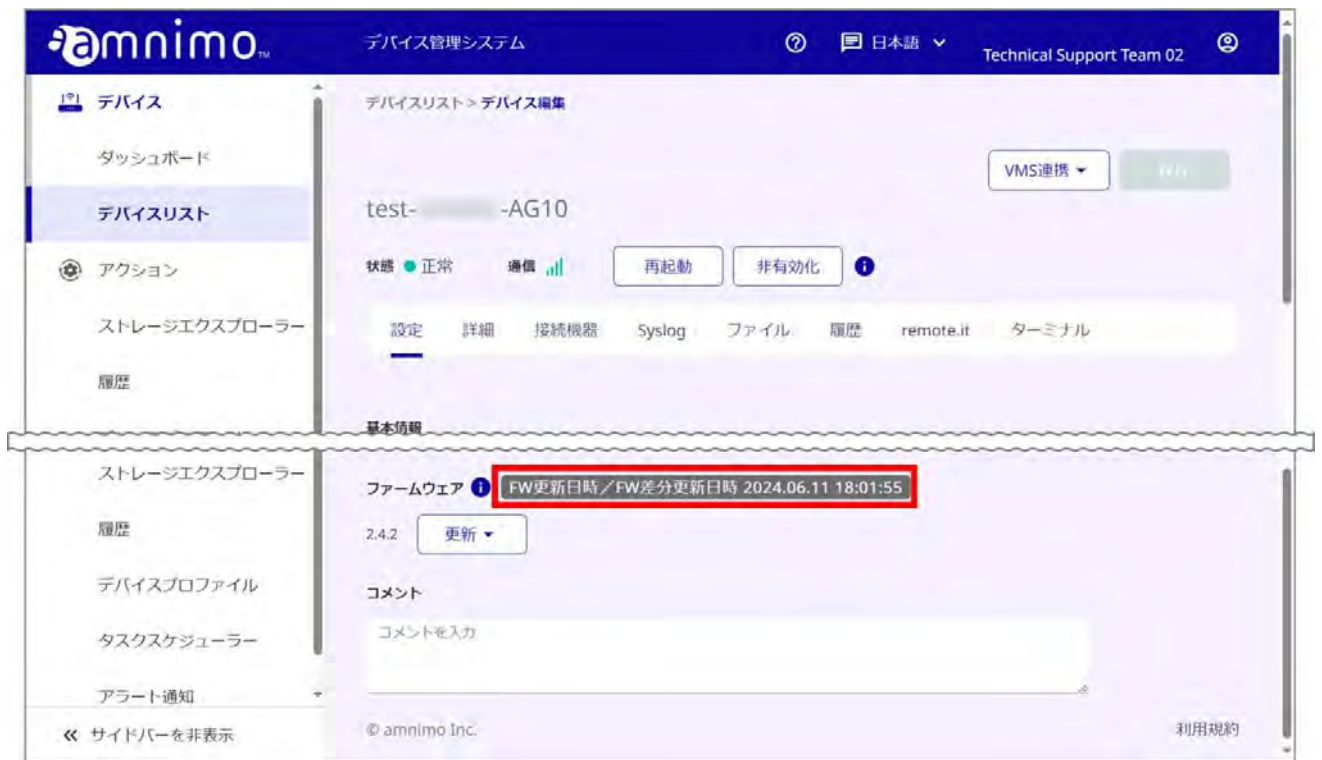


ファームウェアのバージョンを確認し、更新が完了したことを確認します。

更新完了後はデバイスが自動的に再起動します。再起動後、デバイスが復帰したことを確認してください。



また、ファームウェアを更新時刻は、アイコンにカーソルを当てることで確認することができます。



デバイスの詳細情報を確認する

2024年5月28日

! WARNING

アムニモポータブルおよびPCエッジについて、本ページに載っている機能は利用できません。

デバイスの詳細情報を確認する

詳細タブでは、デバイスの詳細情報を確認することが出来ます。

モバイル通信に使用している SIM 情報のうち ICCID、IMSI、MSISDN が空欄となっている場合があります。

この場合、『CLI ユーザーズマニュアル』 - 『5.2.3 [SIM 情報を更新する](#)』の手順で情報を取得してから、[更新] ボタンをクリックして最新の表示にしてください。

The screenshot displays the 'amnimo' device management system interface. The left sidebar contains navigation options: デバイス, ダッシュボード, デバイスリスト, アクション, ストレージエクスプローラー, 履歴, デバイスプロフィール, ファームウェア更新タスク, and アラート通知. The main content area is titled 'Support_edgw' and shows the device status as '正常' (Normal). A red box highlights the '詳細' (Details) tab. Below the tabs, there is an '更新' (Update) button and the last update time: '最終更新日時: 2022.04.15 14:34:17'. The device information is organized into several sections: **ハードウェア** (Hardware) including manufacturer (amnimo), model (AG10-010JP-10-000G), and serial number (001025); **CPU** (CPU) showing usage at 28%; **供給電圧** (Supply Voltage) with main (+23.77V) and backup (+3.53V) values; **温度** (Temperature) for CPU (43.785°C) and PoE (42°C) areas; **モバイル通信** (Mobile Communication) showing signal strength as '良好' (Good) and RAT as 'E-UTRAN (4G)'; **モバイルモジュール** (Mobile Module) with model ME3630-J2A; **SIM (アクティブ)** (SIM (Active)) showing session WizardMagic, SIM number 0, APN soracom.io, and status '接続' (Connected). Fields for ICCID, IMSI, and MSISDN are present but redacted.

※ [モバイル通信] > [電波強度] について : RAT が 4G の場合「RSRP」、RAT が 3G の場合「RSCP」と表示されます。

ダッシュボード

デバイスリスト

アクション

ストレージエクスプローラー

履歴

デバイスプロフィール

ファームウェア更新タスク

アラート通知

温度

CPUエリア: 44.785℃
PoEエリア: 45.507℃

インターフェース

名前	状態	MTU	MACアドレス	IPアドレス
br0	アップ	1500	e8:1b:4b:10:00:fb	192.168.0.254
eth0	アップ	1500	e8:1b:4b:10:00:fa	192.168.1.197
eth1	アップ	1500	e8:1b:4b:10:00:fb	
lan0	アップ	1500	e8:1b:4b:10:00:fb	
lan1	ダウン	1500	e8:1b:4b:10:00:fb	
lan2	ダウン	1500	e8:1b:4b:10:00:fb	
lan3	ダウン	1500	e8:1b:4b:10:00:fb	
lo	アップ	65536		127.0.0.1

ストレージ使用量

パーティション	合計	使用済み	マウントポイント
/dev/mmcblk0p1	8.21 GB	2 GB (25%)	/
/dev/mmcblk0p3	4.07 GB	16.81 MB (1%)	/opt/local
/dev/mmcblk0p5	3.48 GB	345.79 MB (10%)	/mnt/share
/dev/sda1	439.11 GB	406.7 GB (93%)	/media/ssd

Copyright © 2022 amnimo Inc. All rights reserved.

利用規約

サイドバーを非表示

無線LANの詳細情報を確認する

詳細タブでは、デバイスの無線LAN接続情報を確認することが出来ます。

NOTE

詳細タブ上で無線LAN接続情報が表示されるのは、AC15のみです。

- 無線LANのインターフェース名をクリックします。

無線LAN

インターフェース名	モード	状態	SSID	無線チャンネル	接続ステーション数
wlan0	アクセスポイント	ENABLED		12	1
wlan1	アクセスポイント	ENABLED		40	0

ストレージ使用量

パーティション	合計	使用済み	マウントポイント
ubi0:rootfs1	99.29 MB	77.71 MB (79%)	/

© amnimo Inc.

利用規約

無線LAN詳細情報が表示されます。

無線LAN詳細情報画面の [更新] をクリックすると、最新の情報を確認することができます。

無線LAN詳細情報

更新

詳細

インターフェース名:
wlan0

モード:
アクセスポイント

状態:
ENABLED

無線チャンネル:
12

SSID:
[REDACTED]

BSSID:
[REDACTED]

接続ステーション数:
1

接続ステーション一覧

パケットカウンター

RX/TX	Packets	Bytes	Errors	Dropped
RX	0	0 bytes		
TX	314	52152 bytes	0	0

戻る

接続機器の情報を確認する

2024年5月28日

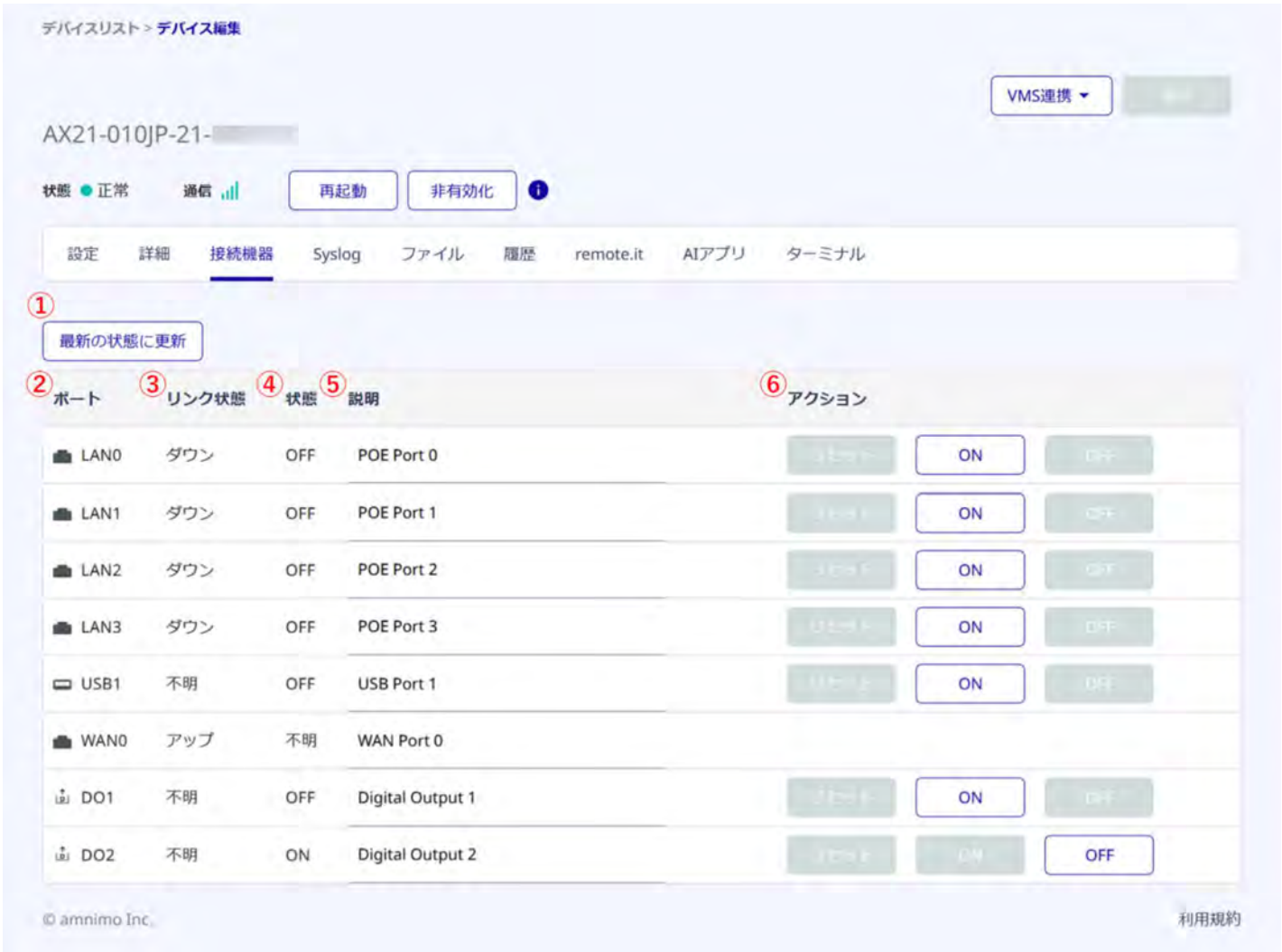
接続機器タブでは、ポートのリンク状態を確認したり、以下の編集や操作ができます。

WARNING

アムニモポータブルおよびPCエッジについて、本ページに載っている機能は利用できません。

NOTE

AC シリーズに「接続機器」タブはありません。（将来サポート予定）



接続機器画面

① 最新の状態に更新

各ポートの状態を最新にします。

② ポート

機器の各ポートの名称を表します。

※デジタル出力がコントロールできるデバイス時のみDOxが表示されます。

③ リンク状態

各ポートの状態を表します。

アップ	リンクアップしている状態
ダウン	リンクダウンしている状態
不明	状態が取得できない状態

④ 給電状態

給電されているかどうかを表します。

ON	給電されている状態
OFF	給電されていない状態
不明	状態が取得できない状態

NOTE

PoEをサポートしていないポートは「不明」と表示されます。

⑤ 説明

各ポートに接続されている機器の説明を入力出来ます。

各ポートの“説明”を変更して、[保存] をクリックします。

The screenshot shows the 'amnimo' Device Management System interface. The left sidebar contains navigation links: デバイス, ダッシュボード, デバイスリスト, アクション, ストレージエクスプローラー, 履歴, デバイスプロフィール, ファームウェア更新タスク, and アラート通知. The main content area is titled 'デバイス管理システム' and 'ダッシュボード > デバイス編集'. It shows a device named '_edgw' with status '正常' (Normal) and '通信' (Communication) icon. There are buttons for '再起動' (Restart) and '非有効化' (Deactivate). Below this is a tabbed interface with '設定' (Settings), '接続機器' (Connected Devices), 'Syslog', 'ファイル' (Files), '履歴' (History), and 'remote.it'. The '接続機器' tab is active, showing a table of ports. The table has columns: ポート (Port), リンク状態 (Link Status), 給電状態 (Power Status), 説明 (Description), and アクション (Actions). The rows are: LAN0 (ダウン, ON, Camera), LAN1 (ダウン, OFF, POE Port 1), LAN2 (ダウン, OFF, POE Port 2), LAN3 (ダウン, OFF, POE Port 3), USB1 (ダウン, ON, USB Port 1), and ETH0 (アップ, 不明, Ethernet Port 0). The '説明' column for LAN0 is highlighted with a red box. The 'アクション' column for LAN0 shows buttons for 'ON', 'OFF', and 'リセット' (Reset). The 'アクション' column for LAN1, LAN2, LAN3, and USB1 shows buttons for 'ON', 'OFF', and 'リセット'. The 'アクション' column for ETH0 shows buttons for 'ON', 'OFF', and 'リセット'. At the bottom, there is a copyright notice: 'Copyright © 2022 amnimo Inc. All rights reserved.' and a link to '利用規約' (Terms of Use).

⑥ アクション

各ポートの給電を停止したり、開始することが出来ます。

⇒ 『[PoE/USBの開始/停止/リセット](#)』

リセット	給電を停止した後、指定時間後に給電を再開します。
ON	給電を開始
OFF	給電を停止

PoE/USBの開始/停止/リセット

2024年5月28日

! WARNING

アムニモポータブルおよびPCエッジについて、本ページに載っている機能は利用できません。

「デバイス編集」画面の接続機器タブでは、[接続機器の情報を確認する](#)ほかに、PoE給電やUSB給電をサポートしているポートがある場合は、給電の開始、停止、リセットの操作が出来ます。

NOTE

デジタル出力のリセットは常時無効です。

1 対象の端子に対して、実施したいボタンをクリックします。

1つの端子の給電機能を ON / OFF / リセット中に、別の端子の各ボタンをクリックして給電機能を制御することも可能です。

ポート	リンク状態	給電状態	説明	アクション
LAN0	ダウン	ON	Camera	ON, OFF, リセット
LAN1	ダウン	OFF	POE Port 1	ON, OFF, リセット
LAN2	ダウン	OFF	POE Port 2	ON, OFF, リセット
LAN3	ダウン	OFF	POE Port 3	ON, OFF, リセット
USB1	ダウン	ON	USB Port 1	ON, OFF, リセット
ETH0	アップ	不明	Ethernet Port 0	

ON：給電機能を有効にします。

OFF：給電機能を無効にします。

リセット(※)：給電機能を指定した時間（リセット時間）だけ無効にして、指定時間経過後に自動的に有効にします。

※リセット時間は、以下の通り設定することができます。

- ・LAN ポート：1 秒 ～ 60 分（初期設定値 1 分）
- ・USB ポート：1 秒 ～ 60 分（初期設定値 10 秒）

リセットをすると、リセット開始時間とリセット時間が表示されます。（下図）

ポート	リンク状態	給電状態	説明	アクション	
LAN0	ダウン	OFF	Camera1	ON	リセット
LAN1	ダウン	OFF	POE Port 1	ON	リセット

リセット開始時間 リセット時間
 2022.02.01 16:13:44 02:00

確認画面が表示されるので、「電源ON」または「電源OFF」をクリックします。リセットの場合は、待ち時間を指定して「リセット」をクリックします。



完了しました。

Syslog を取得する

2024年5月28日

! WARNING

アムニモポータブルおよびPCエッジについて、本ページに載っている機能は利用できません。

Syslog タブでは、デバイスの Syslog ファイルをダウンロードすることができます。
Syslog とは、デバイスでの作業履歴やエラーなど、さまざまな情報が記録されたログファイルです。
これらは、お使いのデバイスでトラブルシューティングを行う場合などに役立ちます。



Syslog ファイルの取得方法

- 1 [Syslog 取得] をクリックします。



2 [取得] をクリックします。



3 Syslog ファイルの取得完了後、[ダウンロード] をクリックします。



4 Syslog ファイルがダウンロードされました。



5 取得した Syslog ファイルは、ファイルページの Syslog フォルダにも保存されます。



履歴を表示する

2024年5月28日

履歴は、デバイスのイベントおよび操作履歴一覧が表示されます。

すべてのデバイスの履歴を確認する

履歴には、イベントおよび操作履歴一覧が表示されます。また、ソースからイベントがどこからの通知であるかを確認できます。

The screenshot shows the Amnimo Device Management System interface. The left sidebar contains navigation items: デバイス, ダッシュボード, デバイスリスト, アクション, ストレージエクスプローラー, **履歴** (highlighted with a red box), デバイスプロフィール, タスクスケジューラー, and アラート通知. The main content area is titled '履歴' and shows a table of events. The table has columns: 時間 (Time), 通知内容 (Notification Content), デバイス/タスク名 (Device/Task Name), ソース (Source), and テナント名 (Tenant Name). The events listed are:

時間	通知内容	デバイス/タスク名	ソース	テナント名
2024.07.11 14:30:02	❗ AC電源供給が停止しました	Support_edgw	デバイス	Technical Support Team 02
2024.07.11 14:06:46	✅ デバイス詳細の更新が完了しました	Support_edgw	デバイス	Technical Support Team 02
2024.07.11 14:06:42	✅ デバイス詳細の更新を開始しました	Support_edgw	デバイス	Technical Support Team 02
2024.07.11 14:06:41	✅ デバイスは正常に稼働しています	Support_edgw	デバイス	Technical Support Team 02
2024.07.11 14:06:38	✅ デバイスのアラートの状態が変更されました	Support_edgw	システム	Technical Support Team 02
2024.07.11 14:06:38	✅ デバイスがクラウドに接続しました	Support_edgw	システム	Technical Support Team 02
2024.07.11 14:06:10	❗ デバイスとクラウドの通信が切断しました	Support_edgw	システム	Technical Support Team 02
2024.07.11 14:06:10	✅ デバイスのアラートの状態が変更されました	Support_edgw	システム	Technical Support Team 02
2024.07.11 10:47:59	✅ LAN3 POE Port 3 がリンクアップしました	Support_edgw	デバイス	Technical Support Team 02

履歴画面

<履歴に表示されるイベントおよび操作履歴の例>

デバイス管理システムの操作履歴

- デバイスの新規作成、編集、削除
- PoE 給電、USB 給電の開始 / 停止 (IoT ルーターご利用の場合を除く)
- デバイスの再起動
- ファイルのアップロード / ダウンロード
- ファームウェア更新
- 設定ファイルの更新
- タスクの実行状態

デバイスの状態監視イベント

- デバイスの通信状態の正常 / 異常
- デバイスの状態の正常 / 異常

デバイスの自己診断イベント

- 各 Ethernet ポートのリンクアップ / リンクダウン（IoT ルーターご利用の場合を除く）
- AC 電源の給電停止 / 復旧
- SIM カードの有効 / 無効

デバイス個別の履歴を確認する

The screenshot shows the Omnimemo Device Management System interface. The left sidebar contains navigation links: デバイス, デバイスリスト (selected), アクション, ストレージエクスプローラー, 履歴, デバイスプロフィール, タスクスケジューラー, アラート通知. The main content area is titled 'デバイスリスト > デバイス編集' and shows details for 'Support_edgw'. The status is '正常' (Normal) with a signal icon. There are buttons for '再起動' (Restart) and '非有効化' (Deactivate). Below these are tabs: 設定, 詳細, 接続機器, Syslog, ファイル, 履歴 (highlighted with a red box), remote.it, and ターミナル. A search bar is present with fields for '通知内容を入力', '開始日', and '終了日', followed by a '検索' (Search) button. Below the search bar is a table of events.

時間 ↓	通知内容	デバイス/タスク名	ソース	テナント名
2024.07.11 14:30:02	❗ AC電源供給が停止しました	Support_edgw	デバイス	Technical Support Team 02
2024.07.11 14:06:46	✅ デバイス詳細の更新が完了しました	Support_edgw	デバイス	Technical Support Team 02
2024.07.11 14:06:42	✅ デバイス詳細の更新を開始しました	Support_edgw	デバイス	Technical Support Team 02
2024.07.11 14:06:41	✅ デバイスは正常に稼働しています	Support_edgw	デバイス	Technical Support Team 02

<履歴に表示されるイベントおよび操作履歴の例>

デバイス管理システムの操作履歴

- デバイスの新規作成、編集、削除
- PoE 給電、USB 給電の開始 / 停止（IoT ルーターご利用の場合を除く）
- デバイスの再起動
- ファイルのアップロード / ダウンロード
- ファームウェア更新
- 設定ファイルの更新

デバイスの状態監視イベント

- デバイスの状態の正常 / 異常
- デバイスの通信状態の正常 / 異常

デバイスの自己診断イベント

- 各 Ethernet ポートのリンクアップ / リンクダウン（IoT ルーターご利用の場合を除く）
- AC 電源の給電停止 / 復旧

- SIM カードの有効 / 無効

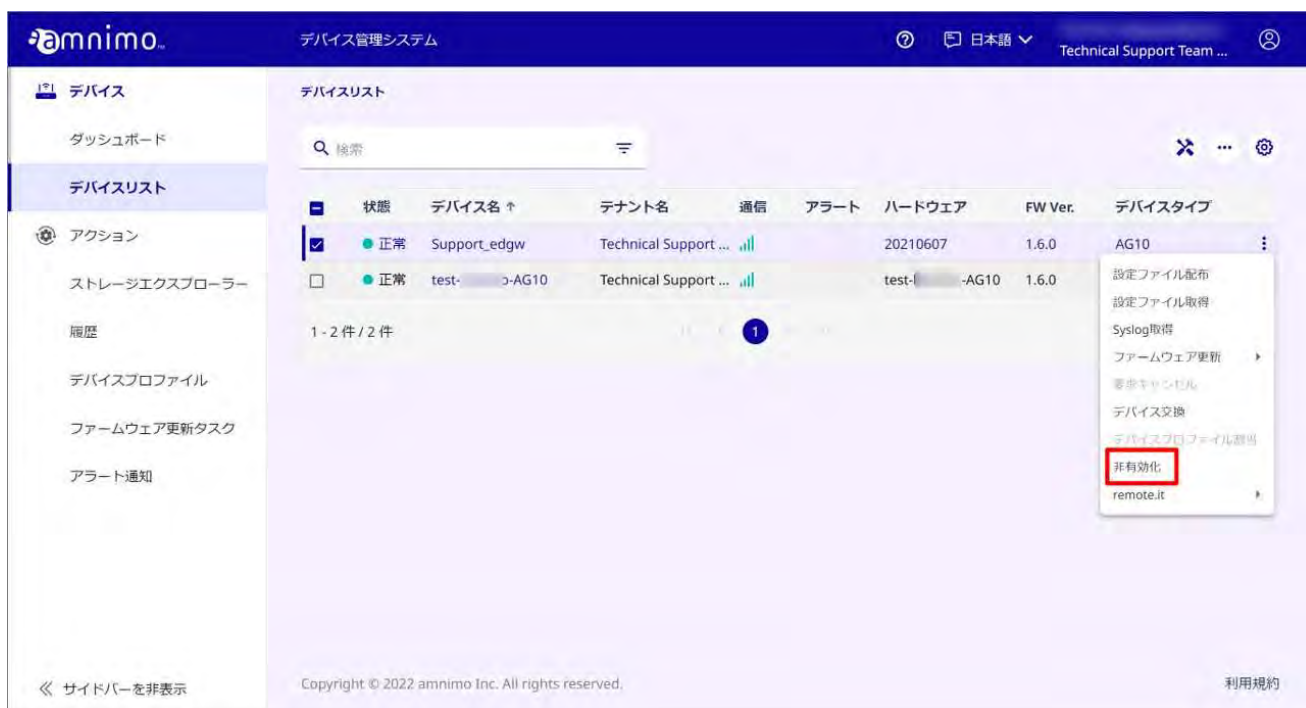
デバイスを非有効化する

2024年5月28日

ここではデバイスを非有効化する手順について説明します。非有効化には2通りの方法があります。

デバイスリストから非有効化する

- 1 デバイスリストで対象のデバイスを見つけます。
- 2 対象のデバイスの行の右端にある「⋮」から「非有効化」をクリックします。



- 3 確認画面が表示されるので「確認」をクリックすると、デバイスの非有効化が完了します。

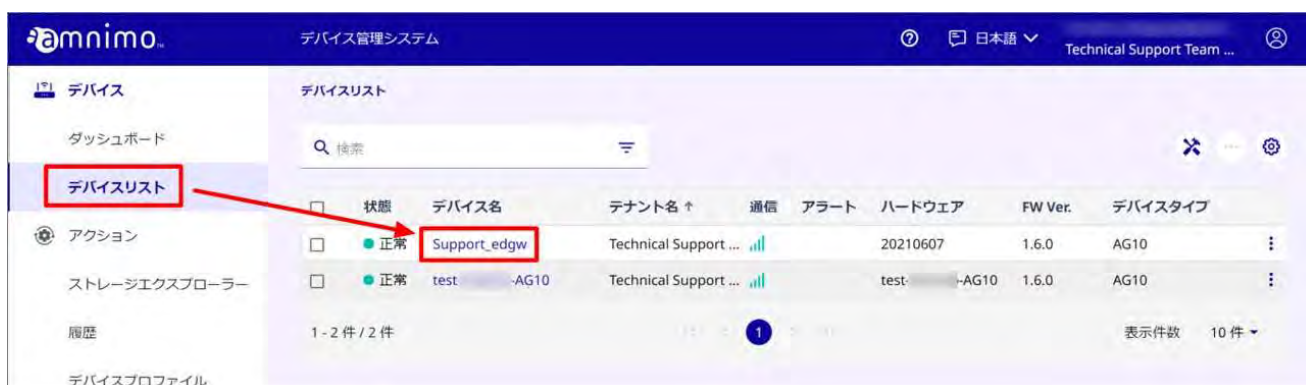


デバイス編集画面から非有効化する

! WARNING

アムニモポータブルについて、本機能は利用できません。

- 1 デバイスリストから対象のデバイスをクリックして開きます。



- 2 [非有効化] をクリックします。



- 3 確認画面が表示されるので [確認] をクリックすると、デバイスの非有効化が完了します。

確認

デバイスを非有効化しますか？

対象デバイス名

Support_edgw

戻る 確認

ファイルを操作する

2024年5月28日

! WARNING

アムニモポータブルおよびPCエッジについて、本ページに載っている機能は利用できません。

ファイルタブでは、デバイスからデバイス管理システムへアップロードされた以下のファイルが保存されています。

- Syslog ファイル
- Configuration ファイル

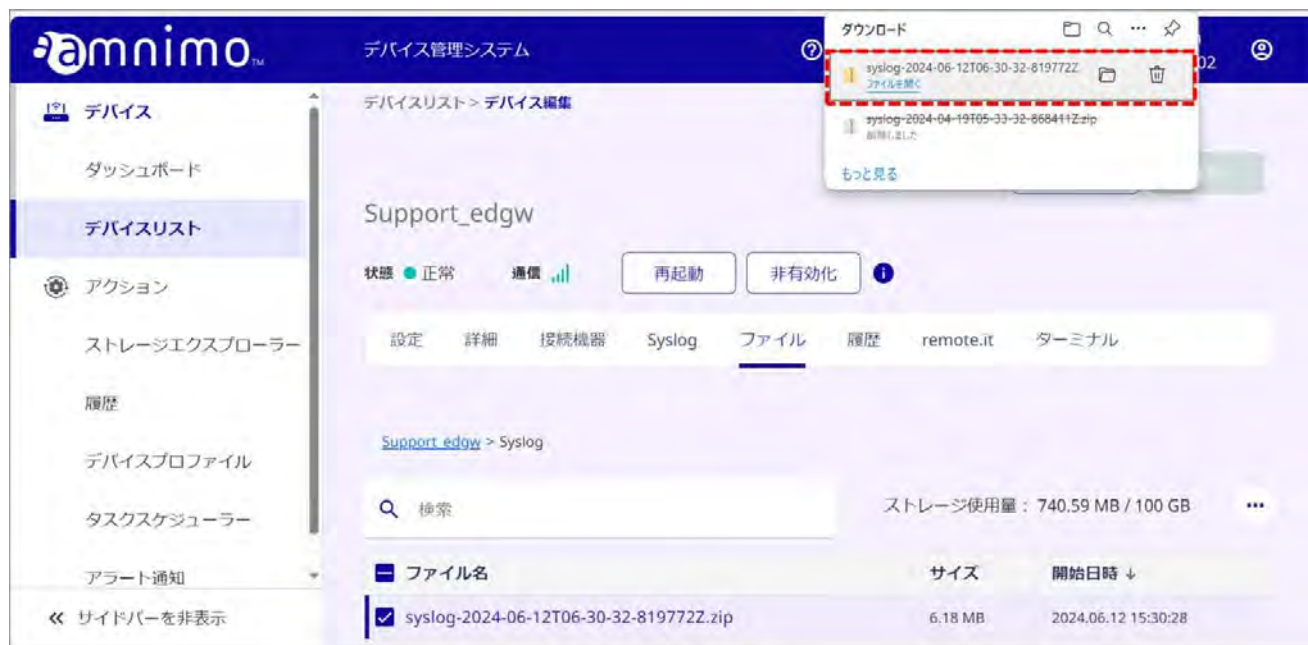
The screenshot shows the Amnimo Device Management System interface. The left sidebar contains navigation links: デバイス, ダッシュボード, デバイスリスト (selected), アクション, ストレージエクスプローラー, 履歴, デバイスプロフィール, タスクスケジューラー, アラート通知, and a toggle for the sidebar. The main content area is titled 'デバイスリスト > デバイス編集' and shows details for a device named 'Support_edgw'. The status is '正常' (Normal) with a signal strength indicator. There are buttons for '再起動' (Restart) and '非有効化' (Deactivate). A tab bar at the bottom of the main content area includes '設定' (Settings), '詳細' (Details), '接続機器' (Connected Devices), 'Syslog', 'ファイル' (Files, highlighted with a red box), '履歴' (History), 'remote.it', and 'ターミナル' (Terminal). Below the tab bar, there is a search bar and a storage usage indicator: 'ストレージ使用量: 740.59 MB / 100 GB'. A table lists the files, with columns for 'ファイル名' (File Name), 'サイズ' (Size), and '開始日時 ↓' (Start Time ↓). The table contains one entry: 'syslog-2024-06-12T06-30-32-819772Z.zip' with a size of '6.18 MB' and a start time of '2024.06.12 15:30:28'. The file is checked with a blue checkbox.

ファイルをダウンロードする

1 ダウンロードしたいファイルにチェックを入れて、[ダウンロード]をクリックします。



2 ファイルがダウンロードされました。



ファイルを削除する

1 削除したいファイルにチェックを入れて、「削除」をクリックします。



2 [削除] をクリックすると、ファイルが削除されます。



デバイスプロフィールの操作

2024年5月29日

! WARNING

アムニモポータブルおよびPCエッジについて、本ページに載っている機能は利用できません。

デバイスプロフィールでは、デバイスにダウンロードするファームウェアイメージと設定ファイルを規定します。
『[自動キッティング機能](#)』や『[デバイス交換機能](#)』を行う場合に利用します。

The screenshot shows the 'amnimo' Device Management System interface. The left sidebar contains navigation links: デバイス, ダッシュボード, デバイスリスト, アクション, ストレージエクスプローラー, 履歴, デバイスプロフィール (selected), タスクスケジューラー, アラート通知. The main content area is titled 'デバイスプロフィール' and includes a 'デバイスプロフィール新規作成' button, a search bar, and a table of device profiles.

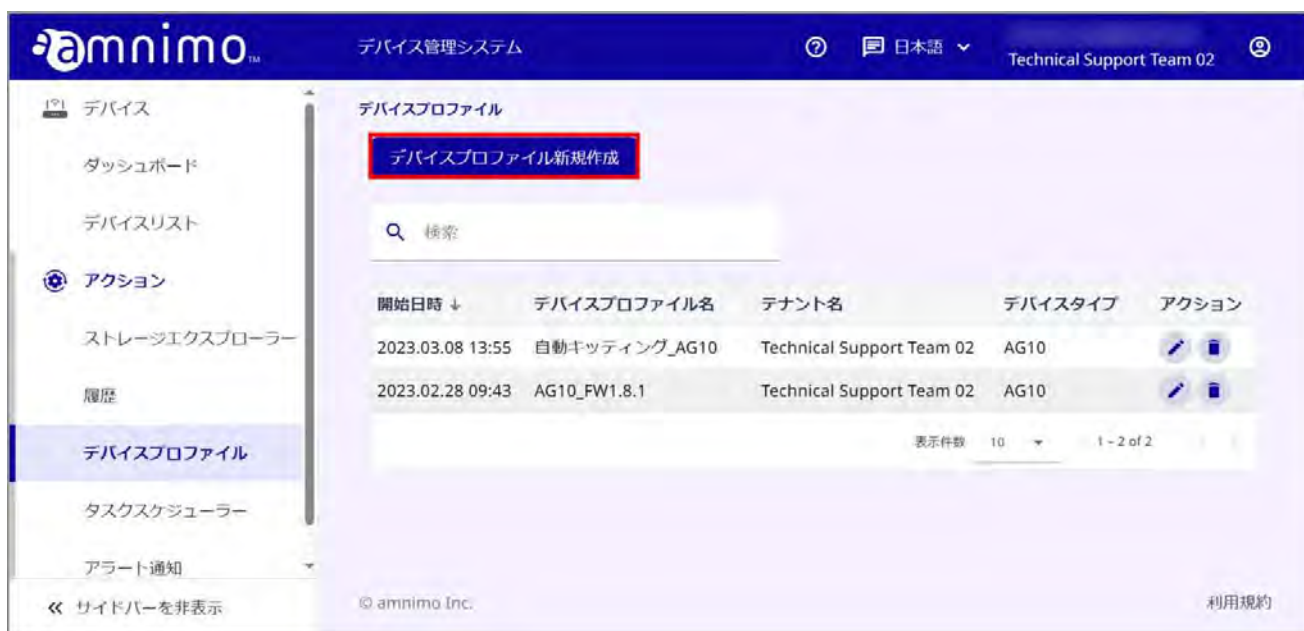
開始日時 ↓	デバイスプロフィール名	テナント名	デバイスタイプ	アクション
2023.03.08 13:55	自動キッティング_AG10	Technical Support Team 02	AG10	
2023.02.28 09:43	AG10_FW1.8.1	Technical Support Team 02	AG10	

At the bottom of the table, there is a pagination control showing '表示件数 10' and '1 - 2 of 2'. The footer includes '© amnimo Inc.' and a link to '利用規約'.

デバイスプロフィールを作成する

デバイスプロフィールの作成には、ファームウェアファイルおよび設定ファイルが必要です。
事前に [ストレージエクスプローラー](#) に、ファイルをそれぞれアップロードしてください。

- 1 デバイスプロフィールページより、**「デバイスプロフィール新規作成」**をクリックします。



2 プロファイルを作成します。各項目の入力が完了したら「確認」をクリックします。

デバイスプロフィール名



デバイスタイプ



ユーザー名、パスワード



ファームウェアファイル



設定ファイル



3 デバイスプロファイルの作成が完了しました。

amnimo™ デバイス管理システム

Technical Support Team 02

デバイスプロファイル

デバイスプロファイル新規作成

検索

開始日時 ↓	デバイスプロファイル名	テナント名	デバイスタイプ	アクション
2024.06.13 15:45	TEST	Technical Support Team 02	AG10	 
2023.03.08 13:55	自動キッティング_AG10	Technical Support Team 02	AG10	 
2023.02.28 09:43	AG10_FW1.8.1	Technical Support Team 02	AG10	 

表示件数 10 1 - 3 of 3

© amnimo Inc. 利用規約

デバイスプロファイルを編集する

デバイスプロファイルの編集方法をご紹介します。

なお、デバイスプロファイルが既にデバイスに割り当たっている場合、デバイスプロファイルの編集はできません。

1 編集するデバイスプロファイルに対して、編集アイコンをクリックします。

amnimo™ デバイス管理システム

Technical Support Team 02

デバイスプロファイル

デバイスプロファイル新規作成

検索

開始日時 ↓	デバイスプロファイル名	テナント名	デバイスタイプ	アクション
2024.06.13 15:45	TEST	Technical Support Team 02	AG10	 
2023.03.08 13:55	自動キッティング_AG10	Technical Support Team 02	AG10	 
2023.02.28 09:43	AG10_FW1.8.1	Technical Support Team 02	AG10	 

表示件数 10 1 - 3 of 3

© amnimo Inc. 利用規約

- 2 内容を編集し、[確認] をクリックすると、デバイスプロファイルの編集が完了します。

デバイスプロファイル作成

デバイスプロファイル名: TEST デバイスタイプ: AG10

ユーザー名: パスワード:

ファームウェアファイル: aaaa.amf

ファイルを選択

設定ファイル: Configuration_test.zip

ファイルを選択

戻る 確認

デバイスプロファイルを削除する

デバイスプロファイルの削除方法をご紹介します。

なお、デバイスプロファイルが既にデバイスに割り当たっている場合、デバイスプロファイルの削除はできません。

- 1 削除するデバイスプロファイルに対して、削除アイコンをクリックします。

amnimo™ デバイス管理システム 日本語 Technical Support Team 02

デバイスプロファイル

デバイスプロファイル新規作成

検索

開始日時 ↓	デバイスプロファイル名	テナント名	デバイスタイプ	アクション
2024.06.13 15:45	TEST	Technical Support Team 02	AG10	 
2023.03.08 13:55	自動キックティング_AG10	Technical Support Team 02	AG10	 
2023.02.28 09:43	AG10_FW1.8.1	Technical Support Team 02	AG10	 

表示件数 10 1 - 3 of 3

© amnimo Inc. 利用規約

- 2 [確認] をクリックすると、デバイスプロファイルが削除されます。



ストレージエクスプローラーの操作

2024年5月29日

デバイス管理システムでは、設定ファイル、ファームウェアのイメージファイル、Syslog ファイルを管理するためにデバイス管理システムのサブスクリプションごとにストレージを用意しています。

ファイル画面では、ストレージに格納されているファイルを参照できます。また、ファイルのアップロード、ダウンロードも可能です。

なお、デバイス管理システムの1テナントあたりの使用可能なストレージ量は、100 GB です。

! WARNING

アムニモポータブルおよびPCエッジについて、本ページに載っている機能は利用できません。

フォルダ構成

ストレージエクスプローラーには、Configuration フォルダ、Firmware フォルダ、AI Apps フォルダが用意されています。各フォルダにデバイスの設定変更やファームウェア更新に必要なファイルをアップロードしてください。

- Configuration フォルダ：デバイス管理システムからデバイスに対して、設定を変更する際に必要なファイルを格納します。
- Firmware フォルダ：デバイス管理システムからデバイスに対して、ファームウェアを更新する際に必要なファイルを格納します。
- AI Apps フォルダ：デバイス管理システムからデバイスに対して、AI アプリをインストールする際に必要なファイルを格納します。

The screenshot displays the 'amnimo™ デバイス管理システム' (Device Management System) interface. The left sidebar contains navigation options: 'デバイス' (Devices), 'ダッシュボード' (Dashboard), 'デバイスリスト' (Device List), 'アクション' (Actions), 'ストレージエクスプローラー' (Storage Explorer - highlighted with a red box), '履歴' (History), 'デバイスプロフィール' (Device Profile), 'タスクスケジューラー' (Task Scheduler), and 'アラート通知' (Alerts). The main area is titled 'ストレージエクスプローラー' (Storage Explorer) and shows a '+ アップロード' (Upload) button, a search bar, and a storage usage indicator: 'ストレージ使用量: 733.22 MB / 100 GB'. Below this is a table listing folders:

☐	ファイル名	サイズ	作成日時 ↓
☐	Ai Apps		2022.08.05 15:24:26
☐	Firmware		2021.10.13 17:16:29
☐	Configuration		2021.10.13 17:16:29

At the bottom of the table, it shows '表示件数 10' (Number of items displayed: 10) and '1 - 3 of 3' (1 - 3 of 3). The footer includes '© amnimo Inc.' and a link to '利用規約' (Terms of Use).

ファイル管理をする

ファイルをアップロードする

ファイルのアップロード方法をご紹介します。アップロードできるファイルサイズの上限は、500 MB です。

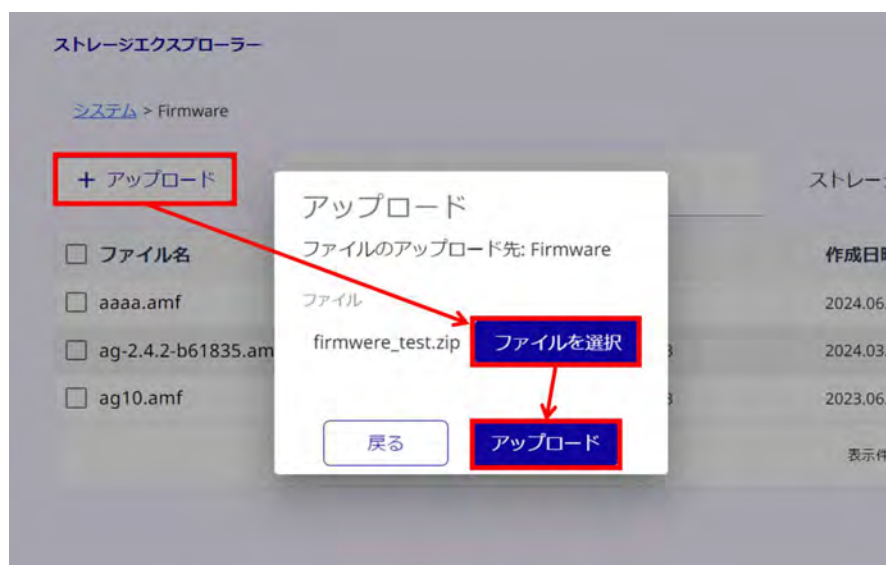
NOTE

AI Apps フォルダでは、この操作は行えません。

1 アップロード先のフォルダに移動します。



2 [アップロード] をクリックして、対象のファイルをアップロードします。



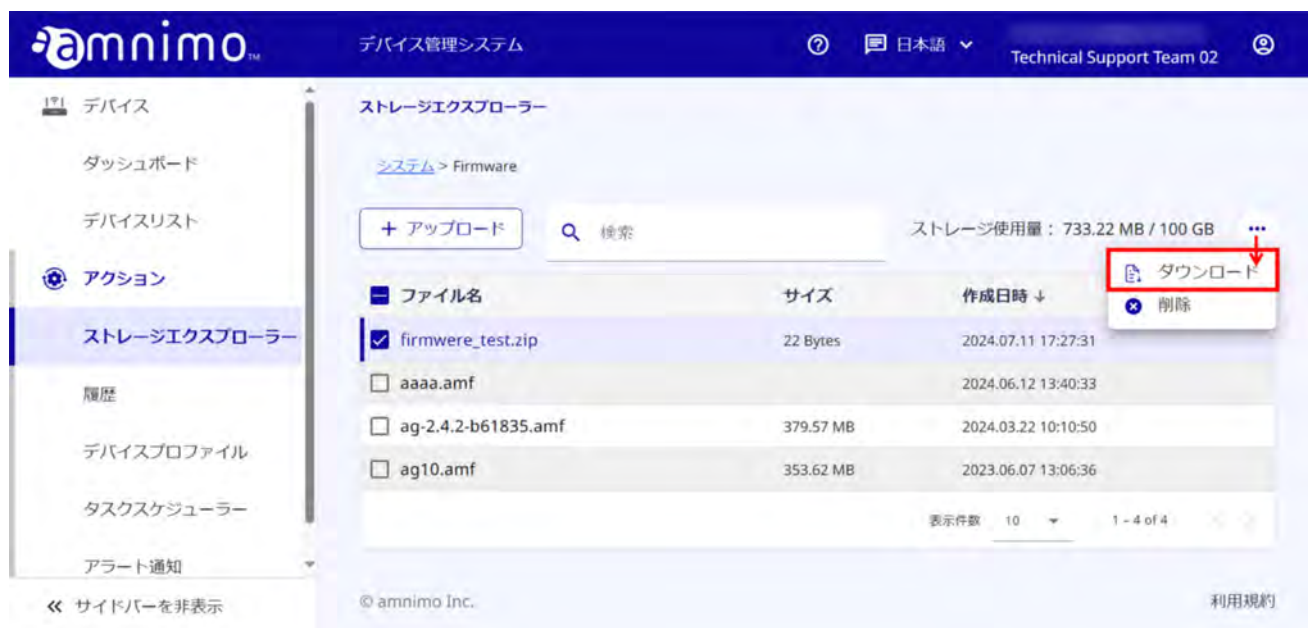
アップロードが完了しました。



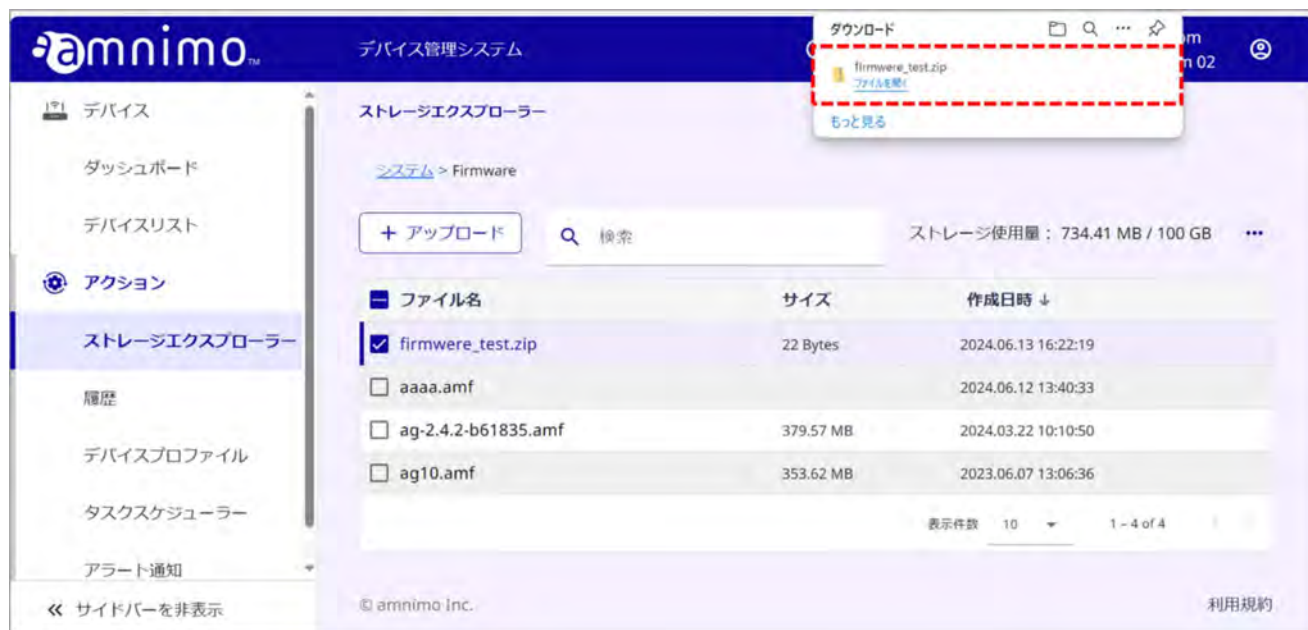
ファイルをダウンロードする

ファイルのダウンロード方法をご紹介します。

ダウンロードしたいファイルにチェックを入れて、「ダウンロード」をクリックします。



2 ファイルがダウンロードされました。



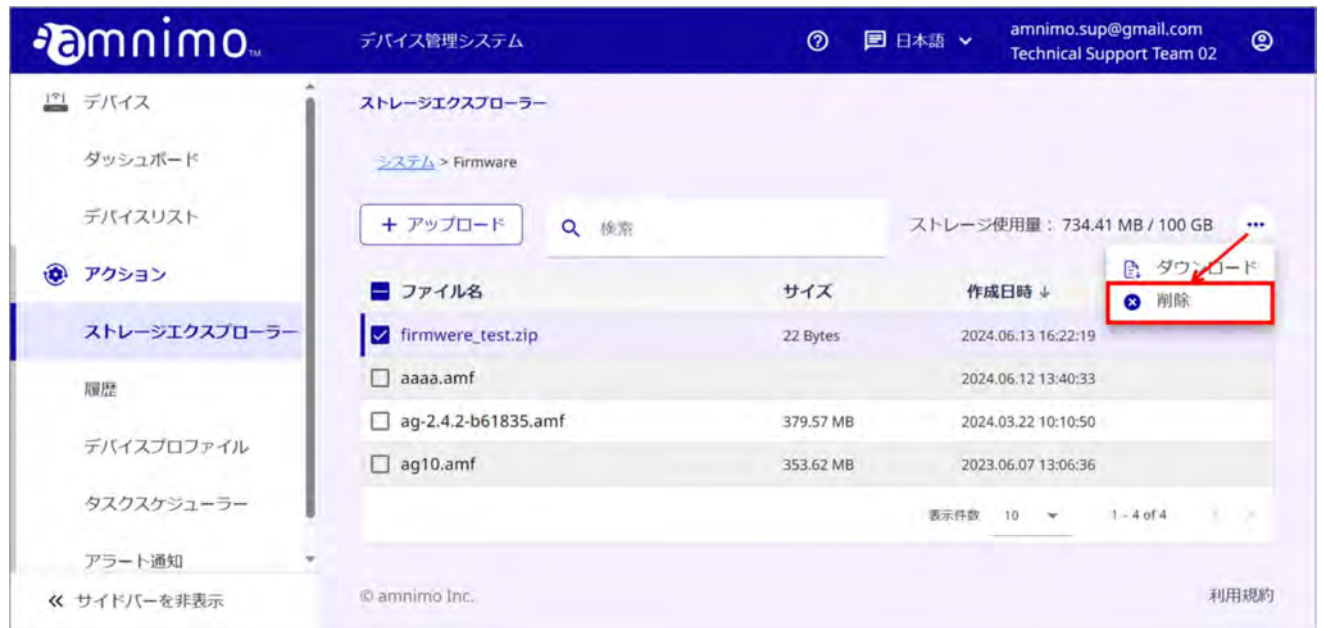
ファイルを削除する

ファイルの削除方法をご紹介します。

NOTE

AI Apps フォルダについて、AI アプリが選択しているファイルは削除をすることができません。

1 削除したいファイルにチェックを入れて、「削除」をクリックします。



2 「削除」をクリックします。



3 ファイルが削除されました。

The screenshot displays the 'amnimo' Device Management System interface. The left sidebar contains navigation links: 'デバイス' (Devices), 'ダッシュボード' (Dashboard), 'デバイスリスト' (Device List), 'アクション' (Actions), 'ストレージエクスプローラー' (Storage Explorer - currently selected), '履歴' (History), 'デバイスプロフィール' (Device Profile), 'タスクスケジューラー' (Task Scheduler), and 'アラート通知' (Alerts). The main content area is titled 'ストレージエクスプローラー' and shows a breadcrumb 'システム > Firmware'. It includes an '+ アップロード' (Upload) button, a search bar with '検索' (Search), and a storage usage indicator 'ストレージ使用量: 734.41 MB / 100 GB'. A table lists files with columns for 'ファイル名' (Filename), 'サイズ' (Size), and '作成日時 ↓' (Created Date). The table contains three entries: 'aaaa.amf' (2024.06.12 13:40:33), 'ag-2.4.2-b61835.amf' (379.57 MB, 2024.03.22 10:10:50), and 'ag10.amf' (353.62 MB, 2023.06.07 13:06:36). At the bottom, it shows '表示件数 10' (Display 10 items) and '1 - 3 of 3'. The footer includes '© amnimo Inc.' and a '利用規約' (Terms of Use) link.

amnimo™ デバイス管理システム 日本語 Technical Support Team 02

ストレージエクスプローラー

システム > Firmware

+ アップロード 検索 ストレージ使用量: 734.41 MB / 100 GB

☐ ファイル名	サイズ	作成日時 ↓
☐ aaaa.amf		2024.06.12 13:40:33
☐ ag-2.4.2-b61835.amf	379.57 MB	2024.03.22 10:10:50
☐ ag10.amf	353.62 MB	2023.06.07 13:06:36

表示件数 10 1 - 3 of 3

≪ サイドバーを非表示 © amnimo Inc. 利用規約

タスクスケジューラーの操作

2024年5月29日

! WARNING

アムニモポータブルおよびPCエッジについて、本ページに載っている機能は利用できません。

タスクを作成・実行することで、複数台のデバイスに対し、指定した時間に自動でファームウェア更新したり、設定ファイルを配布することができます。

タスクの実行結果は、メールで通知され、詳細はデバイス管理システム上で確認することができます。

The screenshot displays the 'Task Scheduler' (タスクスケジューラー) interface within the Amnimo Device Management System. The left sidebar contains navigation options: デバイス, ダッシュボード, デバイスリスト, アクション (highlighted), ストレージエクスプローラー, 履歴, デバイスプロフィール, タスクスケジューラー (selected), and アラート通知. The main area shows a 'タスク新規作成' (Create New Task) button and a search bar. Below is a table of tasks:

☐	状態	タスク名	デバイスタイプ	作成者	開始日時 ↓	終了日時	アクション
☐	開始待ち	TASK-001	AG10		2023.03.31 12:59	-	[Edit] [Pause] [Stop]
☐	失敗	自動キッティング (AG10)	AG10		2023.02.28 09:44	2023.02.28 09:44	[Edit] [Pause] [Stop]

At the bottom right of the table, there is a '表示件数' (Number of items to display) set to 10 and a pagination indicator '1 - 2 of 2'.

状態について



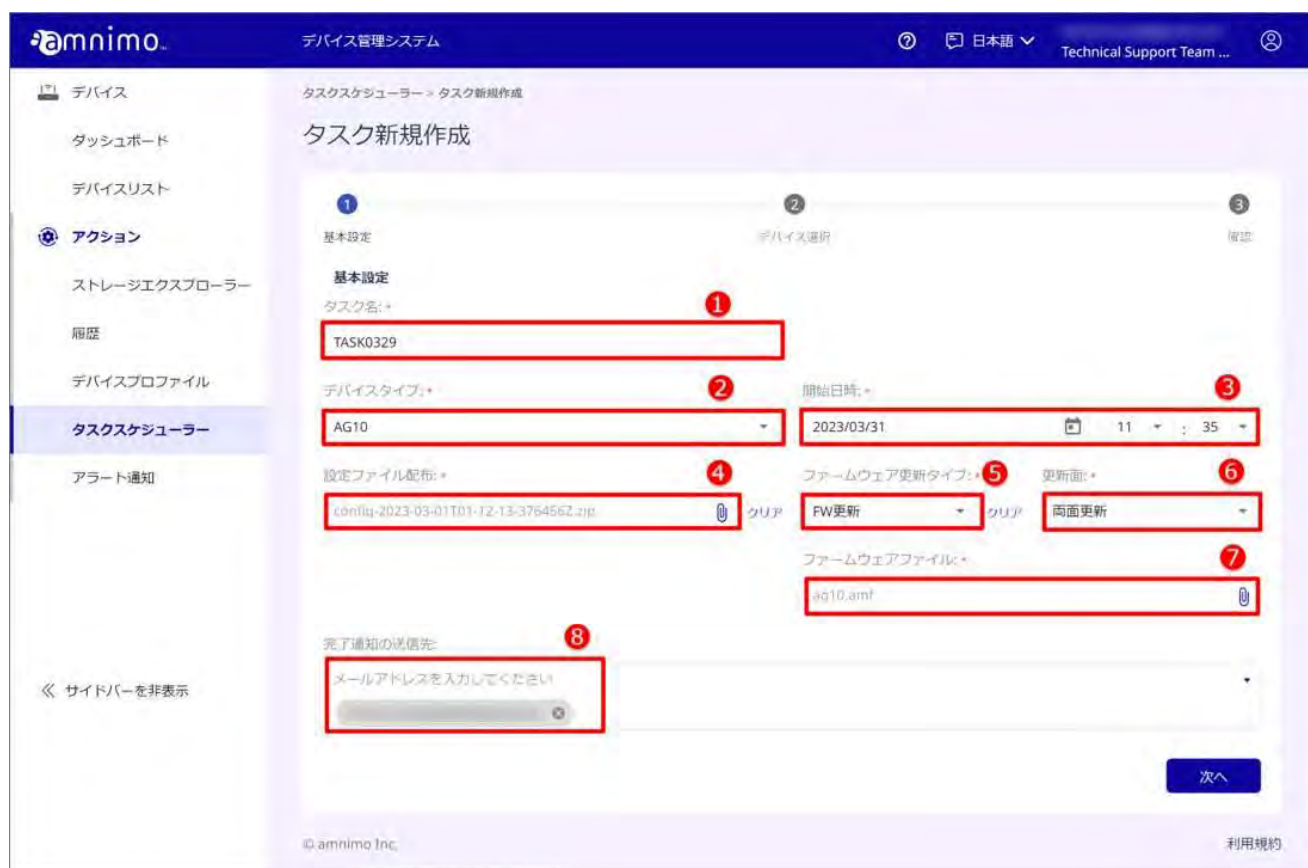
タスクの新規作成

タスクの作成方法をご紹介します。タスクは最大 100 件まで作成することができます。

- 1 タスクスケジューラーから、**「タスク新規作成」**をクリックします。



2 タスク情報を入力し、「次へ」をクリックします。



- ① タスク名を入力してください。次の記号 (\ : * / ? " ' < > ' =) を含まず、最大 100 文字で設定してください。
- ② デバイスタイプを入力してください。
- ③ タスクの実行開始日時を入力してください。実行日時は、現在時刻の 5 分先から 1 年先の間で選択が可能です。
- ④ 設定ファイルを配布する場合は、配布するファイルを選択して下さい。
- ⑤ ファームウェア更新タイプを選択してください。（AC10 の場合、「FW更新」のみ選択できます。）
- ⑥ 更新する面を選択してください。（⑤でFW更新を選択した場合のみ）
- ⑦ ファームウェアファイルを選択します。（⑤でFW更新を選択した場合のみ）

⑧ タスク完了等の通知先メールアドレスを選択してください。メールアドレスは、最大 10 件まで登録が可能です

設定ファイルやファームウェアファイルの選択



3 対象のデバイスを選択し、「次へ」をクリックします。

NOTE

- 1タスクあたり最大100台のデバイスが設定可能です。
- タスク作成時に100台を超えるデバイスを選択した場合は、システムが自動でデバイスを100台ずつに分割して複数のタスクを作成します。分割して作成されたタスクには、手順2で設定したタスク名に「_1」「_2」といった通し番号の接尾辞が付きます。

amnimo. デバイス管理システム

ファームウェア更新タスク > タスク新規作成

タスク新規作成

基本設定 デバイス選択 確認

デバイス選択

検索

デバイス名	テナント名	FW Ver.	デバイスタイプ
☒ Support_edgw	Technical Support Team 02	1.6.0	AG10
☐ test-AG10	Technical Support Team 02	1.6.0	AG10

表示件数 10 1-2 of 2

戻る 次へ

Copyright © 2022 amnimo Inc. All rights reserved. 利用規約

4 内容を確認し、「保存」をクリックすると、タスクの作成が完了します。



タスクを編集する

開始待ちのタスクを、編集する方法をご紹介します。

- 1 **編集するタスクに対して、編集アイコンをクリックします。**



- 2 **タスク情報を編集し、[次へ] をクリックします。**

3 対象のデバイスを選択し、「次へ」をクリックします。

デバイス名	テナント名	FW Ver.	デバイスタイプ
☒ Support_edgw	Technical Support Team 02	1.8.3	AG10
☐ test- AG10	Technical Support Team 02	1.8.3	AG10

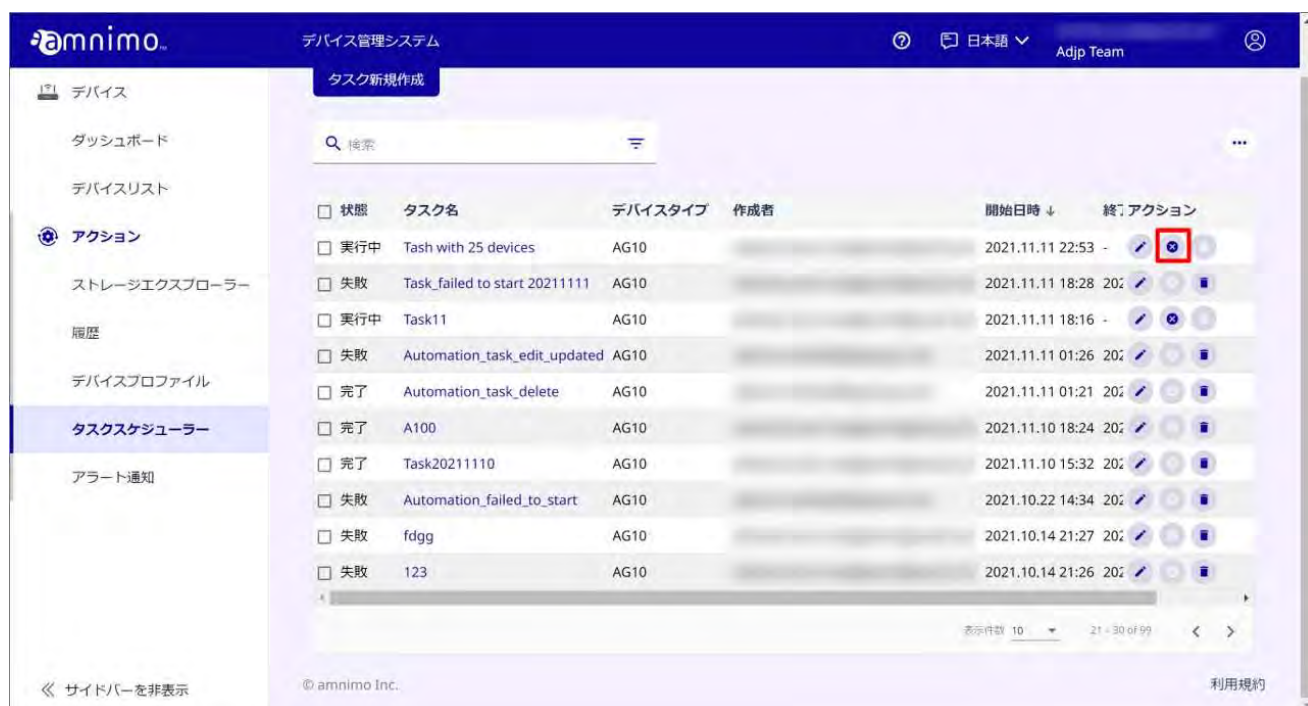
4 内容を確認し、「保存」をクリックすると、タスクの編集が完了します。



タスクをキャンセルする

実行中のタスクを、キャンセルする方法をご紹介します。

1 キャンセルするタスクに対して、キャンセルアイコンをクリックします。



「確認」をクリックすると、タスクのキャンセルが完了します。



タスクを削除する

タスクの削除方法をご紹介します。なお、実行中のタスクを削除することはできません。

- 1 削除するタスクに対して、削除アイコンをクリックします。



- 2 [確認] をクリックすると、タスクの削除が完了します。



タスクの実行結果を確認する

メールで確認する

タスク作成時に完了通知の送信先に指定したアドレスにメールが送信されます。なお、タスクに関するメールは3種類あります。

- タスク開始
- タスク完了（失敗含む）
- タスクキャンセル

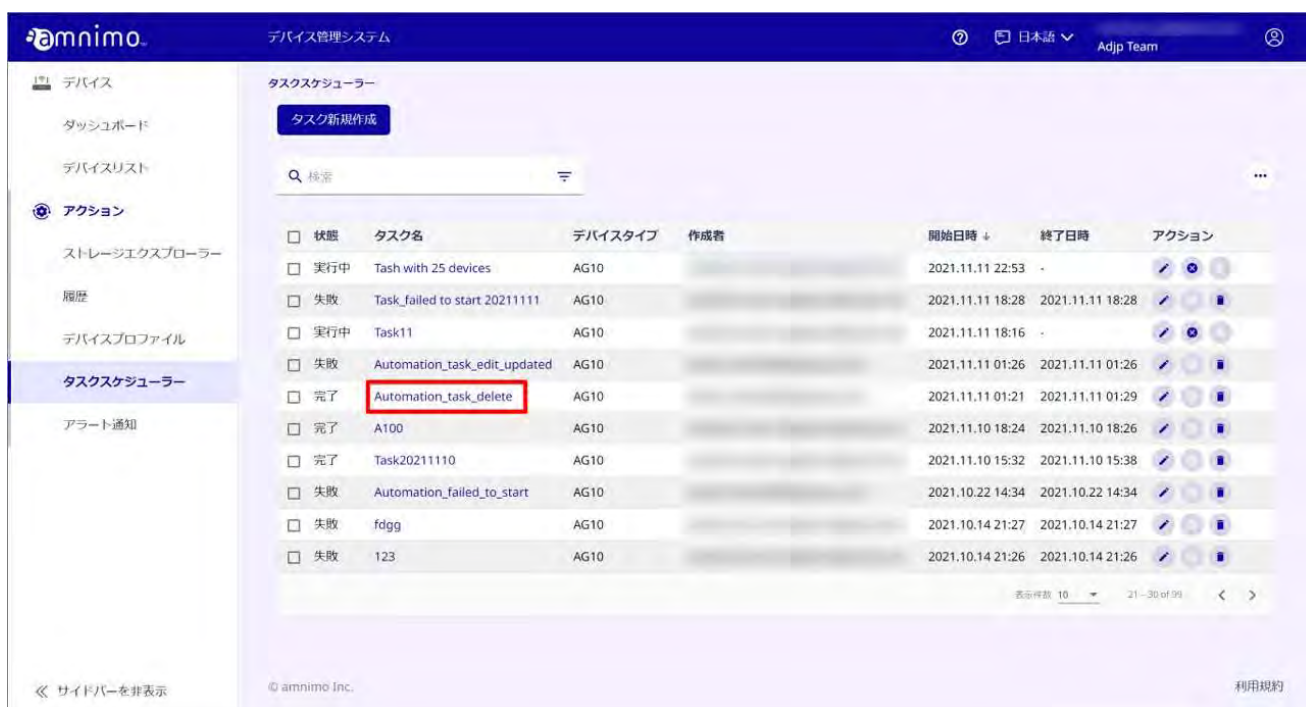


メールイメージ

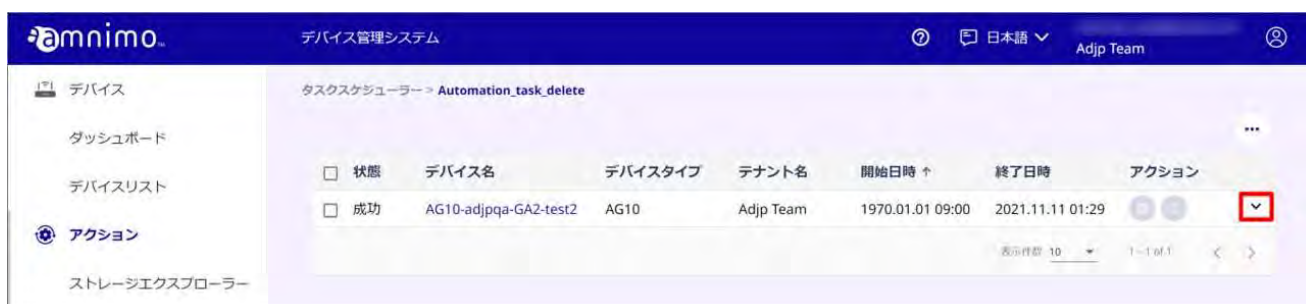
デバイス管理システム上で確認する

デバイス管理システム上で、タスクの実行結果を確認することができます。

- 1 **スケジュールが終了したタスク名をクリックします。**



2 展開アイコンをクリックします。



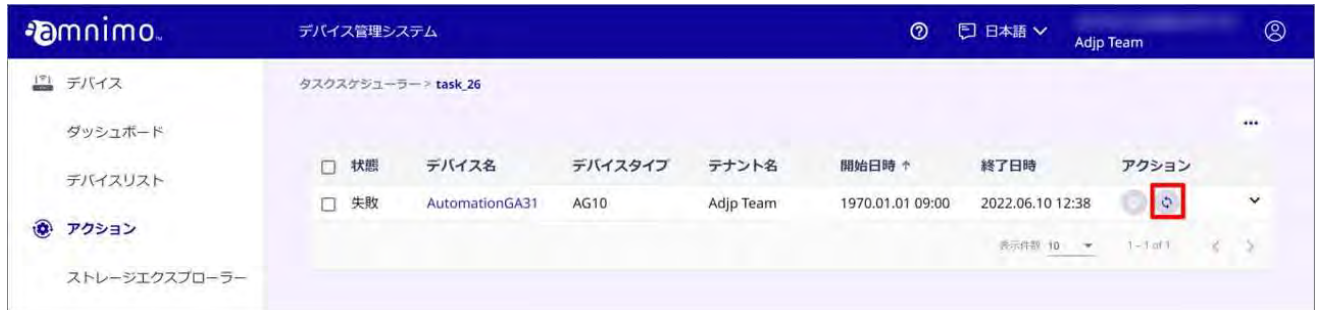
3 タスクの実行結果の詳細が確認できます。タスクが失敗した場合は、失敗の原因などが記載されている場合があります。



タスクを再試行する

タスクの実行結果が失敗だった場合など、同じタスクを再試行することが出来ます。

- 1 対象のタスクを開いて、再試行ボタンをクリックします。



- 2 確認画面が表示されるので、「確認」をクリックします。



アラート通知機能の設定

2024年5月29日

アラート通知機能は、エッジゲートウェイ / IoT ルーターの通信が途絶えた際などに、ユーザーにメールを送信して通知する機能です。



アラート通知画面

アラート通知設定の新規作成

新規のアラート通知設定の作成方法をご紹介します。

- 1 [新規作成] をクリックします。



以下の画面が表示されるので、必要な項目を入力し「確認」をクリックします。

- ① 名前：通知設定の名前を入力します。（最大 100 文字まで入力可能。）
- ② 通知先：▼をクリックし、通知を送信したいユーザーを選択します。（1つの設定につき、20 ユーザーまで選択可能。）
- ③ アラートイベント：必要なイベントのトグルをクリックして有効にします。

新規作成

名前 * ①

Test

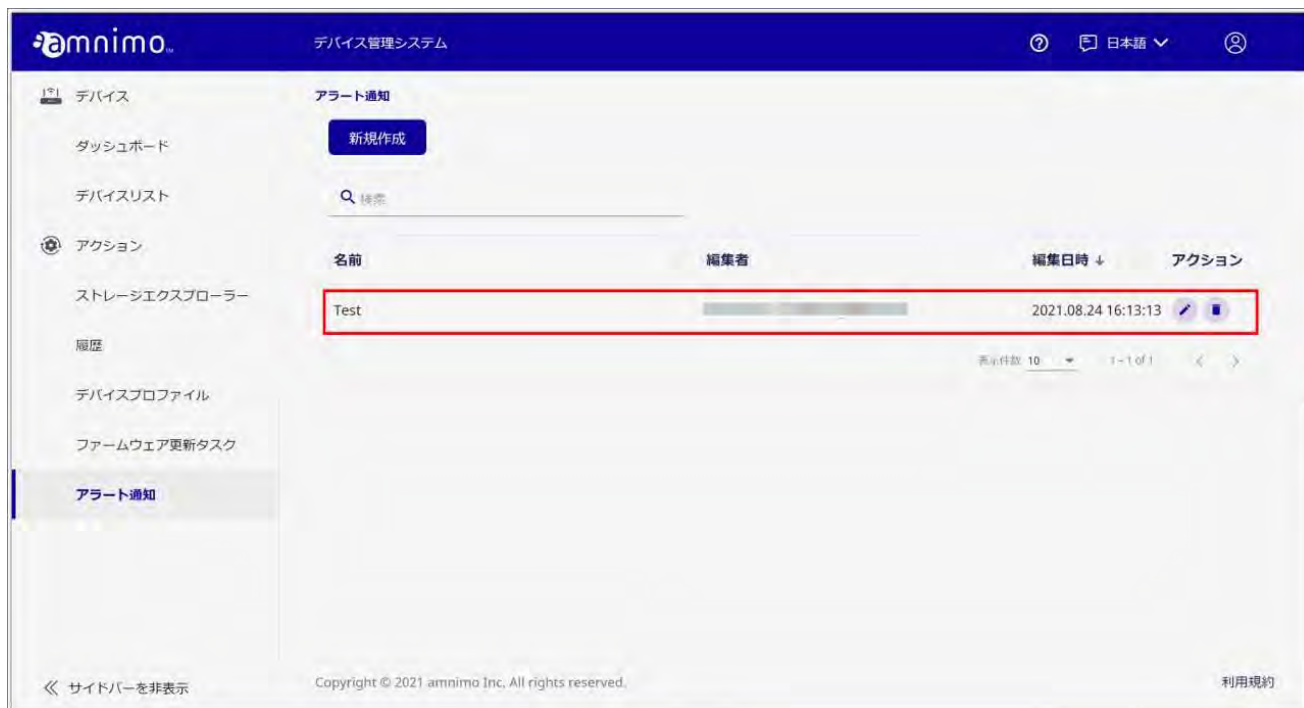
通知先 * ②

アラートイベント ③

デバイス接続	☒
デバイス切断	☒
外部機器接続	☒
外部機器切断	☒

キャンセル 保存

3 設定が完了すると、以下のように一覧に表示されます。



アラート通知を編集する

既存のアラート通知の設定を修正する方法をご紹介します。

1 編集したいアラート通知の鉛筆のアイコンをクリックします。



2 以下の画面が表示されるので、適宜修正を行い「保存」をクリックします。以下の例では名前を編集します。

新規作成

名前 *

Test

通知先 *

アラートイベント

デバイス接続

デバイス切断

外部機器接続

外部機器切断

キャンセル

保存

修正した内容が反映され、編集が完了します。

amnimo™ デバイス管理システム 日本語 Technical Support Team 02

デバイス

ダッシュボード

デバイスリスト

アクション

ストレージエクスプローラー

履歴

デバイスプロフィール

タスクスケジューラー

アラート通知

アラート通知

新規作成

検索

名前	更新者	更新日時 ↓	アクション
test01		2024.06.17 17:00:16	 
切断検知		2023.03.08 13:15:35	 

表示件数 10 1 - 2 of 2

サイドバーを非表示

© amnimo Inc. 利用規約

アラート通知を削除する

既存のアラート通知を削除する方法をご紹介します。

- アラート通知画面を開き、削除したいアラートのゴミ箱のアイコンをクリックします。



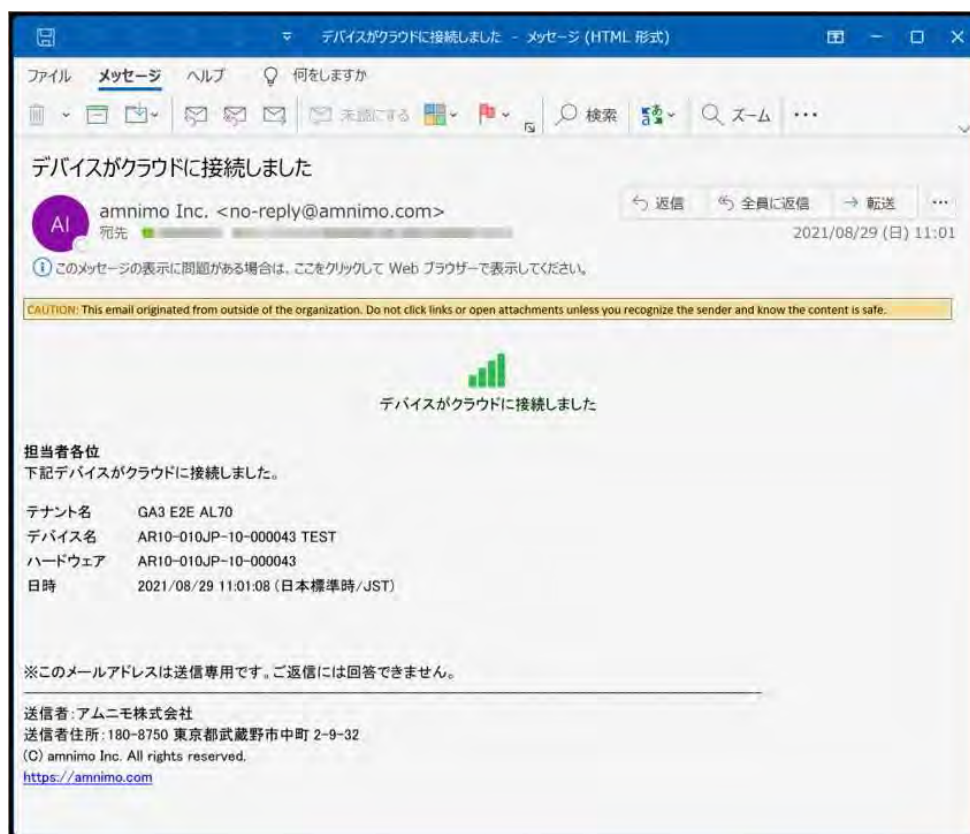
2

確認画面が表示されるので、「削除」をクリックします。一覧から削除されれば完了です。

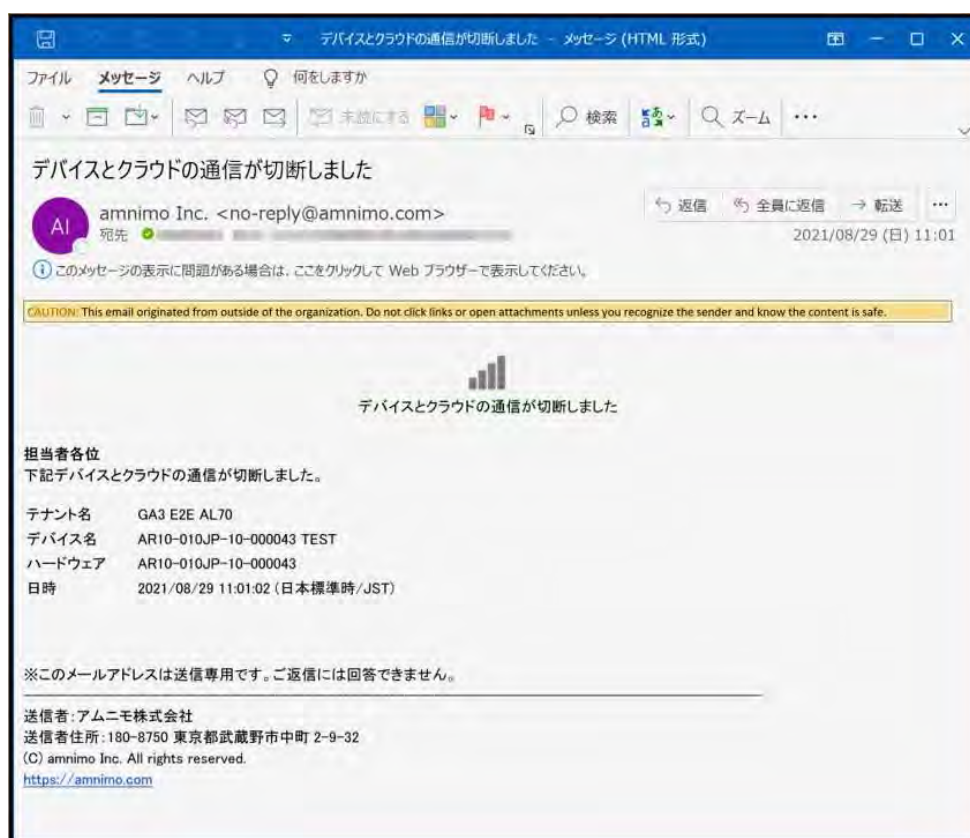


メールサンプル

デバイスがクラウドに接続した場合、以下のようなメールが送信されます。



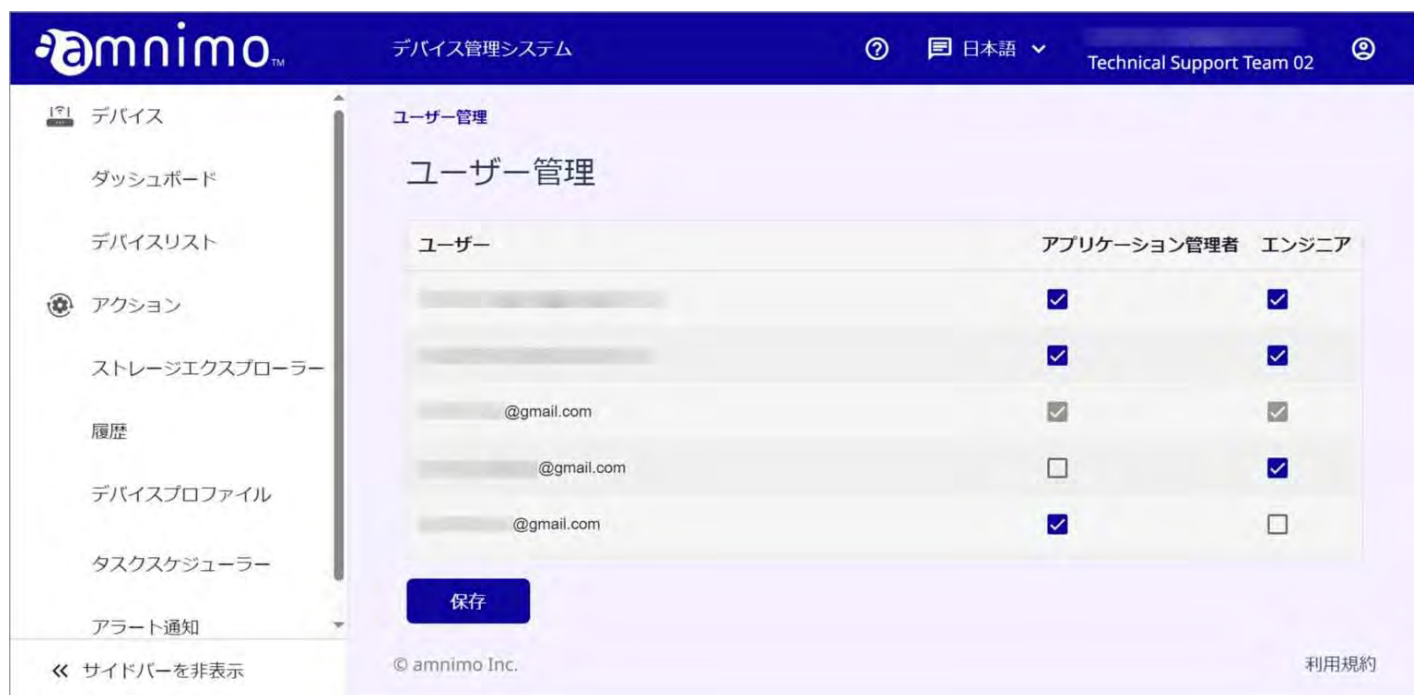
デバイスとクラウドの通信が切断した場合、以下のようなメールが送信されます。



ユーザー管理

2024年5月29日

ユーザー管理画面では、メンバーに対するアプリケーション利用権限を管理することができます。



ユーザー管理画面

メンバーを招待する

メンバーに権限を付与することで、デバイス管理システムの利用ができるようになります。

! WARNING

メンバーは事前に、『サービス管理ポータル』から招待しておく必要があります。

このセクションでは、[サービス管理ポータル](#)からメンバーを招待し、デバイス管理システムで権限付与する手順について説明します。

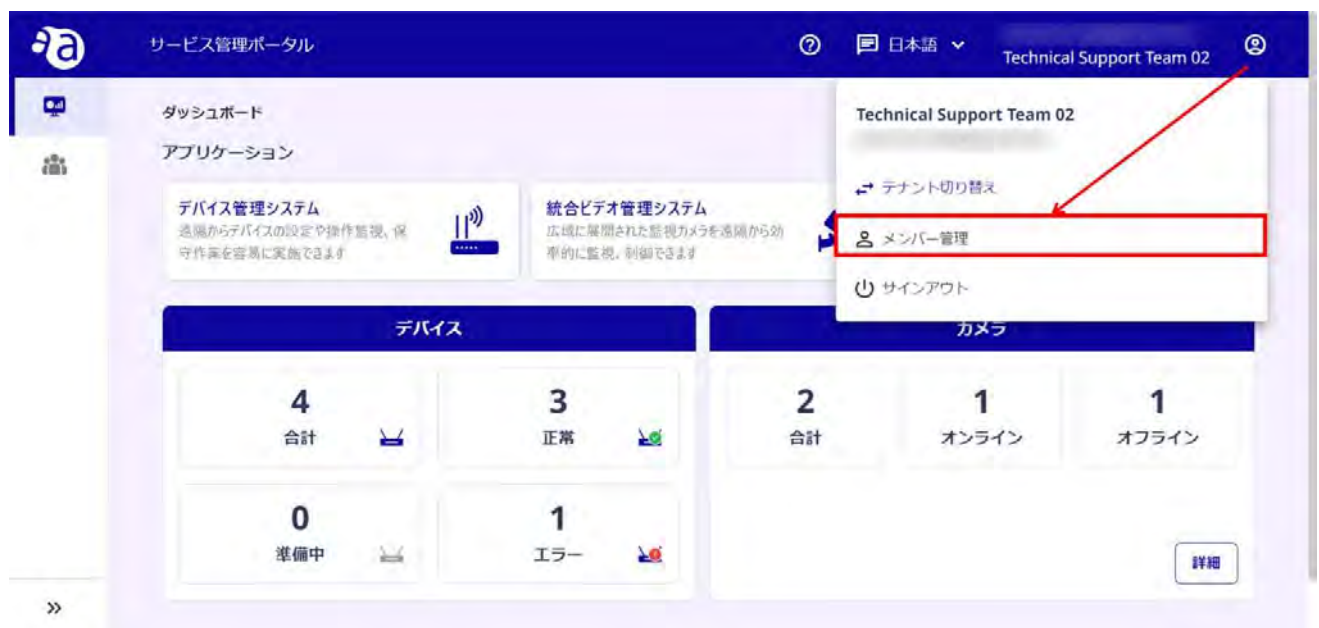
メンバー招待方法をご紹介します。メンバー招待時にアプリケーションの権限も付与することができます。

- 1 [サービス管理ポータル](#) にログインします。



The image shows the login page of the amnimo system. It features the amnimo logo at the top left. Below it, the title "サインイン" (Sign In) is displayed. There are two input fields: "メールアドレス" (Email Address) and "パスワード" (Password). A checkbox labeled "サインインしたままにする" (Keep me signed in) is present, along with a link "パスワードをお忘れですか?" (Forgot your password?). A blue "サインイン" button is at the bottom. The footer shows "© 2022 amnimo, Inc."

2 [メンバー管理] をクリックします。



The image shows the Service Management Portal dashboard. The top navigation bar includes the amnimo logo, "サービス管理ポータル", a help icon, a language dropdown set to "日本語", and the user name "Technical Support Team 02". A dropdown menu is open, showing options: "テナント切り替え" (Switch Tenant), "メンバー管理" (Member Management), and "サインアウト" (Sign Out). The "メンバー管理" option is highlighted with a red box and a red arrow. The main dashboard area displays two sections: "デバイス" (Devices) and "カメラ" (Cameras). The "デバイス" section shows a summary of 4 total devices, with 3 normal, 0 in preparation, and 1 error. The "カメラ" section shows a summary of 2 total cameras, with 1 online and 1 offline. A "詳細" (Details) button is located at the bottom right of the camera section.

3 [メンバー招待] をクリックします。



①～④ の各項目を入力し、「招待する」をクリックすると、メンバー招待が完了します。
招待されたメンバーはメールが届きます。ご確認ください。

メンバー招待

メールアドレス ①

言語 ②

役割の選択 ③

Technical Suppo...

デバイス管理システム

統合ビデオ管理システム

④

キャンセル 招待する

- ① メールアドレス：招待するメンバーのメールアドレスを入力します。
- ② 言語：言語を選択します。
- ③ 役割の選択：役割（テナント管理者、メンバー、テナントエンジニア）を選択します。（各役割については [こちら](#) をご参照ください。）
- ④ アプリケーション権限：権限を選択します。（各役割については [権限表](#) をご参照ください。）

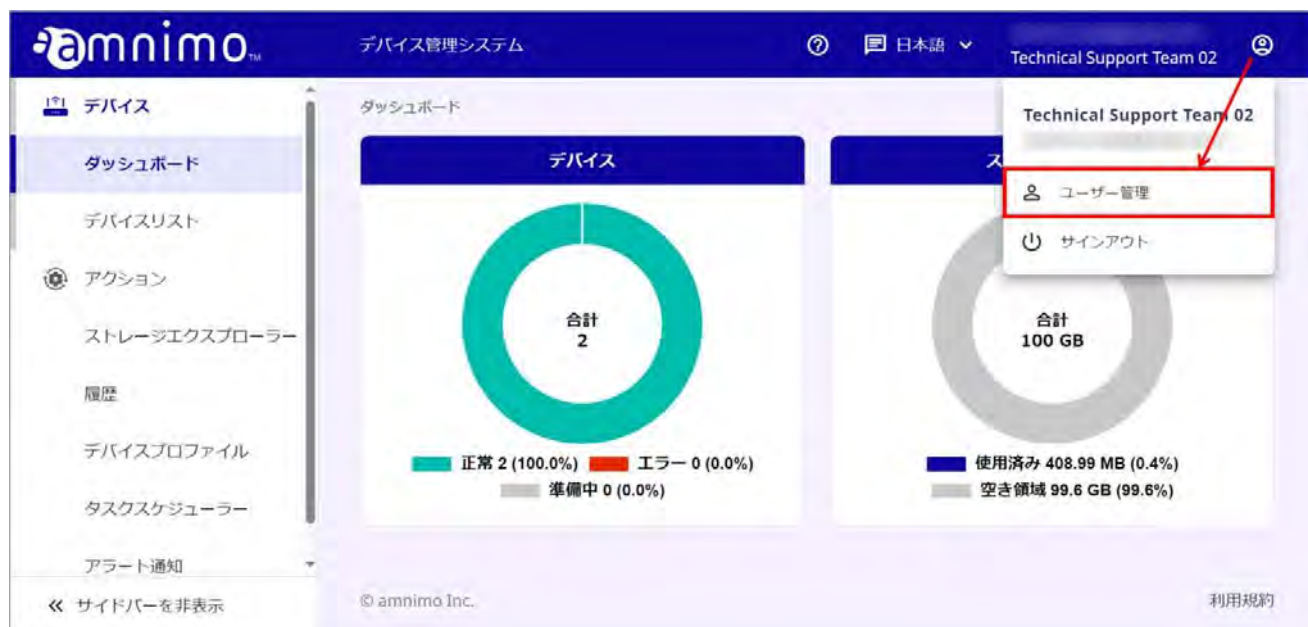
ユーザーに権限を付与する

サービス管理ポータルでメンバーを追加したら、**デバイス管理システム**から権限を付与することが出来ます。

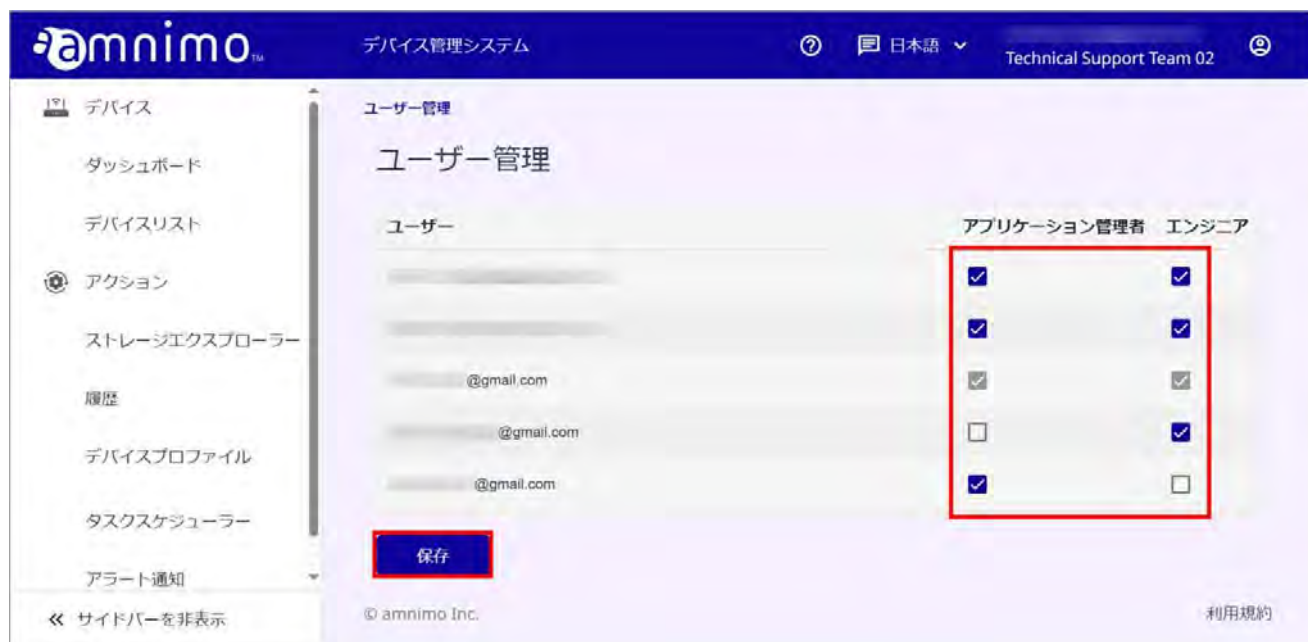
NOTE

ご自身のアカウントの権限はご自身で操作できません。

- 1 デバイス管理システムで、「ユーザー管理」をクリックします。



- 2 権限を選択後、「保存」をクリックすると、権限の付与が完了します。

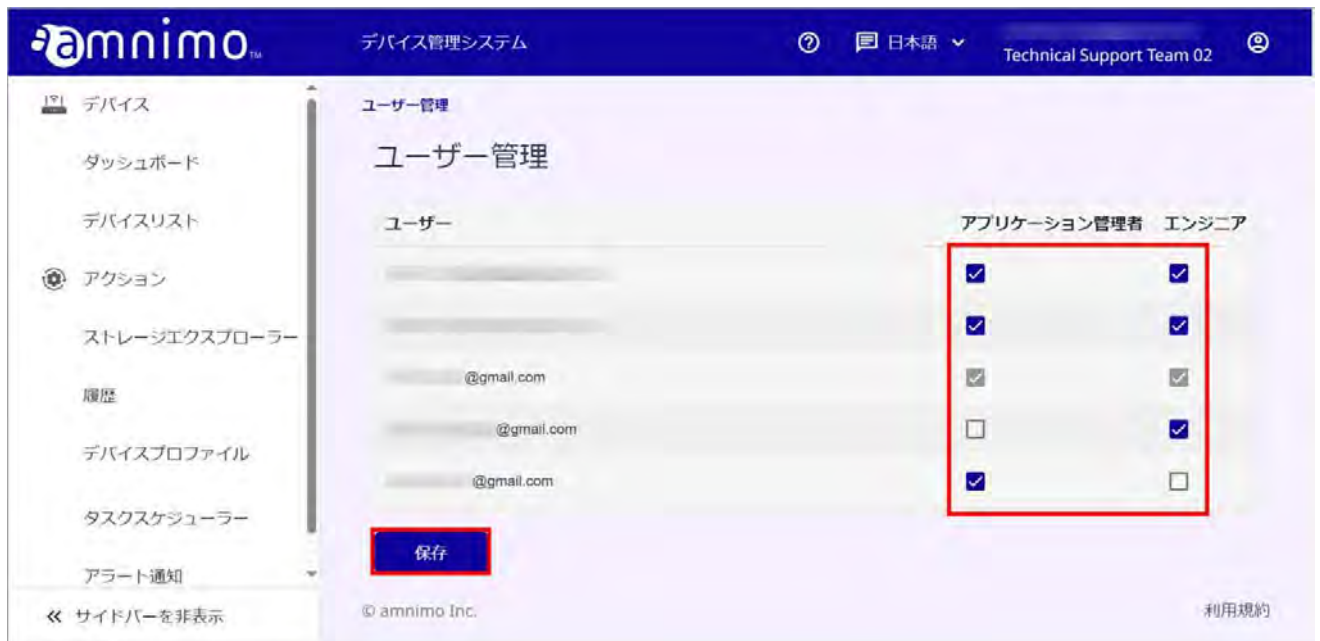


ユーザーの権限を削除する

NOTE

ご自身のアカウントの権限はご自身で操作できません。

- 1 権限のチェックを外し、[保存]をクリックすると、権限の削除が完了します。



remote.it の初期設定

2024年5月28日

! WARNING

- remote.it の設定をする場合、エッジゲートウェイ / IoT ルーター のファームウェアのバージョンを 1.2.3 以上にしてください。
- デバイス管理システムから remote.it の設定をするには、事前に amnimo と remote.it のご利用契約を結ぶ必要があります。ご利用をご希望のお客様は、amnimo の営業担当までご連絡ください。
- デバイス管理システムお申し込み後、remote.it を申し込まれる場合、remote.it のアカウント作成完了後に amnimo のカスタマーサポートへ、会社名、お客様名、remote.it アカウントで利用しているメールアドレス、デバイス名、設定完了日を [amnimo カスタマーサポート](#) までご連絡ください。
- ACシリーズはデバイス管理システムからremote.itの制御はできません。
- アムニモポータブルおよびPCエッジは、remote.itの利用ができません。

デバイス管理システムで remote.it のターゲットデバイスの設定をすることができます。



! WARNING

- 事前に remote.it を有効化してください。詳しい手順については、下記の FAQ を参照して下さい。
⇒ 『[remote.it を有効化する \(CLI\)](#)』
- CLI からは remote.it のデバイスやサービスの登録を行わないでください。デバイス管理システムから remote.it の設定が出来なくなります。

デバイスを登録する

remote.it に、デバイスを登録する方法を説明します。

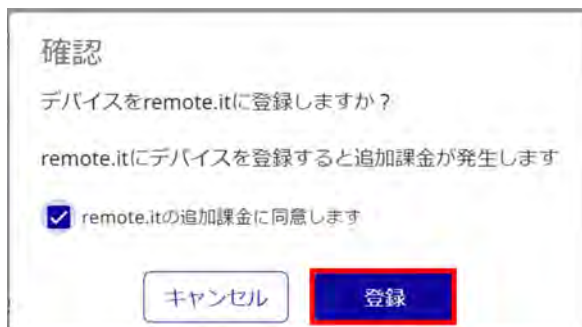
1 [登録] をクリックします。



2 確認事項にチェックを入れて、[登録] をクリックします。

! WARNING

- remote.it にデバイスを登録すると、登録したデバイス数に応じて remote.it の利用課金が発生します。
- remote.it を利用するデバイスに間違いがないか、十分に確認のうえ実行ください。



3 デバイスの登録が完了します。



サービスを追加する

ご利用するサービス（SSH や NxWitness）の追加方法をご紹介します。

< デフォルトポート番号表 >

タイプ	デフォルトポート番号
TCP	0
VNC	5900
RDP	3389
HTTP	80
HTTPS	443
SSH	22
SMB/CIFS	445
NxWitness	7001
Nextcloud	443
OpenVPN	1194
Minecraft	25565
Admin Panel	29999
Terraria	7777
UDP	0
WireGuard	51820
Minecraft Bedrock	19132

1 [サービス新規追加] をクリックします。



サービス名、タイプ、ポート番号、ホストアドレスを入力し、[追加] をクリックします。

 NOTE

- ホストアドレスについて、エッジゲートウェイ / IoT ルーターに接続する場合は、空欄のままにしてください。空欄の場合、ループバックアドレス（127.0.0.1）が自動で適用されます。
- タイプを選択するとポート番号が自動で入力されます。なお、ポート番号を指定する場合は、1 から 65535 の任意の番号を指定してください。
- TCP、UDP タイプはデフォルトのポート番号が 0 のため、タイプを指定後に番号 0 から 0 以外の任意の番号に変更してください。

エッジゲートウェイ / IoT ルーターに接続されたデバイス（カメラ等）に接続する場合は、接続先のデバイス（カメラ等）の IP アドレスを入力してください。



サービスの追加が完了します。（サービス ID はサービス追加時に自動で割り当てられます。）



amnimo™ デバイス管理システム 日本語 Technical Support Team 02

Support_edgw

状態 ● 正常 通信 [再起動] [非有効化] ⓘ

設定 詳細 接続機器 Syslog ファイル 履歴 remote.it ターミナル

デバイス名: AG10-

[登録解除]

サービス 共有

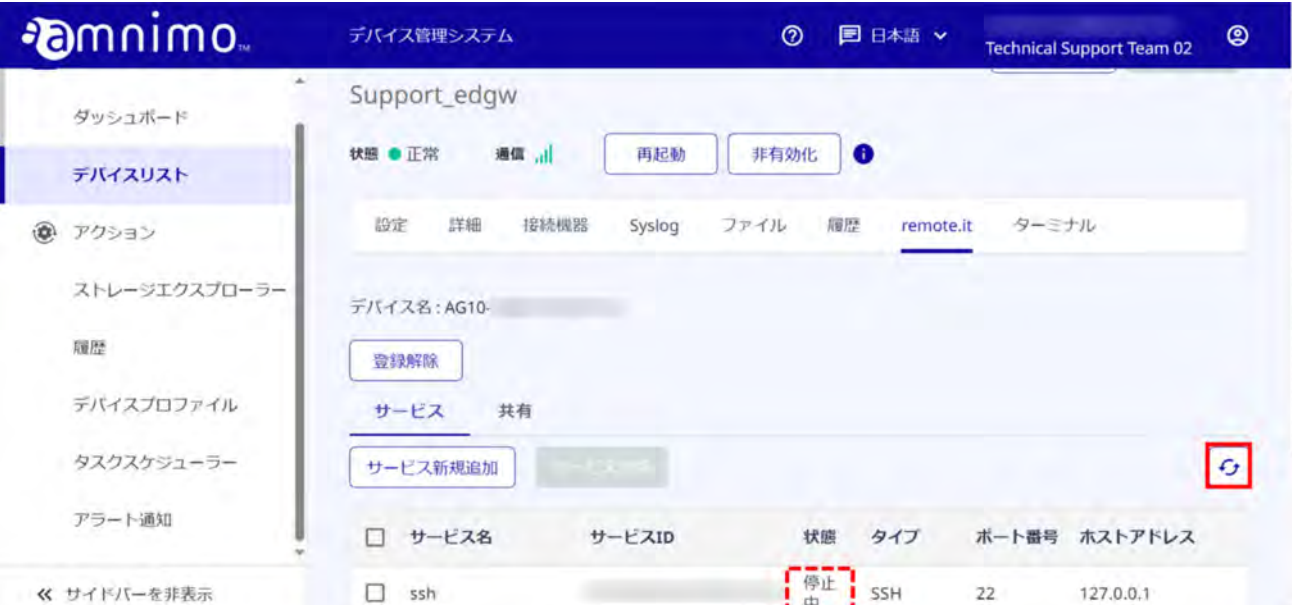
[サービス新規追加]

☐	サービス名	サービスID	状態	タイプ	ポート番号	ホストアドレス
☐	ssh		稼働中	SSH	22	127.0.0.1

◀ サイドバーを非表示

NOTE

サービスを追加直後は、最新の状態が反映されるまで状態が“停止中”となることがあります。その場合は、サービス追加後しばらく経ってから、リストの更新ボタンをクリックしてください。



amnimo™ デバイス管理システム 日本語 Technical Support Team 02

Support_edgw

状態 ● 正常 通信 [再起動] [非有効化] ⓘ

設定 詳細 接続機器 Syslog ファイル 履歴 remote.it ターミナル

デバイス名: AG10-

[登録解除]

サービス 共有

[サービス新規追加]

☐	サービス名	サービスID	状態	タイプ	ポート番号	ホストアドレス
☐	ssh		停止中	SSH	22	127.0.0.1

◀ サイドバーを非表示

サービスを共有する

デバイス登録およびサービスの追加が完了したら、続けてサービスの共有をします。サービス共有をすることで、共有先の remote.it アカウントからサービスへの接続が可能になります。

NOTE

この作業を行わないと、remote.it デスクトップクライアントや remote.it サイトへログインしてもデバイスが表示されません。

- 1 **「共有」タブより、「共有」をクリックします。**



- 2 **共有するユーザー、および共有するサービスを選択し、「確認」をクリックします。**



- 3 **「共有」をクリックすると、サービス共有が完了します。**

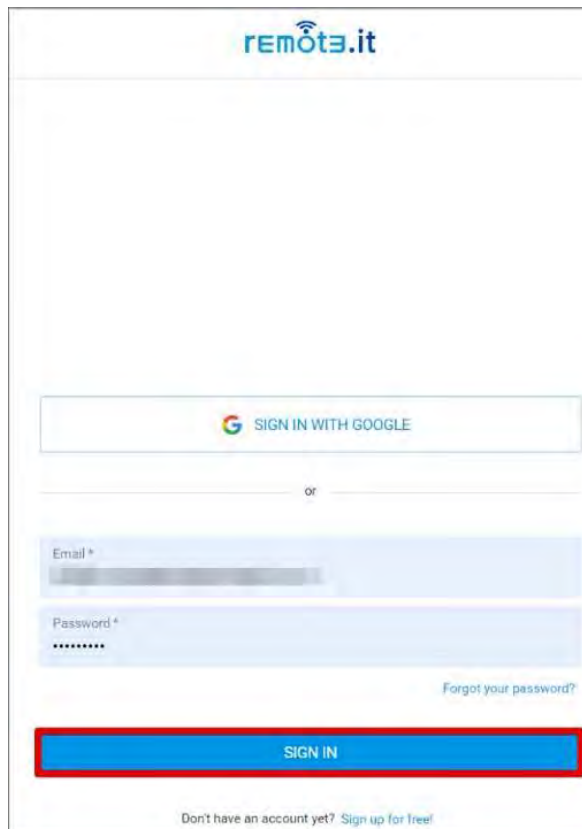


A confirmation dialog box with the title "確認" (Confirmation). The text asks: "指定したremote.itアカウントにサービスを共有しますか?" (Do you want to share the service with the specified remote.it account?). Below this, there is a field for "remote.it アカウント:" (remote.it account:) which is blurred. Another field for "対象デバイス名:" (Target device name:) contains the text "ssh". At the bottom, there are two buttons: "戻る" (Back) and "共有" (Share). The "共有" button is highlighted with a red border.

サービスを接続する

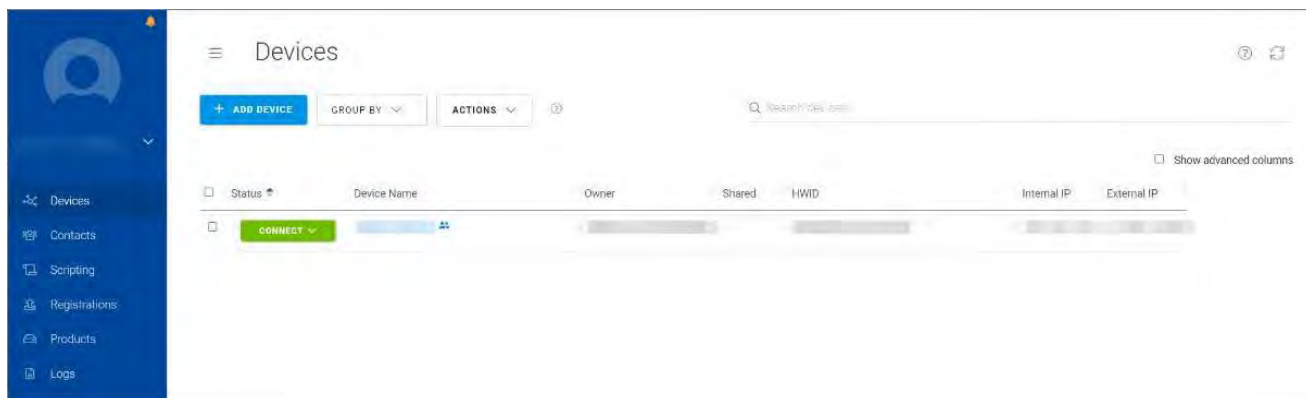
remote.it 経由でサービスに接続する方法をご紹介します。

- 1 remote.it にアクセスし、デバイス、サービスの共有先の remote.it アカウントでサインインします。



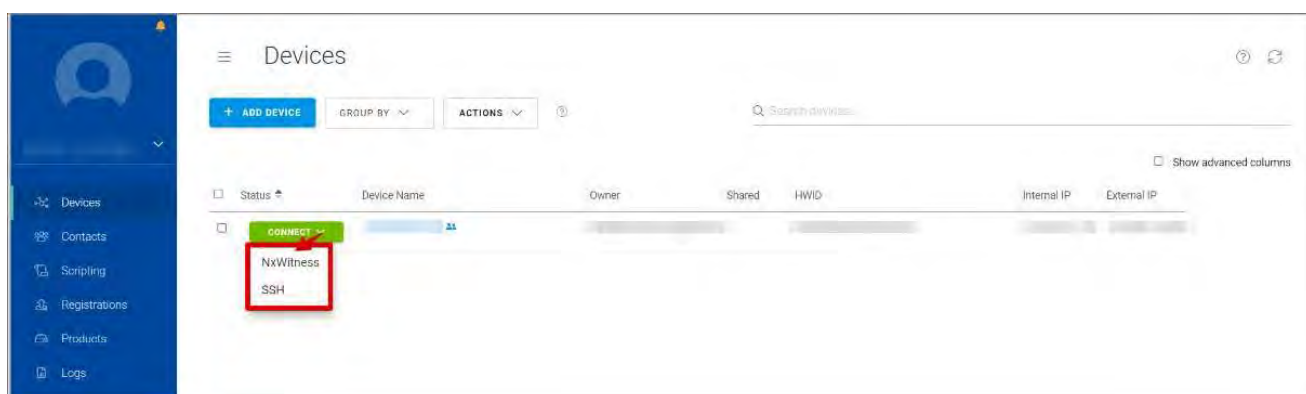
The remote.it sign-in page. At the top is the "remot3.it" logo. Below it is a "SIGN IN WITH GOOGLE" button. Underneath is an "or" separator. Then there are input fields for "Email *" and "Password *". The password field shows masked characters. To the right of the password field is a link "Forgot your password?". At the bottom is a large blue "SIGN IN" button, which is highlighted with a red border. At the very bottom, there is a link "Don't have an account yet? Sign up for free!".

- 2 デバイス管理システムで共有したデバイス、サービスがデバイスリストに表示されていることを確認します。



3

[CONNECT] をクリック後、ご利用するサービスを選択します。



4

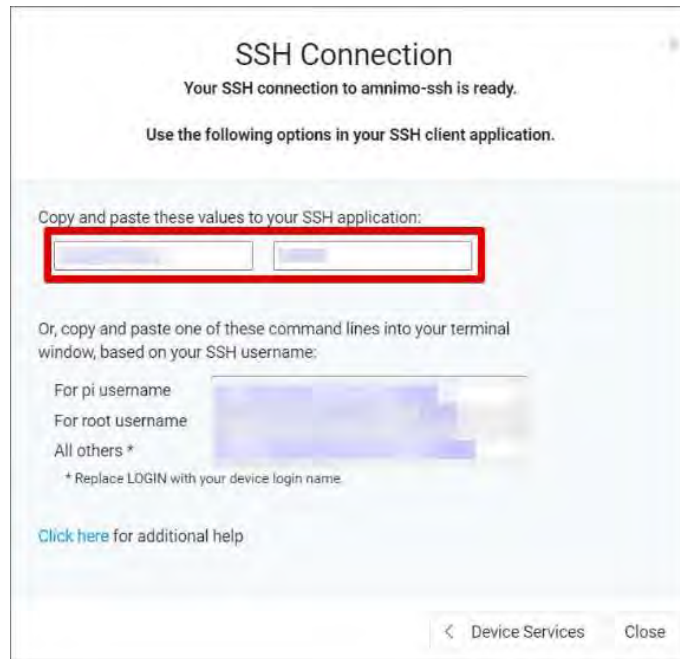
接続に必要なホスト名、ポート番号、URL などが表示されます。

表示される内容はサービスにより異なります。

サービスに適したアプリケーション上で各値を入力して、エッジゲートウェイ / IoT ルーターに接続してください。

remote.it ポータルサイトを経由して接続する場合、各値が有効なのは一度きりです。

手順 4 の画面を開いて一定時間が経過したり再接続したりする場合は、手順 3 のサービス選択に戻って同様に接続してください。



デバイスの登録を解除する

2024年5月28日

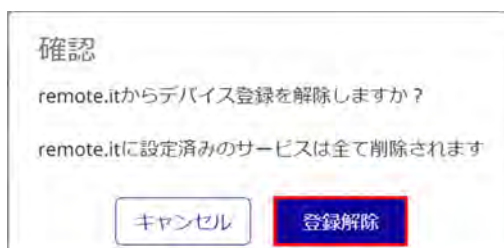
remote.it に登録したデバイスの登録解除方法をご紹介します。

デバイスを登録解除すると、そのデバイスは remote.it の利用課金の対象外となります。

- 1 [登録解除] をクリックします。



- 2 [登録解除] をクリックすると、デバイスの登録解除が完了します。



サービスを編集する

2024年6月27日

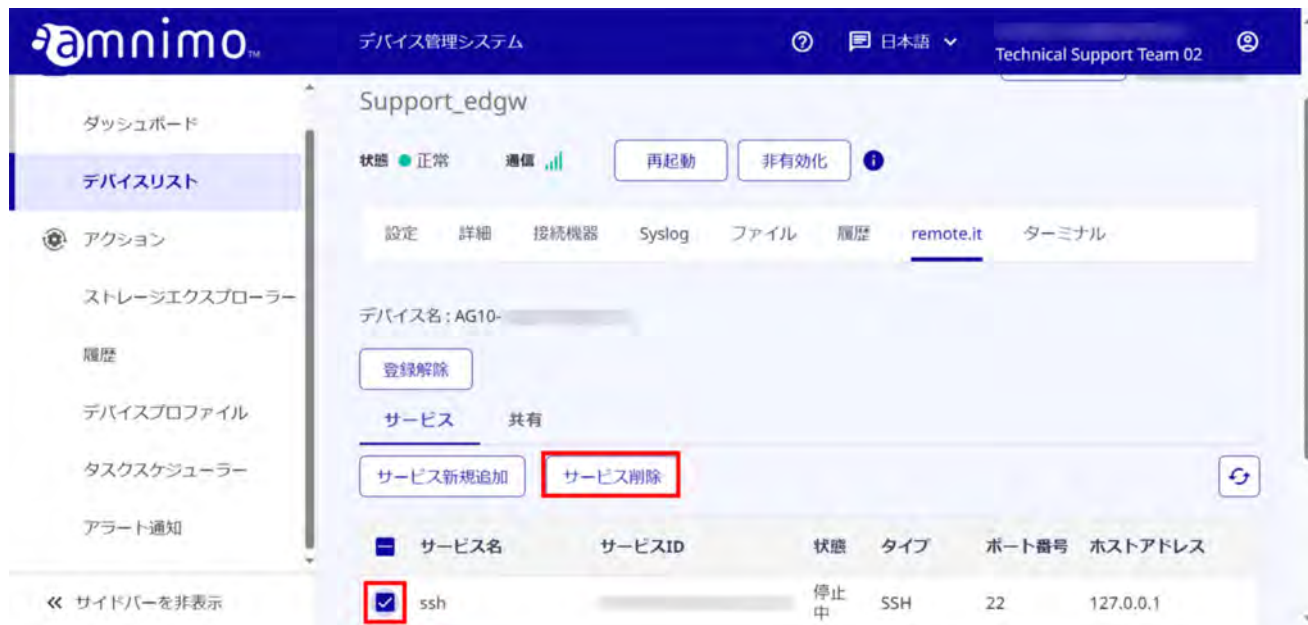
登録したサービスのポート番号、ホストアドレスを編集するには、一旦[サービスを削除](#)し設定したいポート番号、ホストアドレスで再度[サービスの追加](#)を行ってください。

サービスを削除する

2024年5月28日

登録したサービスの削除方法をご紹介します。サービスを削除すると、サービスの共有も解除されます。

- 1 削除するサービスにチェックを入れて、「サービス削除」をクリックします。



- 2 「削除」をクリックすると、サービスの削除が完了します。



サービスの共有を解除する

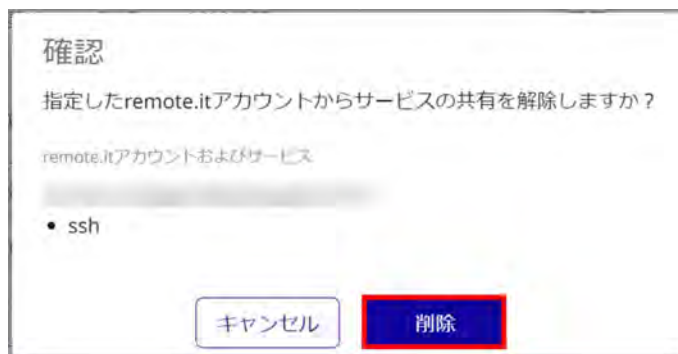
2024年5月28日

サービス共有を解除する方法をご紹介します。

1 サービス共有を解除する項目にチェックを入れて、「共有解除」をクリックします。



2 「削除」をクリックすると、サービスの共有が解除されます。



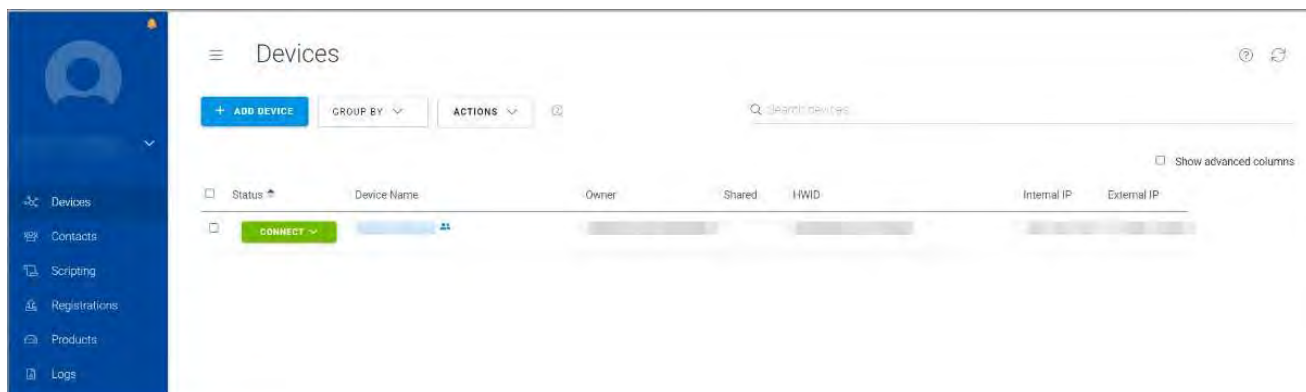
サービスを接続する

2024年5月28日

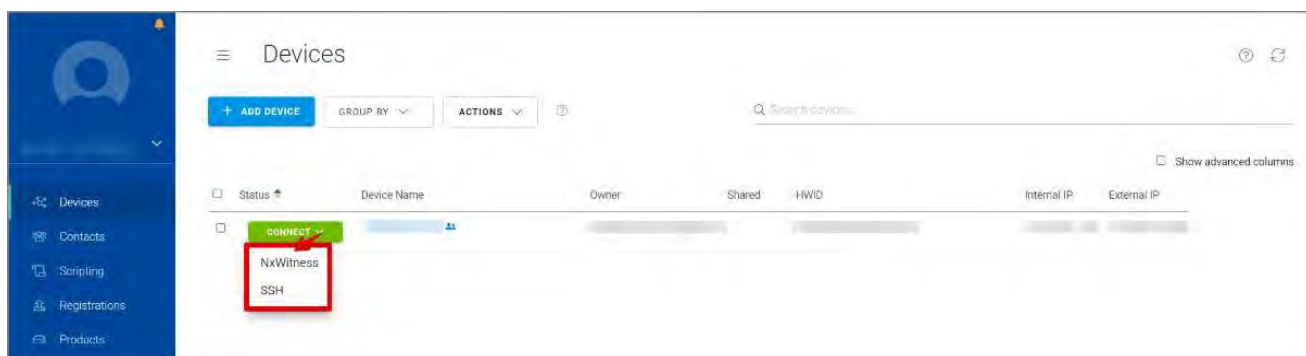
remote.it 経由でサービスに接続する方法をご紹介します。

- 1 remote.it にアクセスし、デバイス、サービスの共有先の remote.it アカウントでサインインします。

- 2 デバイス管理システムで共有したデバイス、サービスがデバイスリストに表示されていることを確認します。



[CONNECT] をクリック後、ご利用するサービスを選択します。



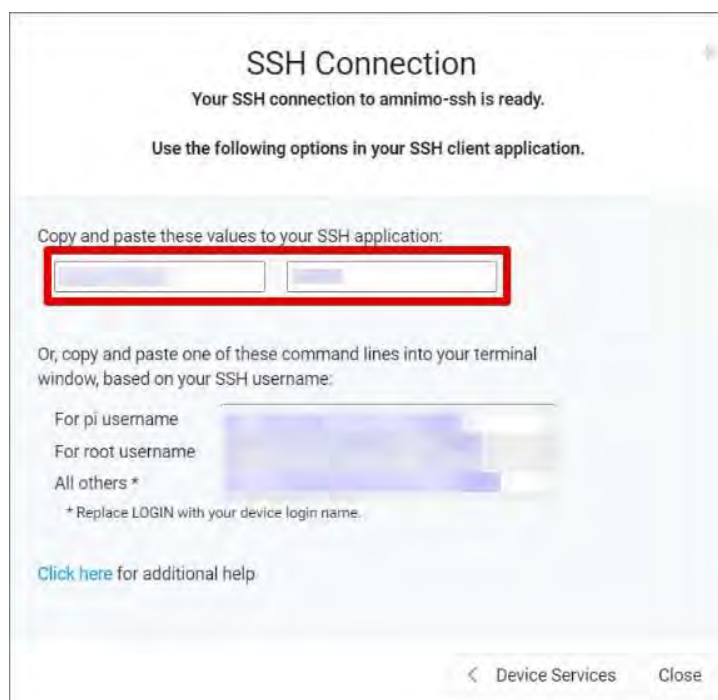
接続に必要なホスト名、ポート番号、URL などが表示されます。

表示される内容はサービスにより異なります。

サービスに適したアプリケーション上で各値を入力して、エッジゲートウェイ / IoT ルーターに接続してください。

remote.it ポータルサイトを経由して接続する場合、各値が有効なのは一度きりです。

手順 4 の画面を開いて一定時間が経過したり再接続したりする場合は、手順 3 のサービス選択に戻って同様に接続してください。



ターミナルに接続する

2024年5月28日

ターミナルタブから、デバイスにターミナルで接続を行い、CLI で操作することが出来ます。

! WARNING

- 本機能のご利用にはお申し込みが必要です。
- ファームウェアのバージョンが 1.8.1 以降からご利用いただけます。
- 同時に接続できるのは、1 名のみです。
- ACでは、本ページに載っている機能は利用できません。
- アムニモポータブルでは、本ページに載っている機能は利用できません。

NOTE

事前に SSH 接続の設定が必要です。

⇒『GUIユーザーズマニュアル』- [SSH の設定をする](#)

⇒『CLI ユーザーズマニュアル』- [SSH の設定をする](#)

1 [接続] をクリックします。



2 ユーザー名とポート番号を入力し、[接続] をクリックします。

- デバイスへログインするためのユーザー名を入力します。（通常は、admin）
- ポート番号は SSH のポート番号です。

ログイン

ユーザー名*

admin

パスワード*

22

キャンセル 接続

- 接続が完了すると、[接続] から [接続中] 状態を経て、[切断] ボタンに表示が変わります。
- また、何らかの理由で 3 分経過しても接続できない場合は、[接続中] から [切断] にボタンの表示が変化します。ここで [切断] をクリックすると [接続] 表示に戻るので、再度接続を試みることが出来ます。

! WARNING

別のユーザーがターミナル接続を行っている場合は接続が行えず、以下のようなエラーメッセージが表示されます。

『他のユーザーがすでに接続しているため、デバイスへの接続に失敗しました。』

他のユーザーが接続されていないのに本メッセージが表示される場合は、以下の手順で他のユーザーを強制的に切断します。

- 1 エラーメッセージ内の、[詳細] をクリックします。

エラー

他のユーザーが既に接続しているため、デバイスへの接続に失敗しました。

詳細 ▼

戻る

- 2 [切断はこちらから] をクリックします。

エラー

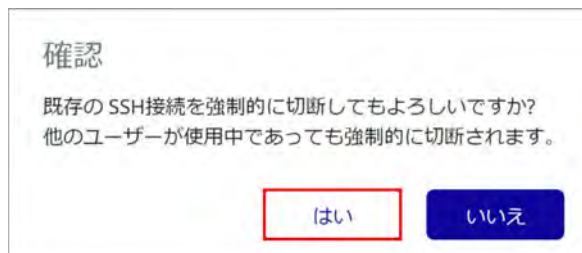
他のユーザーが既に接続しているため、デバイスへの接続に失敗しました。

詳細へ

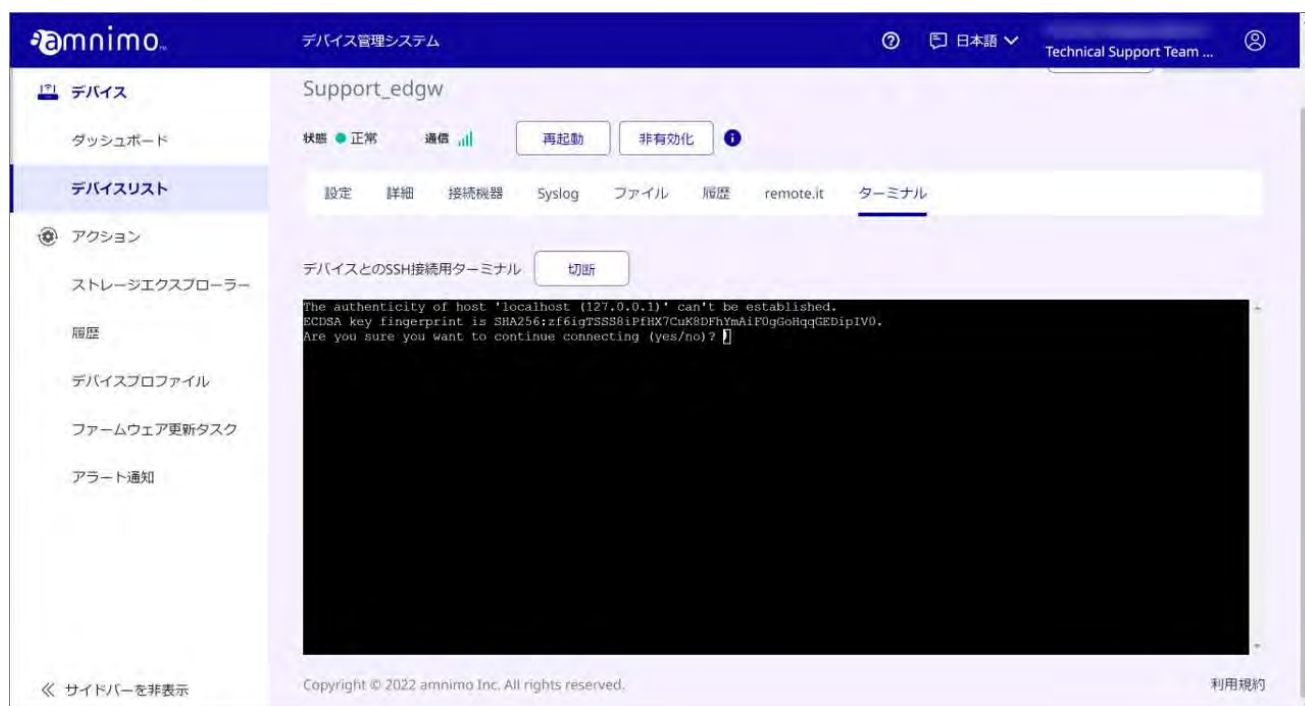
次のリンクから既存の接続を強制的に切断することができます。ただし、他のユーザーが使用中であっても強制的に切断されるため、必ずご確認の上で実行してください。切断はこちらから

戻る

3 確認メッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。



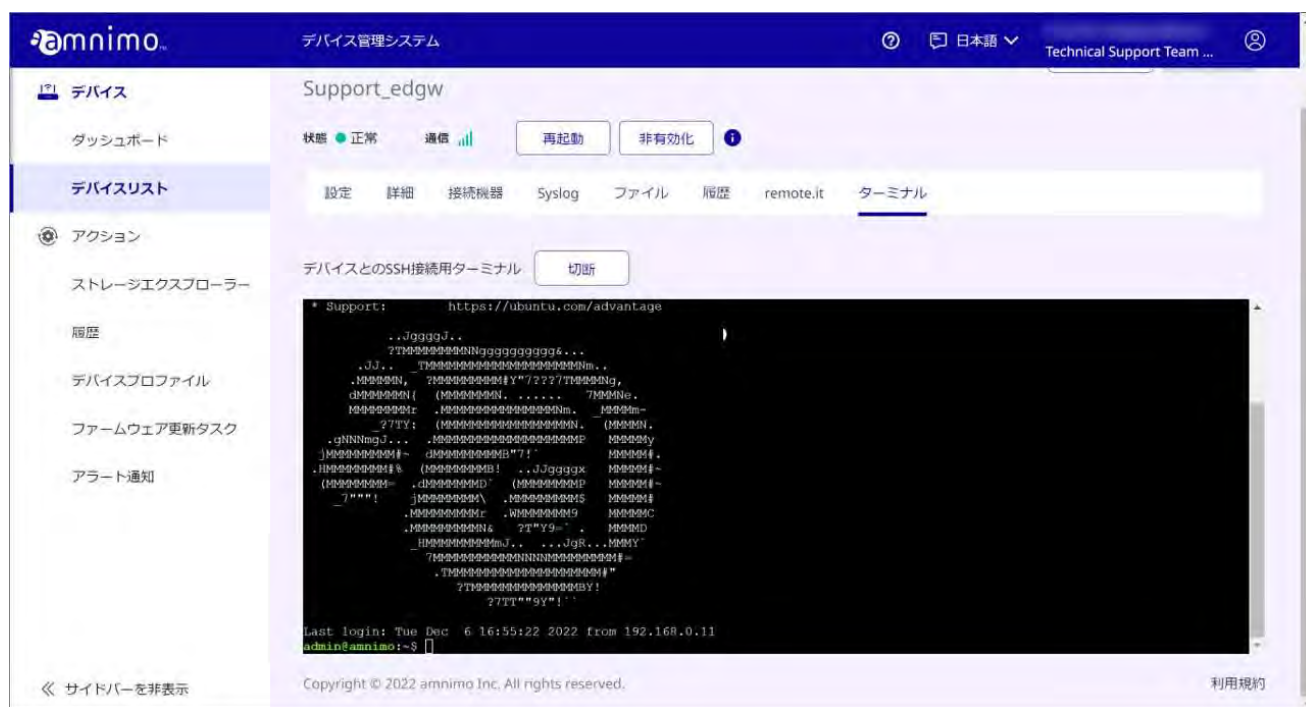
初めて接続する場合や、ファームウェアアップデートを行ってから初めて接続した場合は、以下のメッセージが表示されるので、「yes」とタイプして Enter キーを押します。



4 以下のような画面が表示され、CLI での操作が可能となります。

CLI の具体的な操作方法については、以下のマニュアルを参照してください。

⇒ 『[CLI ユーザーズマニュアル](#)』



一度接続が完了すると、接続を保持したままデバイス編集画面内の他のタブへ移動できます。



NOTE

サイドバーから他のページへ移動する場合はターミナル接続は切断されます。移動先のページをクリックすると、以下のような確認画面が表示されます。

確認

このページを離れてもよろしいですか?
ページを離れることで現在のSSH接続は切断されます。

戻る

切断

ターミナルを切断する

2024年5月28日

ターミナルを切断する方法には2通りあります。

【切断】ボタンから切断する

- 1 【切断】をクリックします。



- 2 確認画面が表示されるので、【切断】をクリックします。



CLI コマンドで切断する

接続しているターミナル画面で、“exit” コマンドを入力し、Enter キーを押す。

```
admin@amnimo:~$ exit
```

```
* Support:      https://ubuntu.com/advantage

..JggggJ..
?TMMMMMMMMNNggggggggg&...
.JJ.._TMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMNm..
.MMMMMN,  ?MMMMMMMM#Y"7??7TMMMMNg,
dMMMMMN{  (MMMMMMN. .... 7MMNe.
MMMMMMMr .MMMMMMMMMMMMMMNn. _MMm-
      ?7TY: (MMMMMMMMMMMMMMN. (MMMN.
.gNNNmgJ... .MMMMMMMMMMMMMMMP  MMMMy
jMMMMMMMM#~ dMMMMMMMB"7!`  MMMM# .
.HMMMMMM#% (MMMMMMB! ..JJggggx  MMMM#~
(MMMMMMM= .dMMMMMD` (MMMMMMMP  MMMM#~
_7""! jMMMMMM\ .MMMMMM$  MMMM#
.MMMMMMMr .WMMMMMM9  MMMMC
.MMMMMMMN& ?T"Y9=` . MMMD
_HMMMMMMmJ.. ...JgR...MMY`
7MMMMMMMMNNNNMMMMMM# =
.TMMMMMMMMMMMMMMMMMM#"
      ?TMMMMMMMMMMBY!
      ?7T""9Y"!``

Last login: Tue Dec 6 16:55:22 2022 from 192.168.0.11
admin@amrmo:~$ ekitt
```

AIアプリのインストール

2024年5月28日

AI アプリタブでは、AI アプリ管理システムからデバイス管理システムへ転送された AI アプリがインストールできます。

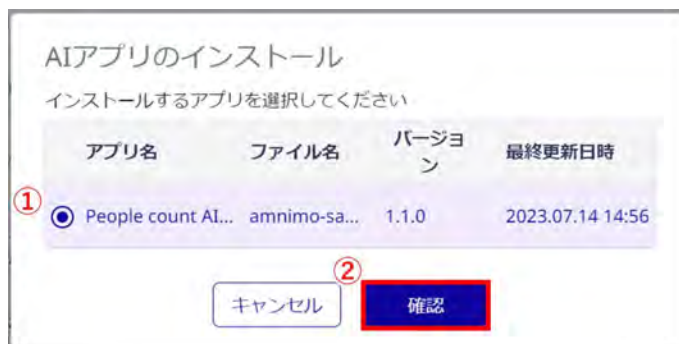
NOTE

- AI アプリタブは、AX シリーズにのみ表示されます。
- AI アプリをインストールするために、事前に AI アプリ管理システムからテナントに対し、AI アプリを転送する必要があります。

1 [AI アプリのインストール] をクリックします。



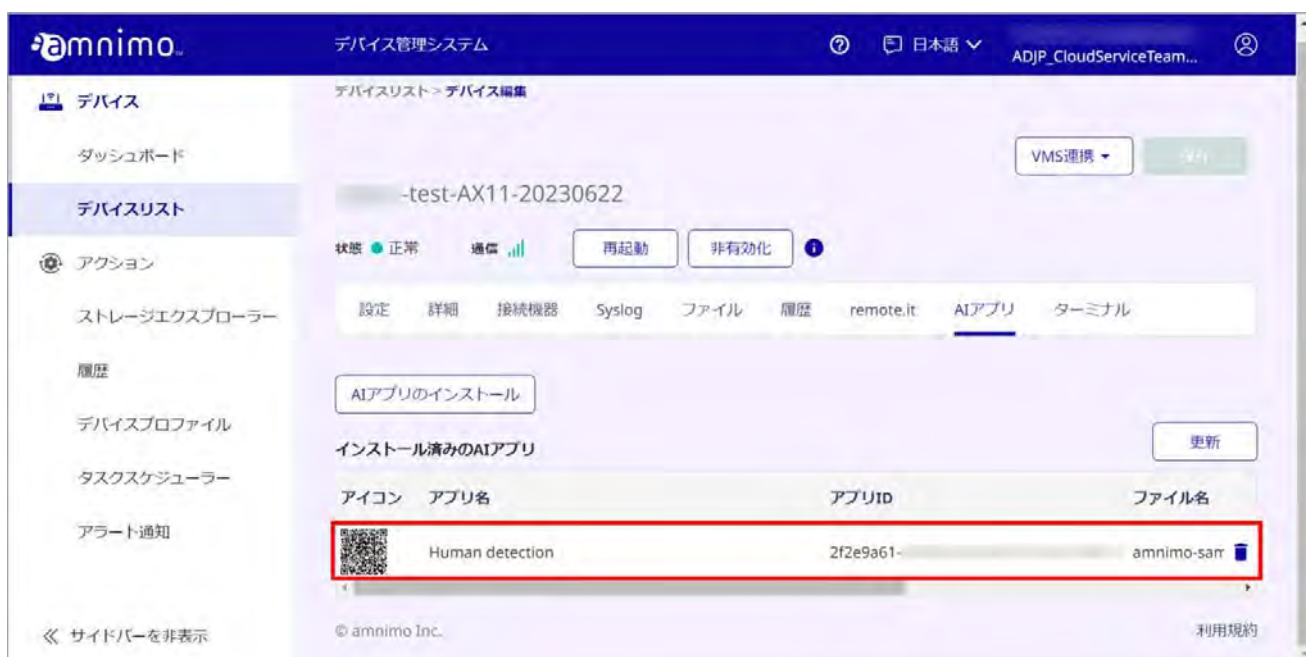
2 インストールする AI アプリを選択し (①)、[確認] をクリックします (②)。



- 3 確認画面にて、[AI アプリのインストール] をクリックします。



- 4 AI アプリのインストールが完了しました。

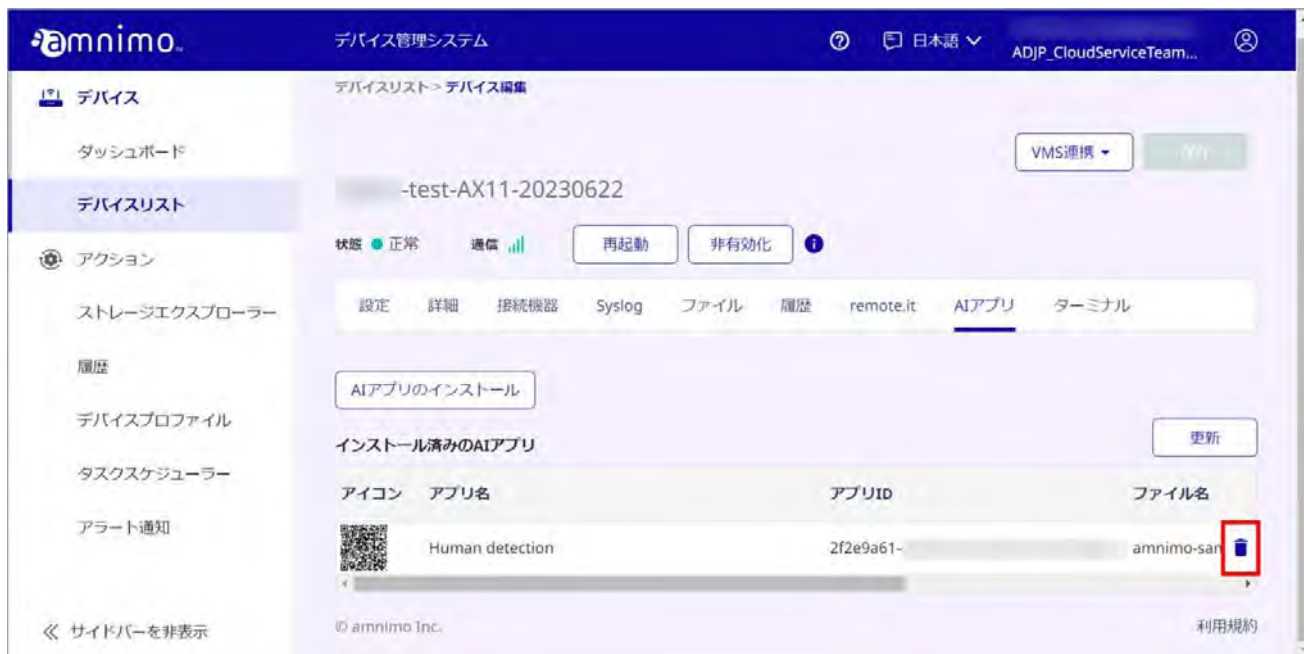


AI アプリの削除

2024年5月28日

AIアプリの削除方法について説明します。

1 削除したいインストール済みの AI アプリ横のごみ箱マークをクリックします。



2 確認画面にて「アンインストール」をクリックすることで、AI アプリの削除が実行されます。



リモートでデバイスを再起動する

2024年5月29日

デバイス管理システムでは、リモートでデバイスを再起動することができます。

! WARNING

アムニモポータブルおよびPCエッジについて、本ページに載っている機能は利用できません。

再起動の種類

再起動には以下の2種類があります。

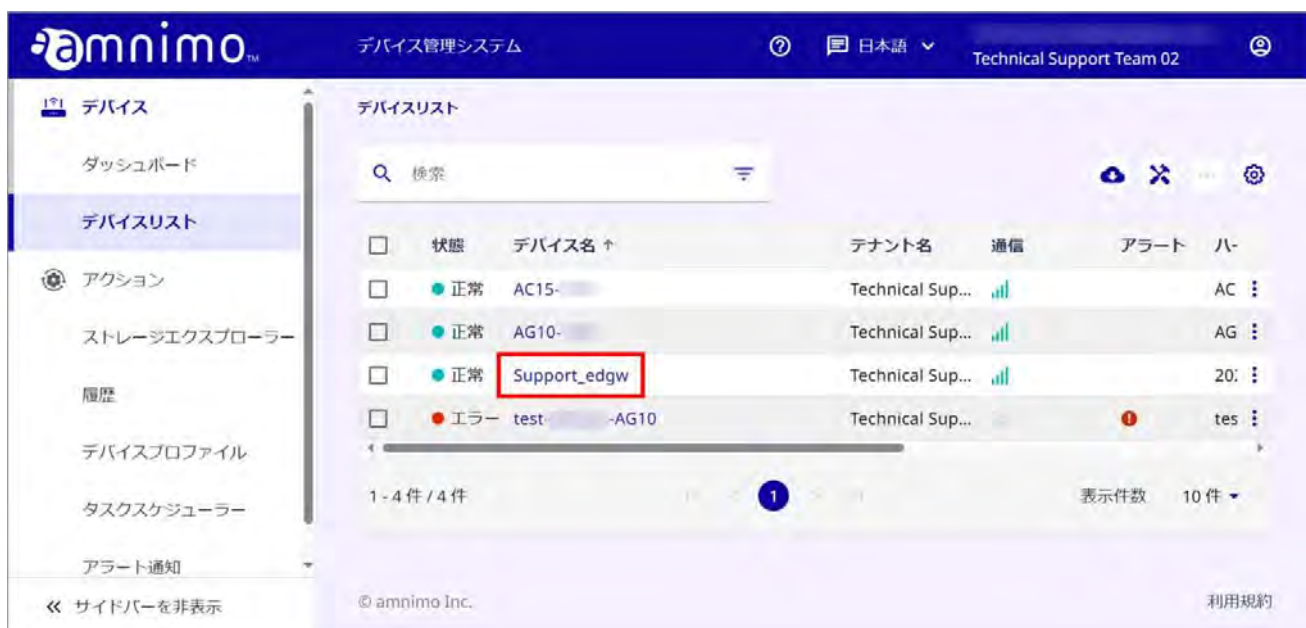
- **ソフトウェア再起動**：デバイスのシステムを正常に停止してから、デバイスを起動させます。
- **ハードウェア再起動**：デバイスが稼働中に、ハードウェアの電源供給を強制的に停止してから、デバイスを起動させます。

! WARNING

- デバイスの再起動が必要な場合、**まずはソフトウェア再起動を実行してください。**
- ソフトウェア再起動を実行しても異常が回復しない場合に限り、ハードウェア再起動を実行してください。
- **ハードウェア再起動の実行によって、ファイルシステムが破損する可能性があります。**実行する際は、十分に注意してください。

ソフトウェア再起動

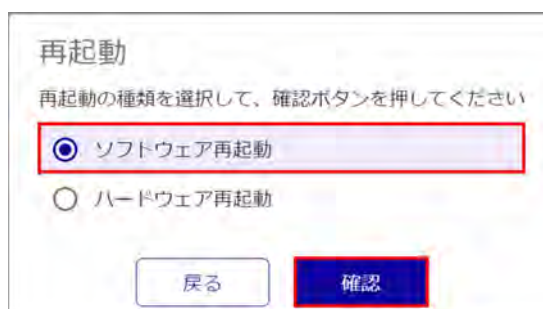
- 1 デバイス名をクリックします。



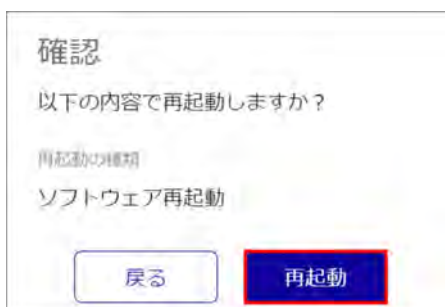
2 [再起動] をクリックします。



3 [ソフトウェア再起動] を選択し、[確認] をクリックします。

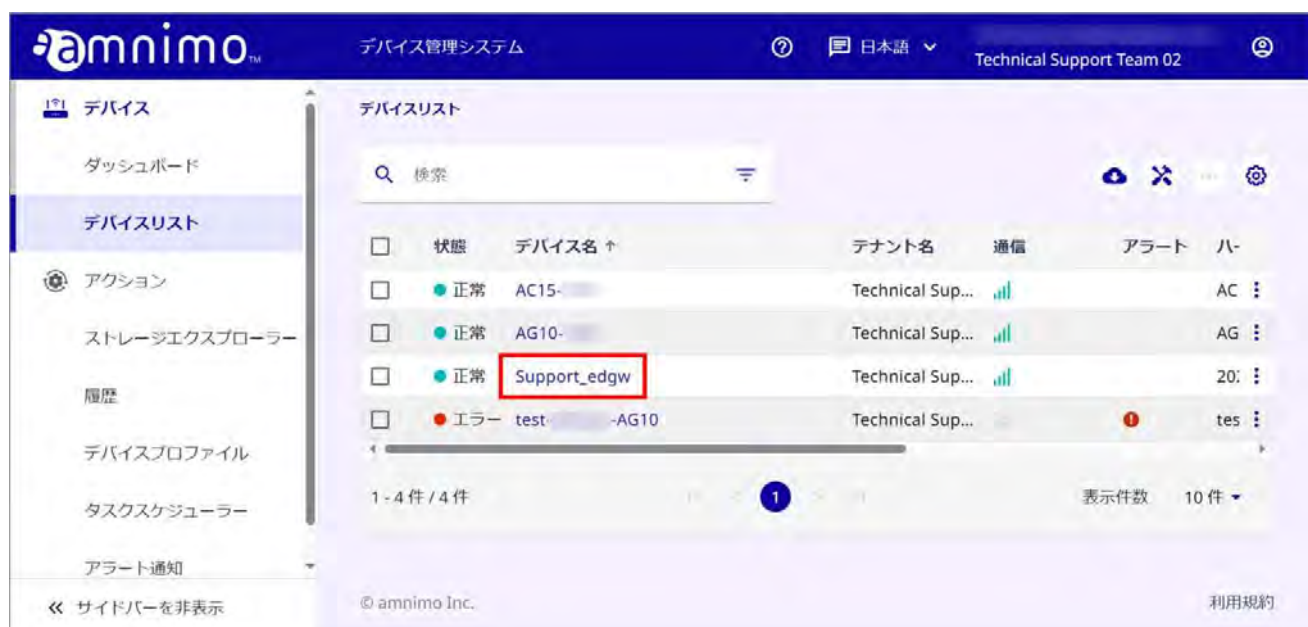


4 [再起動] をクリックすると、再起動されます。



ハードウェア再起動

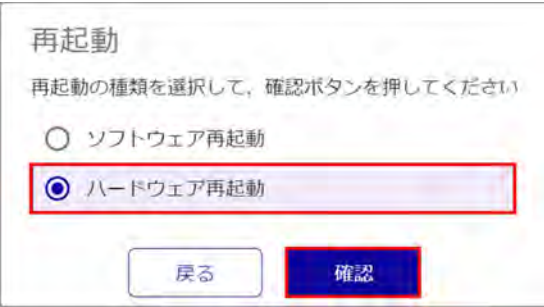
- 1 デバイス名をクリックします。



- 2 [再起動] をクリックします。



- 3 [ハードウェア再起動] を選択し、[確認] をクリックします。



再起動

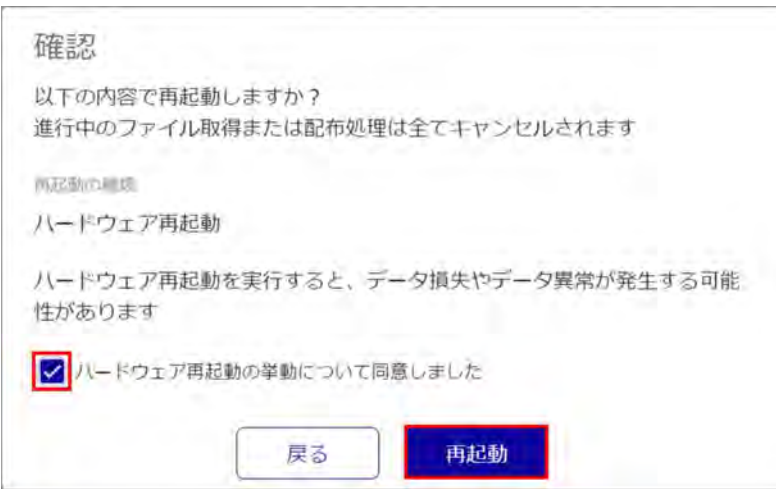
再起動の種類を選択して、確認ボタンを押してください

☐ ソフトウェア再起動

☒ ハードウェア再起動

戻る 確認

- 4 注意事項を確認し、同意事項にチェックを入れて、[再起動] をクリックすると、再起動されます。



確認

以下の内容で再起動しますか？
進行中のファイル取得または配布処理は全てキャンセルされます

再起動の種類

ハードウェア再起動

ハードウェア再起動を実行すると、データ損失やデータ異常が発生する可能性があります

☒ ハードウェア再起動の挙動について同意しました

戻る 再起動

自動キッティングをする

2024年5月29日

自動キッティングとは、指定したファームウェアと設定ファイルを、デバイス管理システムから複数のデバイスに自動的にダウンロードする機能です。

この機能により、複数のデバイスが同じファームウェアレビジョンと設定で稼働し、クラウドに接続できるようになります。

本機能は、複数のデバイスの初期セットアップにおいて、一括してファームウェアや設定を行う場合に有効です。

! WARNING

- ・ デバイスプロファイルを割り当てた後に、デバイスをインターネットに接続してください。
- ・ アムニモポータブルおよびPCエッジについて、本ページに載っている機能は利用できません。

ファイルをアップロードする

自動キッティングでデバイスにダウンロードするファームウェアのイメージファイルと設定ファイルを、ストレージエクスプローラーにアップロードします。

ファームウェアのイメージファイルをアップロードします。ストレージエクスプローラーで、Firmware フォルダに移動します。



ファームウェアのイメージファイルは、以下の URL よりダウンロードができます。

アクセスするためには、アカウント名とパスワードが必要です。アカウント名とパスワードが分からない場合は [サポート](#) までご連絡ください。

※ブラウザをご利用の場合は、Internet Explorer などの FTP にアクセス可能なブラウザをご利用ください。

< エッジゲートウェイ 最新版 ファームウェアイメージファイル >

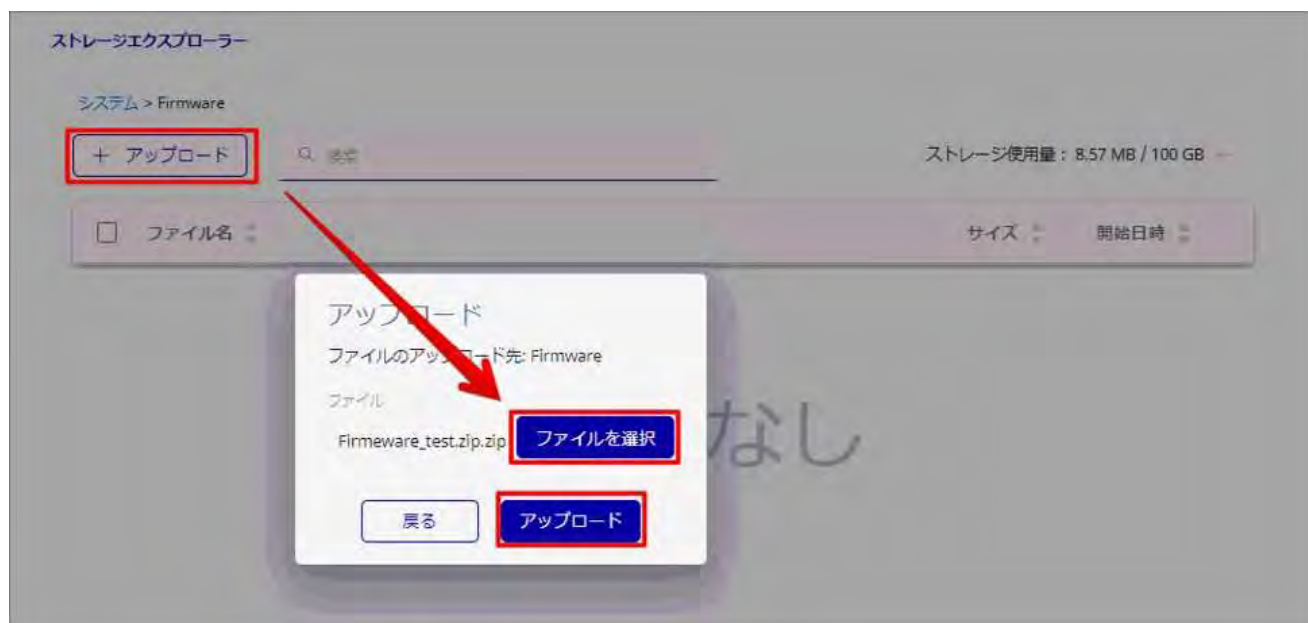
ftp://(アカウント名):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag10.amf

< IoT ルーター 最新版 ファームウェアイメージファイル >

ftp://(アカウント名):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar10.amf

なお、過去のファームウェアイメージファイルをダウンロードしたい方は、以下の FAQ をご参照ください。
<https://support.amnimo.com/hc/ja/articles/360053300174>

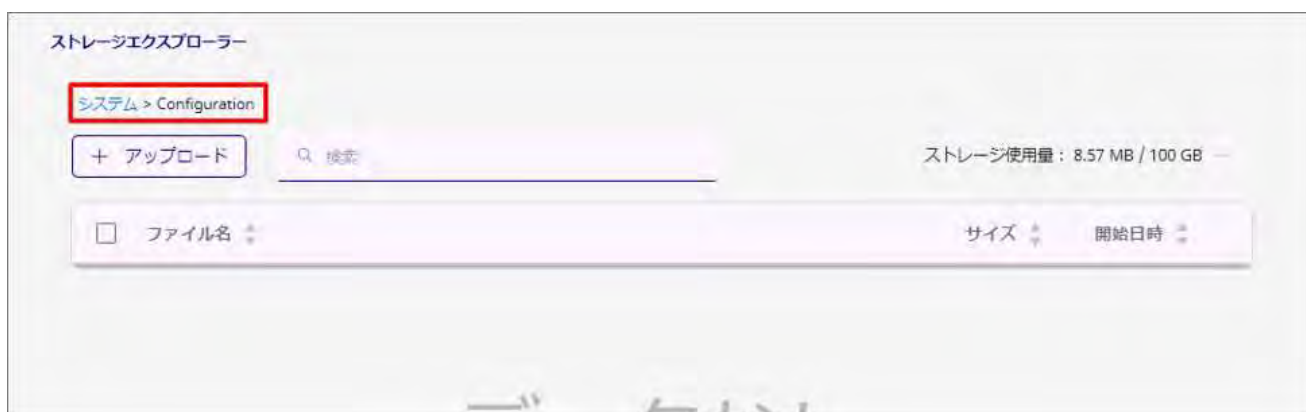
2 「アップロード」をクリックして、対象のイメージファイル（Zip ファイル）を Firmware フォルダにアップロードします。



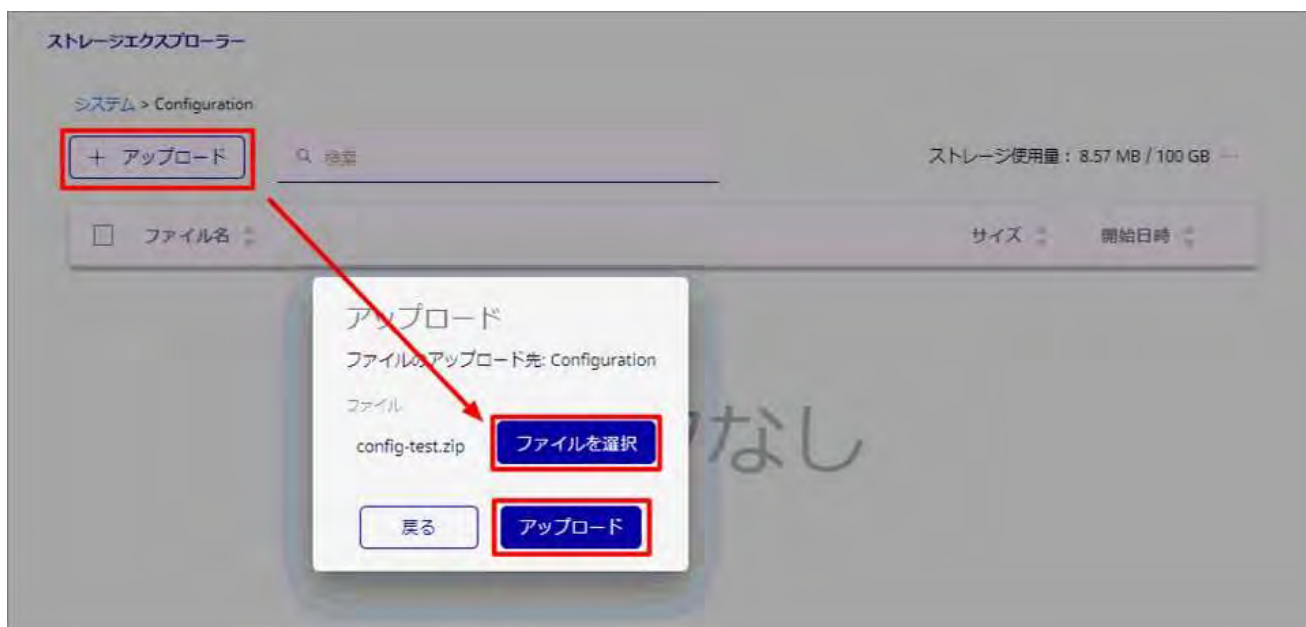
3 イメージファイルのアップロードが完了しました。



4 続いて、設定ファイルをアップロードします。ストレージエクスプローラーで、Configuraiton フォルダに移動します。



5 [アップロード] をクリックして、対象の設定ファイル（Zip ファイル）を Configuration フォルダにアップロードします。



6 設定ファイルのアップロードが完了しました。



デバイスプロファイルの作成

次に自動キックリングに必要なデバイスプロファイルを作成します。

デバイスプロファイルの作成方法は以下をご参照ください。

⇒『[デバイスプロファイルの操作](#)』

デバイスプロファイルの割り当て

作成したデバイスプロファイルをデバイスに割り当てます。

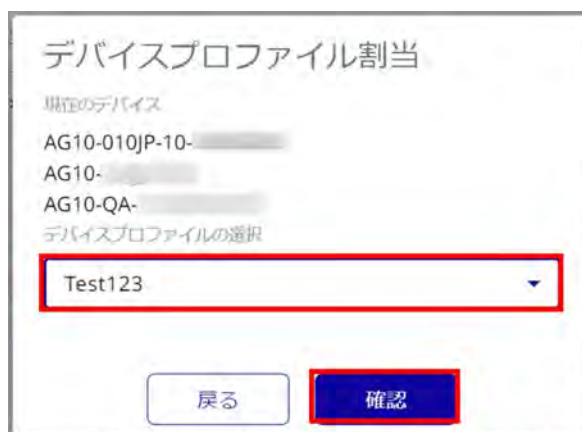
1 【デバイスリスト】にて準備中デバイスを検索し、デバイスプロファイルを割り当てたいデバイスの行の右端にある【:】から【デバイスプロファイル割当】をクリックします。

NOTE

デバイスプロファイルを割り当てたいデバイスが使用中だった場合は、デバイスを一度非有効化してから実施してください。



2 手順2で作成したプロファイルを選択し、「確認」をクリックすると、デバイスプロファイルが割り当てられます。



デバイスプロフィール割当

現在のデバイス

AG10-010JP-10-
AG10-
AG10-QA-

デバイスプロフィールの選択

Test123

戻る 確認

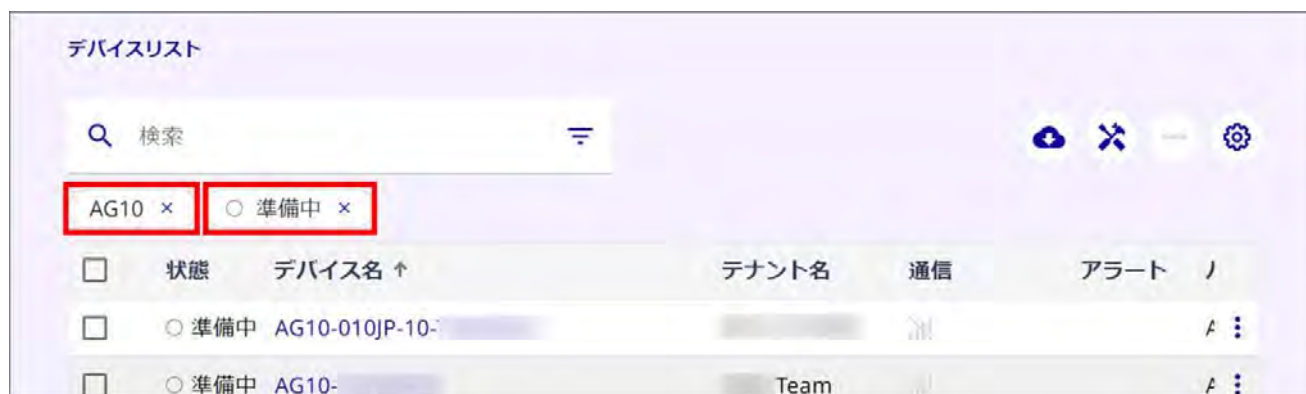
複数デバイスのデバイスプロフィールを一括で割り当てる

複数のデバイスに対して一括でデバイスプロフィールを割り当てる場合には、以下の手順に従って行うことができます。

- 1 【デバイスリスト】にて「準備中」かつ同一タイプのデバイスを検索します。

NOTE

デバイスプロフィールを割り当てたいデバイスが使用中だった場合は、デバイスを一度非有効化してから実施してください。



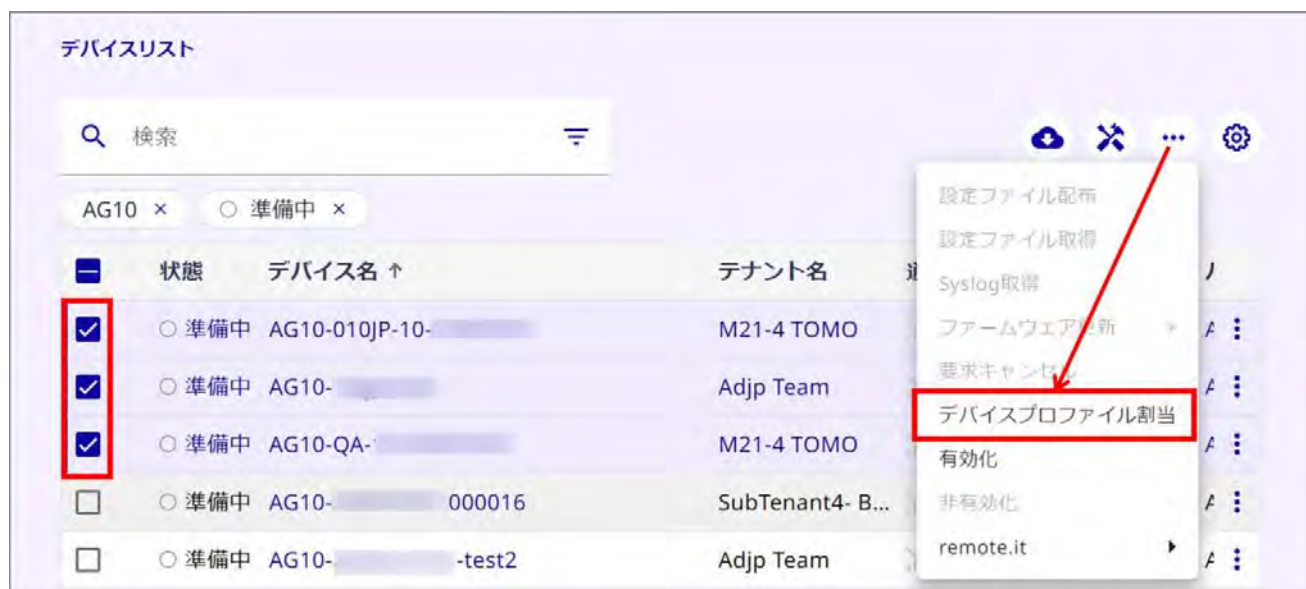
デバイスリスト

検索

AG10 × 準備中 ×

☐	状態	デバイス名 ↑	テナント名	通信	アラート	ノ
☐	準備中	AG10-010JP-10-				ノ
☐	準備中	AG10-	Team			ノ

- 2 デバイスプロフィールを割り当てたいデバイスの行の左端にあるチェック欄にチェックを付け、画面右上にある [...] から【デバイスプロフィール割当】をクリックします。



手順2で作成したプロファイルを選択し、「確認」をクリックすると、デバイスプロファイルが割り当てられます。

デバイスプロファイル割当

現在のデバイス

AG10-010JP-10-

AG10-

AG10-QA-

デバイスプロファイルの選択

Test123

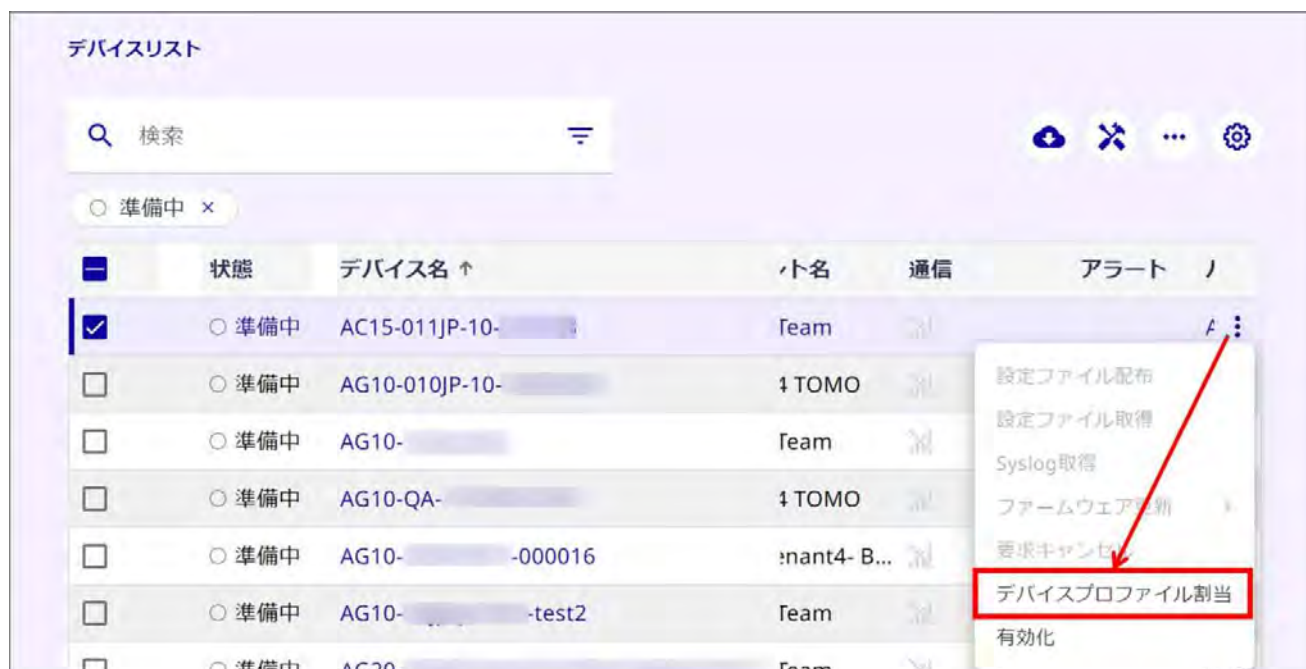
戻る

確認

デバイスプロファイルの割り当てを解除する

誤ってデバイスプロファイル割り当てた場合、デバイスプロファイルの割り当てを解除することができます。

1 「デバイスプロファイル割当」を選択します。



2 「指定なし」を選択し、「確認」をクリックすると、デバイスプロファイルの割り当てを解除することができます。



デバイスのインターネット接続

デバイス管理システムでデバイスプロファイルを割り当てた後に対象のデバイスがインターネットに接続すると、デバイス管理システムが自動的にファームウェアと設定ファイルをダウンロードします。

ファームウェアと設定ファイルのダウンロードに時間を要することがあります。また、ダウンロード完了後、更新のためデバイスが自動的に再起動します。

- 1 対象のデバイスをインターネットに接続します。
- 2 対象のデバイスに対して、状態が「正常」になっているかをご確認ください。

デバイスリスト

検索

● 正常 ×

☐	状態	デバイス名 ↑	テナント名	通信	アラート	ハ-
☐	● 正常	AC15-	Technical Sup...	📶		AC ⋮
☐	● 正常	AG10-	Technical Sup...	📶		AG ⋮
☐	● 正常	Support_edgw	Technical Sup...	📶		20% ⋮

1 - 3 件 / 3 件

1

表示件数 10 件 ▼

複数のデバイスを一括で設定する

2024年5月29日

最大 50 台のデバイスをまとめて操作することができます。このページでは以下についての操作方法を説明します。

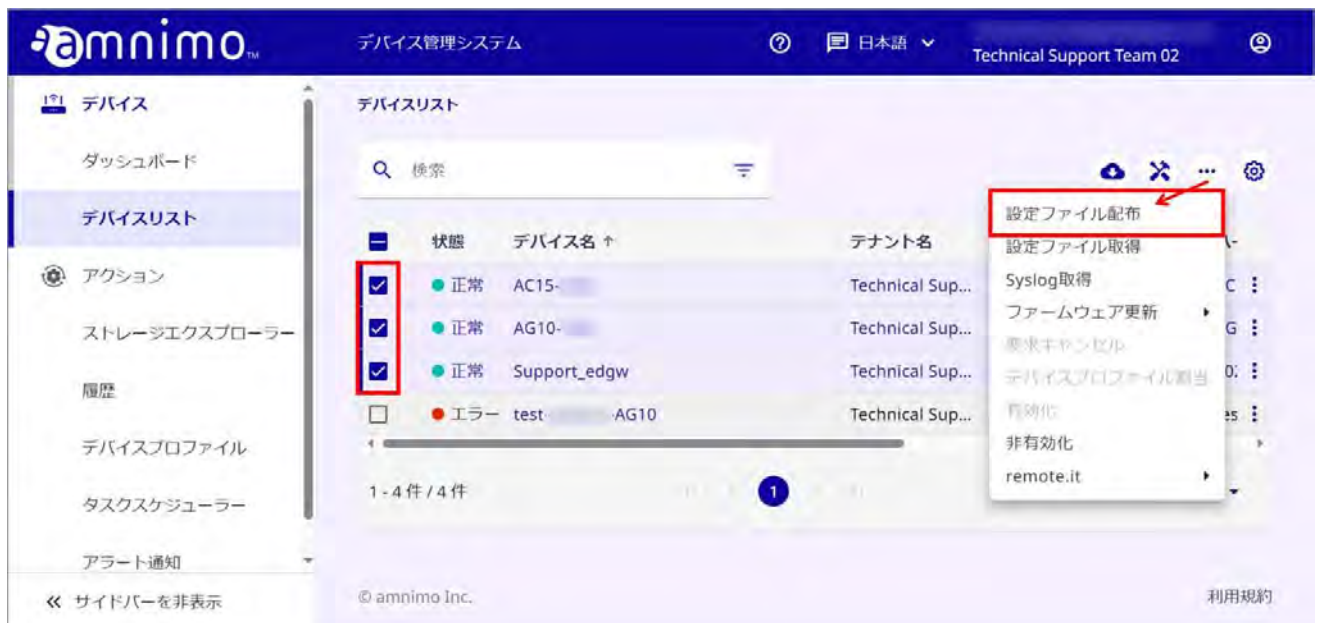
- 設定変更（設定ファイルの配布）
- ファームウェア更新（ファームウェア差分更新・ファームウェア更新）

! WARNING

- DHCP を使用しない環境でデバイスに固定 IP アドレスを付与している場合、同じ設定ファイルを複数のデバイスに対して配布すると、**IP アドレス同士がコンフリクト（衝突）して、ネットワーク障害が発生することがあります。**
- デバイスに対して固定 IP アドレスを設定している場合は、デバイスに直接ログインしてデバイスの設定を変更してください。
- アムニモポータブルおよびPCエッジについて、本ページに載っている機能は利用できません。

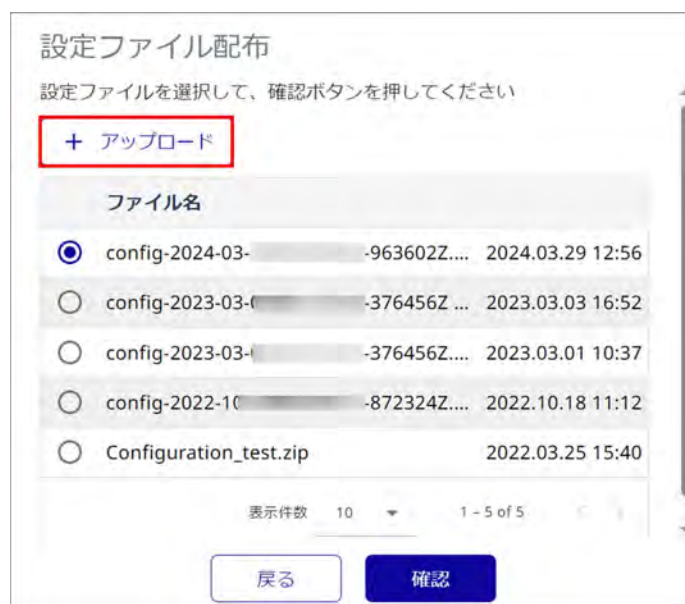
設定ファイルを一括で配布する

- 1 デバイスリストで、設定を更新したいデバイスにチェックを入れて、**「設定ファイル配布」**をクリックします。



- 2 **「アップロード」**をクリックします。

ファイルをすでにアップロード済みの場合は、手順 4 へお進みください。



- 3 ファイルを選択し、「アップロード」をクリックします。



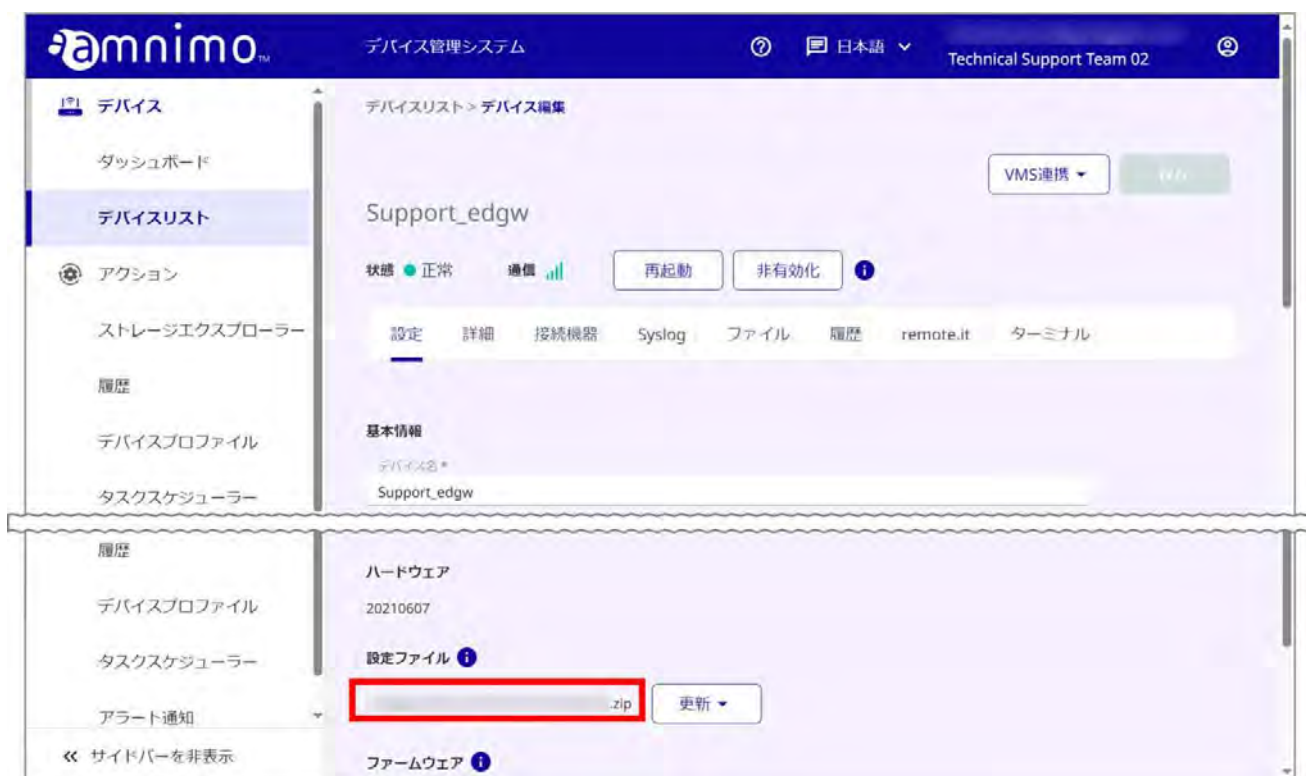
- 4 ファイルを選択し、「確認」をクリックします。



5 **[更新]** をクリックします。



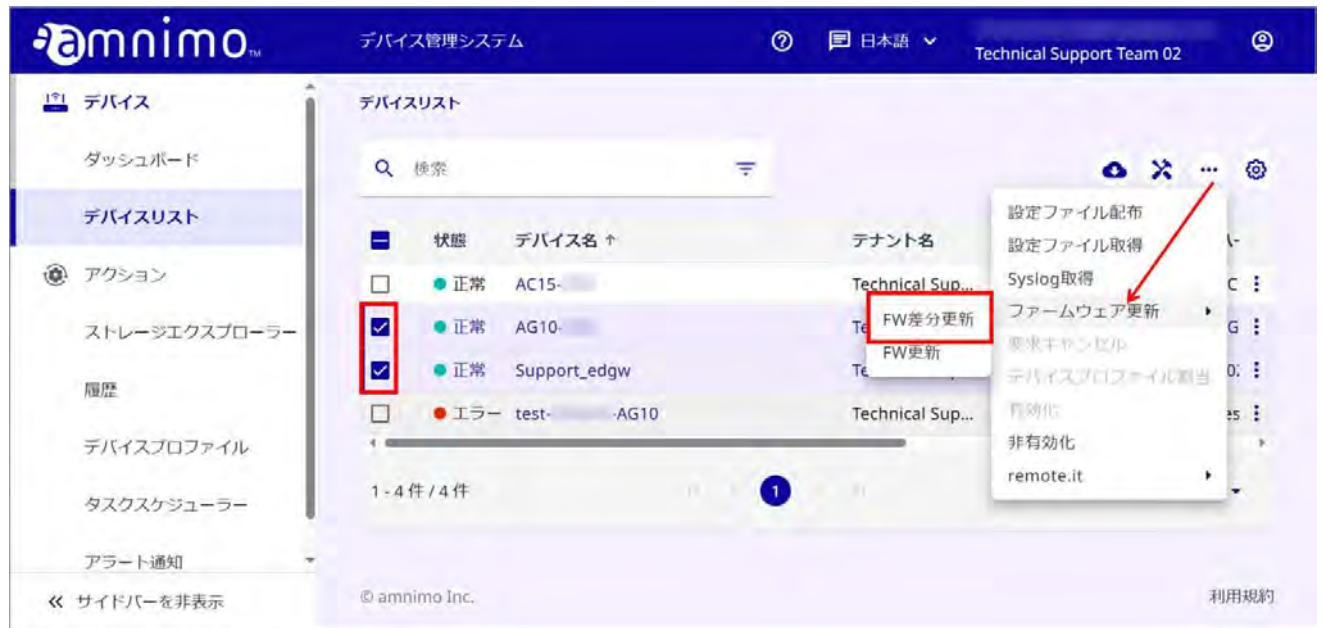
6 デバイス編集画面より、設定変更が完了したことを確認してください。



一括でファームウェアの差分更新をする

複数台のデバイスの差分を、まとめて更新する方法をご紹介します。

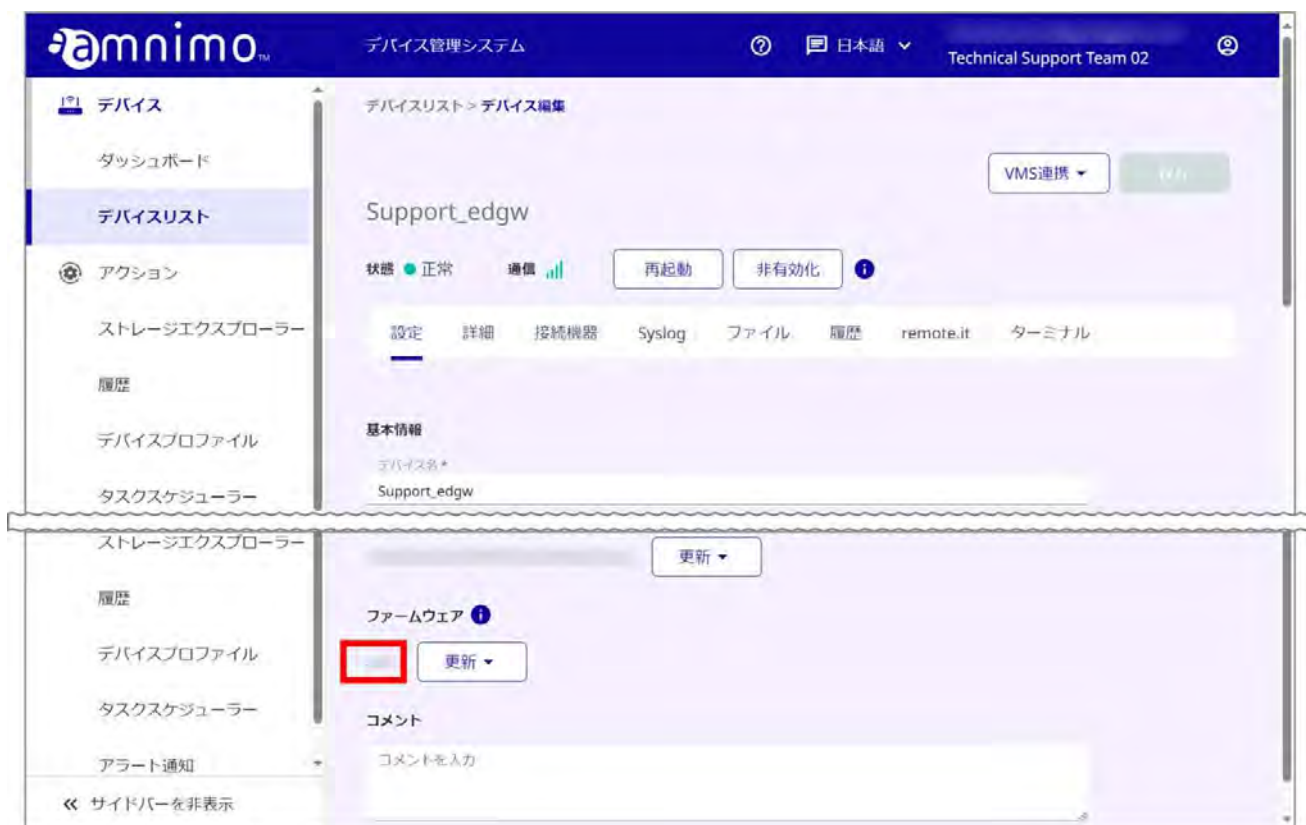
1 デバイスリストで、ファームウェアを更新したいデバイスにチェックを入れて、**[ファームウェア更新]** より、**[FW 差分更新]** をクリックします。



2 [更新] をクリックします。



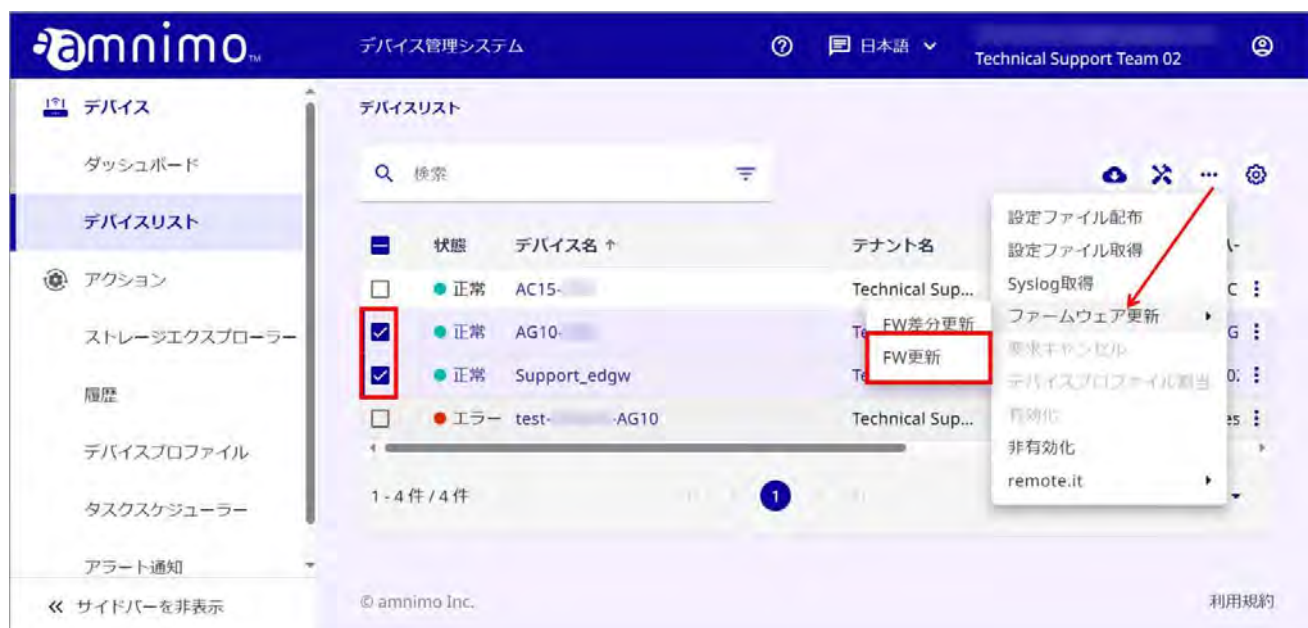
3 ファームウェアのバージョンを確認し、更新が完了したことを確認します。



一括でファームウェアの全体更新をする

複数台のデバイスのファームウェアを、まとめて更新する方法をご紹介します。

デバイスリストで、ファームウェアを更新したいデバイスにチェックを入れて、[ファームウェア更新] より、[FW 更新] をクリックします。



2 **「アップロード」をクリックします。**

ファイルをすでにアップロード済みの場合は、手順4へお進みください。

3 **ファームウェアのイメージファイルを選択し、「アップロード」をクリックします。**

＜ファームウェアのイメージファイルについて＞

以下の URL にアクセスし、ファームウェアのイメージファイルをダウンロードします。

アクセスするためには、アカウント名とパスワードが必要です。アカウント名とパスワードが分からない場合は [サポート](#) までご連絡ください。

※ブラウザをご利用の場合は、Internet Explorer などの FTP にアクセス可能なブラウザをご利用ください。

▼ エッジゲートウェイ 最新版 ファームウェアイメージファイル

ftp://(アカウント名):(パスワード}@package.amnimo.com/firmware/ag10.amf

▼ IoT ルーター 最新版 ファームウェアイメージファイル

ftp://(アカウント名):(パスワード}@package.amnimo.com/firmware/ar10.amf

なお、過去のファームウェアイメージファイルをダウンロードしたい方は、以下の FAQ をご参照ください。

<https://support.amnimo.com/hc/ja/articles/360053300174>

4 ファイルを選択し、[確認] をクリックします。

FW更新

イメージファイルを選んで、確認ボタンを押してください

+ アップロード

ファイル名	
☒ bbbb.amf	2024.06.24 17:08
☐ aaaa.amf	2024.06.12 13:40
☐ ag-2.4.2-b61835.amf	2024.03.22 10:10
☐ ag10.amf	2023.06.07 13:06

表示件数 10 1 - 4 of 4

戻る 確認

5 更新面を選択し、[確認] をクリックします。

FW更新

更新面を選択し、確認ボタンを押します

☒ 両面更新

☐ 片面更新

戻る 確認

6 [更新] をクリックします。

確認

以下の内容で更新しますか？

イメージファイル
bbbb.amf

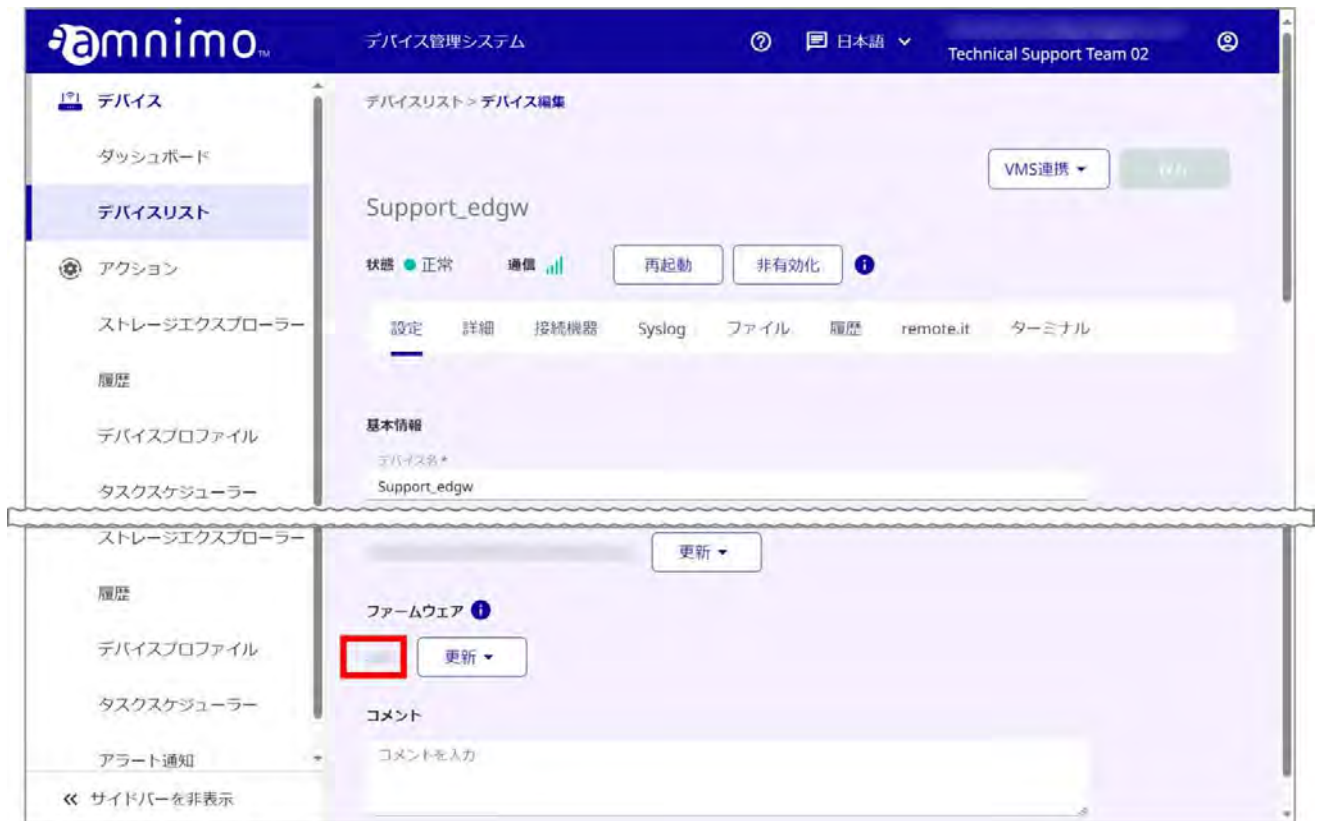
対象デバイス名
AG10-UDA
Support_edgw

更新面の選択
両面更新

戻る 更新

ファームウェアのバージョンを確認し、更新が完了したことを確認します。

更新完了後はデバイスが自動的に再起動されます。再起動後、デバイスが復帰したことを確認してください。



デバイスを交換する

2024年5月29日

! WARNING

アムニモポータブルおよびPCエッジについて、本ページに載っている機能は利用できません。

デバイスを交換する場合（故障したデバイスを新しいデバイスに交換する場合など）、以下の手順を参考にデバイスを交換してください。

! WARNING

以下の条件がすべて揃っている場合のみ、デバイス交換機能の利用が可能です。

- 交換対象のデバイスが有効化済みになっている
- 同一デバイスタイプで有効化されていないデバイスが存在する
- 故障したデバイスと新しいデバイスが同一テナントに所属している

デバイス交換の手順

デバイス交換の際に、デバイスプロファイルを使用します。事前にデバイスプロファイルを作成してください。

⇒ 『[デバイスプロファイル作成方法](#)』

- 1 デバイスリストより、交換したい有効化済みのデバイスに対して、「デバイス交換」をクリックします。



2 デバイスタイプ・デバイスプロファイルを選択し、現在のデバイスの交換完了後のデバイス名を任意に指定します。

変更前の現在のデバイスのデバイス名は、新しいデバイスのデバイス名に自動的に引き継がれます。交換完了後に新しいデバイスのデバイス名と重複しないよう、デフォルトでは現在のデバイスの交換完了後のデバイス名に " Replaced- " が付きます。

(例)

現在のデバイス：(交換前) Sample → (交換後) Replaced-Sample

新しいデバイス：(交換前) Test → (交換後) Sample

3 **[確認] をクリックします。**



デバイス交換

現在のデバイス
Test1

新しいデバイス選択
Test3

デバイスプロファイルの選択
TEST

現在のデバイス名変更
Replaced-Test1

戻る 確認

4 **新しいデバイスをインターネットに接続すると、デバイス交換が完了します。**

デバイスタグを一括管理する

2024年10月9日

タグ管理

デバイスタグは、複数のデバイスに対し、一括で設定と削除をすることができます。

デバイスタグを一括追加する

NOTE

一括でデバイスタグを追加できるデバイス数は最大で100台です。

デバイスリストで、タグを追加したいデバイスにチェックを入れて（①）、[タグ管理] より [一括タグ追加] をクリックします（②）。



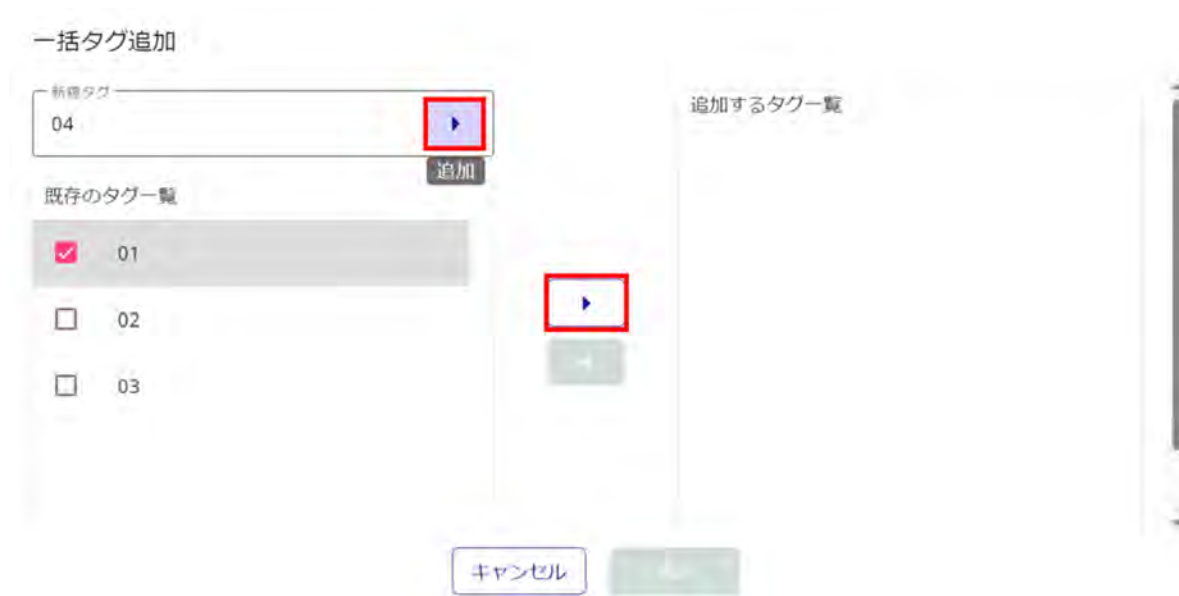
「既存タグ一覧」内に追加したいタグがある場合は該当するタグにチェックを入れ、新たにタグを作成して追加する場合は、「新規タグ」で新規タグ名を入力してください。

NOTE

- デバイス1台当たり設定できるデバイスタグは、最大20個です。
- 新規タグ名は最大50文字です。



▶ ボタンで「追加するタグ一覧」へ追加します。



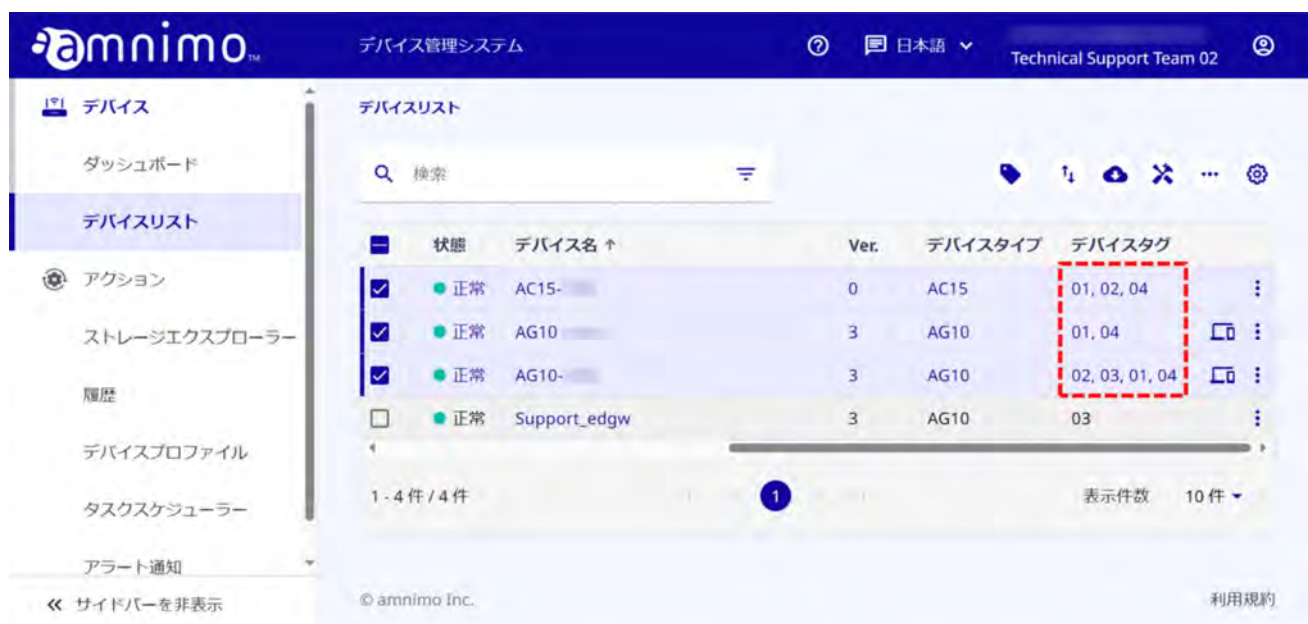
「追加するタグ一覧」からタグを削除する場合には、削除したいタグにチェックを入れ (①)、◀ ボタンをクリックしてください (②)。



4 【確定】をクリックします。



5 追加したタグが反映されました。



デバイスタグを一括削除する

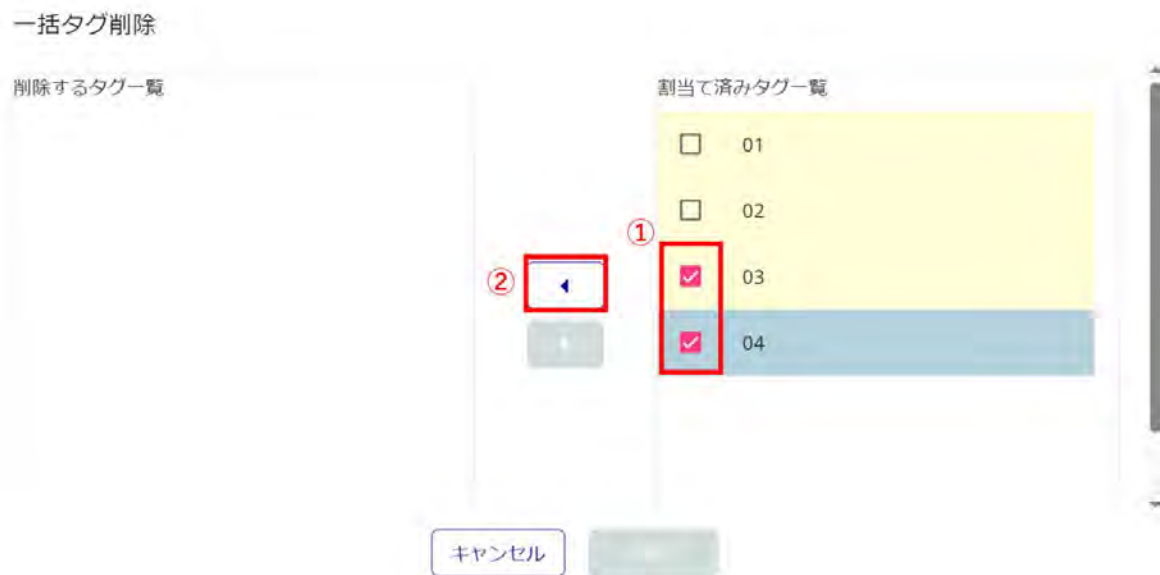
デバイスリストで、タグを削除したいデバイスにチェックを入れて①、[タグ管理]より[一括タグ削除]をクリックします②。



「割当て済みタグ一覧」内で削除したいタグにチェックを入れ①、[一括タグ削除]ボタンをクリックしてください②。

割当て済みタグ一覧上の色分けについて

- 黄色：選択したデバイスの一部に設定されているデバイスタグ
- 水色：選択したデバイスの全てに設定されているデバイスタグ



〔確定〕 をクリックします。



タグの削除が反映されました。



タグ一覧

タグ一覧では、デバイスタグ（デバイスに設定済みのものを含む）の編集、削除を行うことができます。

タグ名を変更する

- 1 デバイスリストで、「タグ一覧」をクリックします。



- 2 「タグ一覧」にて、名前を変更したいタグを選択し、タグ名変更ボタンをクリックします。



3 「タグ名変更」にて、対象のタグ名を変更し（①）、確定ボタンをクリックします（②）。

 NOTE

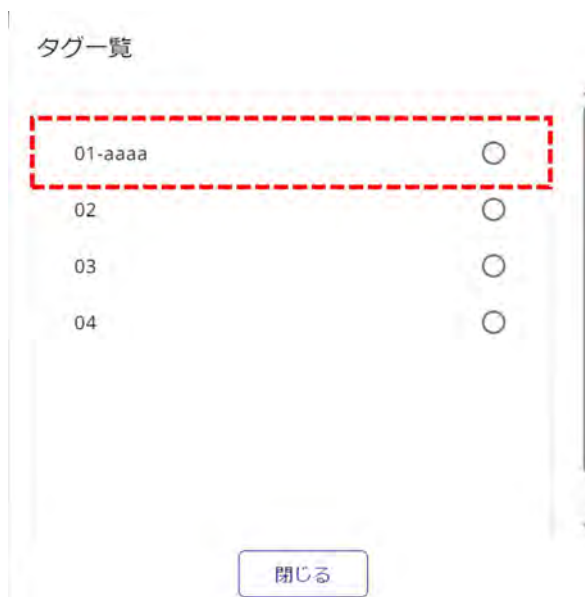
タグ名は最大50文字です。



4 「確定」をクリックします。



5 タグ名の変更が反映されました。



タグを削除する

1 デバイスリストで、「タグ一覧」をクリックします。



- 2 「タグ一覧」にて、削除したいタグを選択し、削除ボタンをクリックします。



- 3 「確定」をクリックします。



- 4 タグの削除が反映されました。



外部機器の死活監視をする

2025年4月23日

外部機器の死活監視では、そのデバイスに接続された外部機器の間で接続・切断が発生した際、それを検知し、ユーザーにメールを送信して通知することや発生の履歴を確認することができます。

本ページでは、外部機器の死活監視に必要な以下の設定を中心に説明します。

- ①スケジュールの設定
- ②アラート通知機能の設定



①スケジュールの設定

CLI (Command Line Interface) にてスケジュール設定 (キープアライブ機能) を行い、コマンド「action dms-alert (DMS通知)」を用いて、デバイスから外部機器に対し死活監視を実行します。

スケジュール設定の方法は以下をご参照ください。

⇒ CLIマニュアル『[7.7.3 スケジュールを設定する](#)』

NOTE

「action dms-alert (DMS通知)」はCLI (Command Line Interface) でのみ設定が可能です。
GUI (Graphical User Interface) では設定できません。

設定例

10分ごとに外部機器との通信を確認し切断を検知した場合、DMSに通知する例

```
amnimo(cfg)# schedule keep-alive dms ←スケジュールタイプがkeep-aliveのタスクを設定
amnimo(cfg-sch-ka-dms)# datetime */10 * * * * ←10分毎に通信を確認
amnimo(cfg-sch-ka-dms)# action dms-alert ←切断・切断検知時にDMSへ通知
amnimo(cfg-sch-ka-dms)# ping dest xxx. xxx. xxx. xxx ←外部機器のIPアドレスへping
amnimo(cfg-sch-ka-dms)# enable
amnimo(cfg-sch-ka-dms)# exit
```

②アラート通知機能の設定

次に、デバイス管理システムにてアラート通知機能の設定を行います。

アラート通知機能の設定を行うことで、外部機器との接続・切断時に任意のユーザーへ通知メールを送信します。

アラート通知機能の設定方法は以下をご参照ください。

⇒『[アラート通知機能の設定](#)』

通知メールサンプル

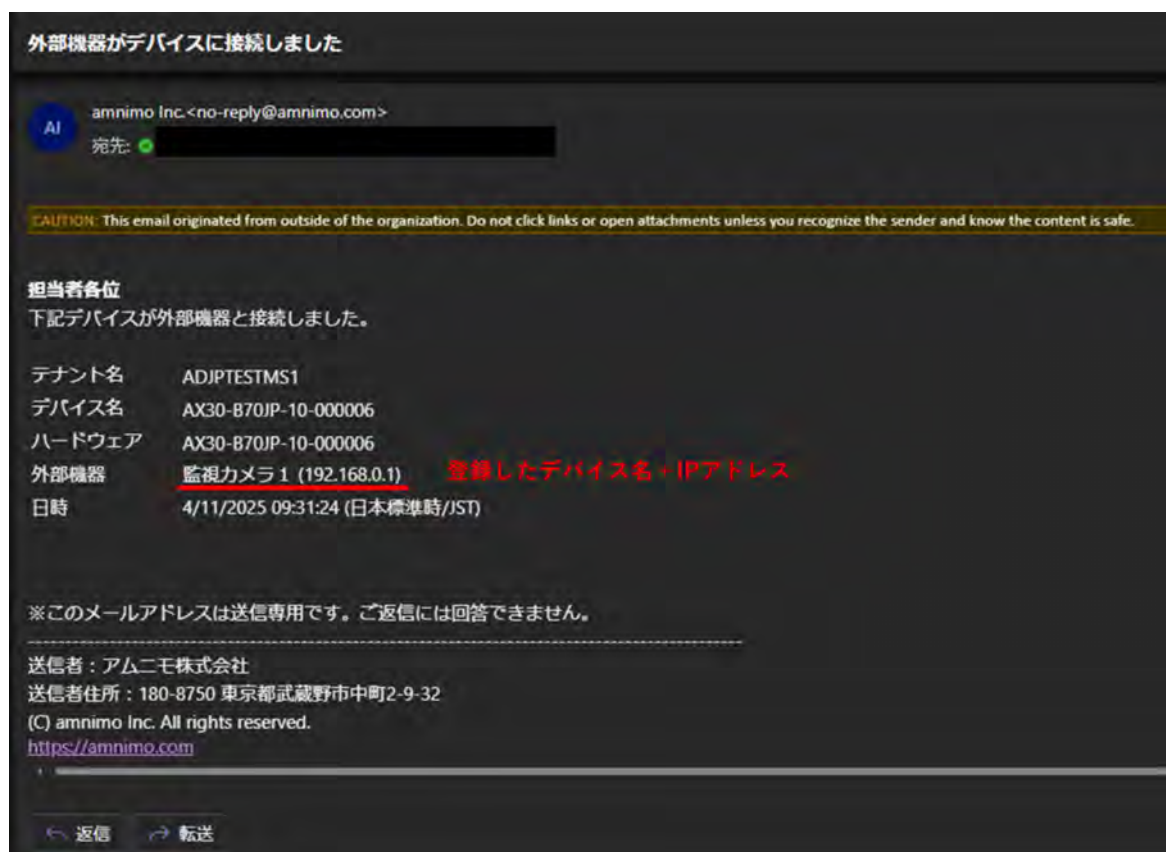
通知メールの「外部機器」には、外部機器のIPアドレスが記載されます。

さらに、外部機器の登録 で外部機器のIPアドレスに任意のデバイス名を紐づけて登録した場合は、そのデバイス名が通知メールの「外部機器」に記載されます。

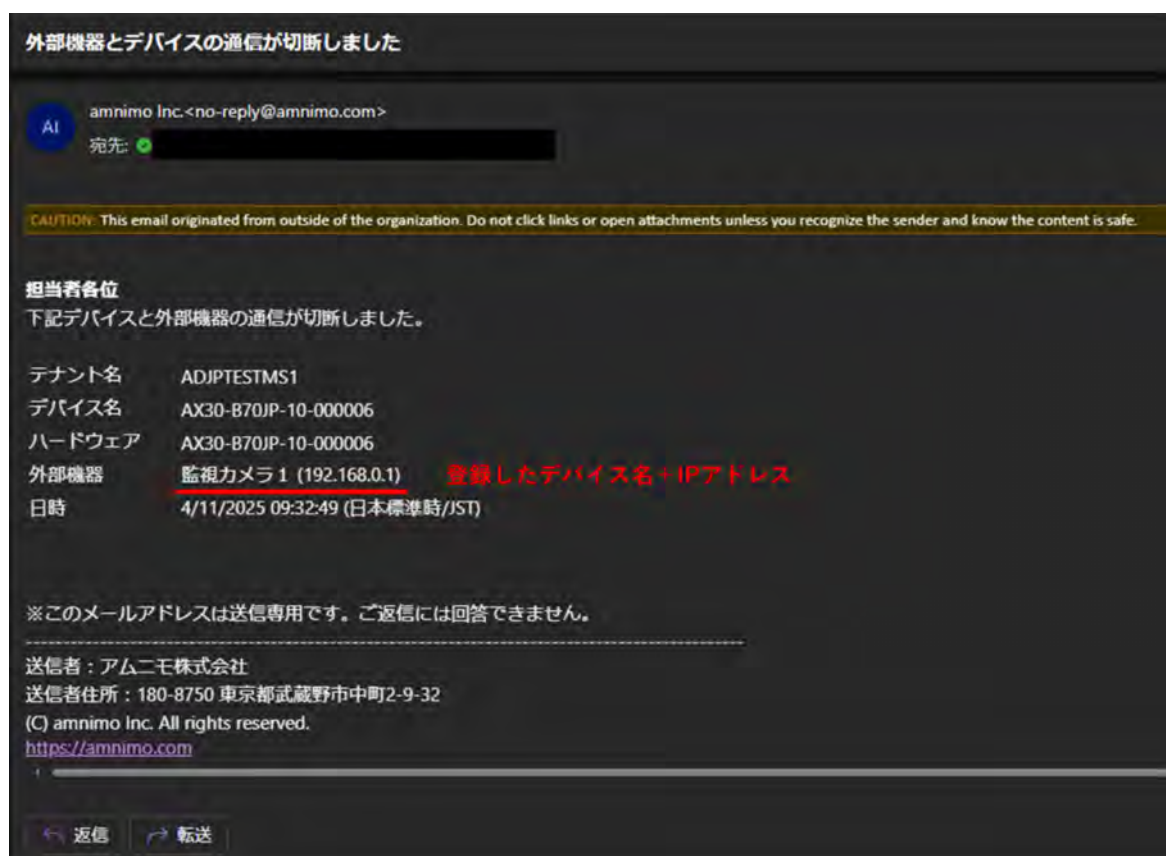
外部機器の登録方法は以下を参照してください。

⇒『[【便利機能】外部機器のデバイス名の登録・削除](#)』

外部機器接続時



外部機器切断時



外部機器接続・切断時の履歴確認

下記の画面にて、外部機器との接続・切断が発生した際の履歴が確認できます。

- ・履歴
- ・デバイスリスト > デバイス編集 > 履歴 タブ

履歴の通知内容には、外部機器のIPアドレスが記載されます。

さらに、外部機器の登録で外部機器のIPアドレスに任意のデバイス名を紐づけて登録した場合は、そのデバイス名が履歴の通知内容に記載されます。

外部機器の登録方法は以下を参照してください。

⇒ 『[【便利機能】外部機器のデバイス名の登録・削除](#)』

時間 ↓	通知内容	外部機器のIPアドレス	デバイス/タスク名	ソース	テナント名
2025.04.14 17:15:03	外部機器 192.168.21.12 がデバイスに接続しました	192.168.21.12	AX11-010JP-10-000028	デバイス	Adjp Team
2025.04.14 17:14:13	LAN0 POE Port 0 がリンクアップしました		AX11-010JP-10-000028	デバイス	Adjp Team
2025.04.14 17:14:08	LAN0 POE Port 0 がリンクダウンしました		AX11-010JP-10-000028	デバイス	Adjp Team
2025.04.14 17:13:59	LAN0 POE Port 0 がリンクアップしました		AX11-010JP-10-000028	デバイス	Adjp Team
2025.04.14 17:13:57	LAN0 POE Port 0 のPoE電源出力を有効にしました		AX11-010JP-10-000028	デバイス	Adjp Team
2025.04.14 17:07:19	外部機器 192.168.21.12 とデバイスの通信が切断されました	192.168.21.12	AX11-010JP-10-000028	デバイス	Adjp Team
2025.04.14 17:06:06	LAN0 POE Port 0 のPoE電源出力を無効にしました		AX11-010JP-10-000028	デバイス	Adjp Team
2025.04.14 17:06:05	LAN0 POE Port 0 がリンクダウンしました		AX11-010JP-10-000028	デバイス	Adjp Team

【便利機能】外部機器のデバイス名の登録・削除

外部機器の死活監視に関連した便利な機能として、各デバイスに対し死活監視対象となる外部機器のデバイス名の登録・削除を行うことができます。

この機能は、外部機器のIPアドレスに任意のデバイス名を紐づけて登録することで、通知メールやデバイス管理システムの履歴画面を確認した際に、どの外部機器に関するものが識別しやすくします。

外部機器のデバイス名の登録

死活監視を行う対象の外部機器のデバイス名の登録します。

1 「デバイスリスト」画面にて、外部機器のデバイス名の登録したいデバイスの行の右端にある「⋮」をクリックします。



2 「外部機器一覧」をクリックします。



3 「外部機器一覧」にて、登録する外部機器のIPアドレスとデバイス名を入力します。

外部機器一覧

IPアドレス	デバイス名
1.2.3.4	
192.168.4.5	Test Device

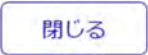
閉じる

4 「追加」をクリックします。

外部機器一覧

IPアドレス 192.169.20.40	デバイス名 0403	
-------------------------	---------------	---

IPアドレス	デバイス名	
1.2.3.4		
192.168.4.5	Test Device	



- 5 「確定」をクリックします。

確認

外部機器を追加します。よろしいですか？

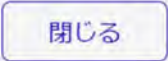
 

- 6 外部機器の登録が完了しました。

外部機器一覧

IPアドレス	デバイス名	
--------	-------	---

IPアドレス	デバイス名	
1.2.3.4		
192.168.4.5	Test Device	
192.169.20.40	0403	



外部機器のデバイス名の削除

死活監視を行う対象の外部機器のデバイス名を削除したい場合、下記の作業を行ってください。

1 「デバイスリスト」画面にて、外部機器を削除したいデバイスの行の右端にある「⋮」をクリックします。



2 「外部機器一覧」をクリックします。



3 「外部機器一覧」にて、削除する外部機器を選択 (①) し、ごみ箱マークをクリックします (②)。



4

【 確定 】をクリックします。

確認

外部機器を削除します。よろしいですか？

戻る

確定

設定ファイル初期化後、デバイスの通信ができない

2024年5月29日

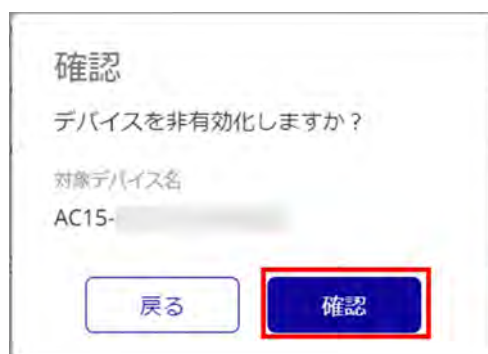
デバイス管理システムに接続済のコンパクトルーターに対して、CLI や GUI から設定ファイルを初期化した場合、インターネット通信が復旧してもデバイス管理システム上では通信エラーが継続します。
このような場合、デバイス管理システム上でデバイスの非有効化を行った後、有効化を行うことで状態を正常にすることができます。

デバイスリスト上で実施する

- 1 デバイスリストにて、対象のデバイスの行の右端にある「⋮」から「非有効化」をクリックします。



- 2 「確認」をクリックします。



- 3 デバイスの非有効化が完了したことを確認し、再度デバイスの有効化を実施します。

対象デバイスの状態が「正常」であること、通信電波のアイコンがグリーンで表示されていることを確認します。



デバイス編集画面上で実施する

1 デバイスリストから対象のデバイスをクリックして開きます。



2 デバイス編集画面にある「非有効化」をクリックします。



3 **【 確認 】 をクリックします。**



4 **デバイスの非有効化が完了したことを確認し、再度デバイスの有効化を実施します。**

5 **対象デバイスの状態が「 正常 」であること、通信電波のアイコンがグリーンで表示されていることを確認します。**



設定ファイルの配布や取得が進まない

2024年5月29日

設定ファイルの配布や取得が正常に進まず、[設定ファイルを取得中...] 等の表示で止まっている場合があります。このような場合、作業を強制終了してから再度設定ファイルの取得/配布等を実行したり、強制的に機器を再起動してから実行してください。

設定ファイルの取得/配布を強制終了する

- 1 プロGRESSバーにある、 ボタンをクリックします。



- 2 設定ファイルの取得/配布がキャンセルされます。



- 3 再度、設定ファイルを取得/配布を実行します。

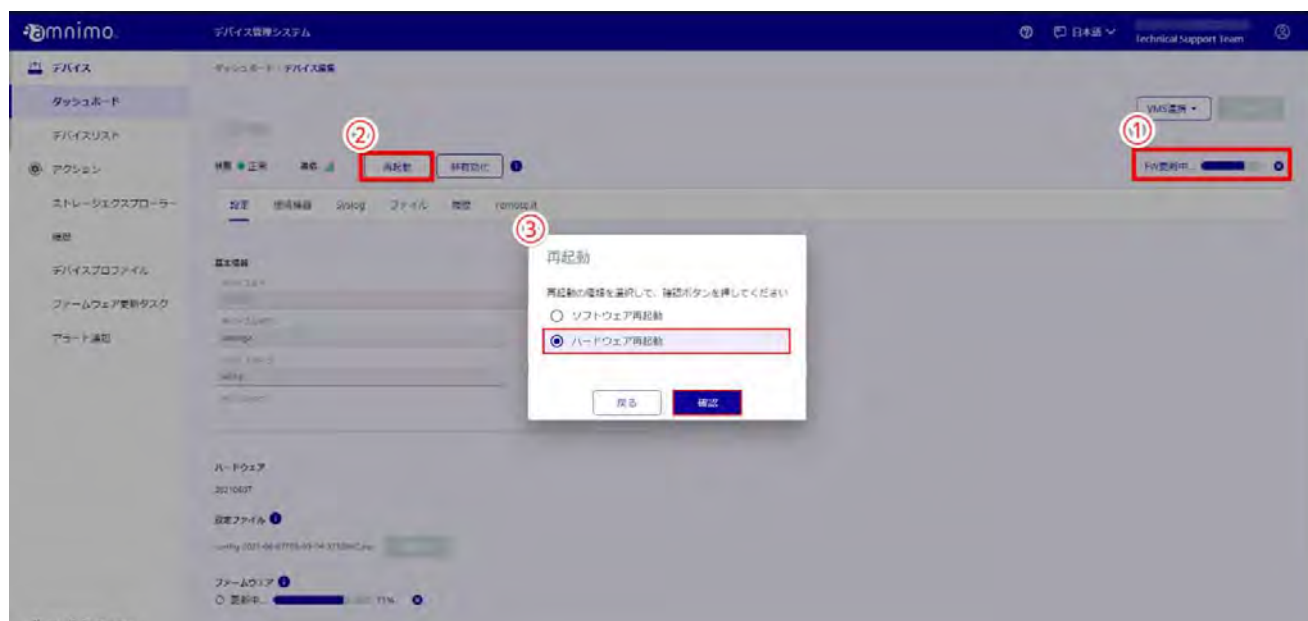
強制再起動の手順

1 設定ファイルを確認します。

設定ファイルの取得/配布が進まないことを確認します。(図①)

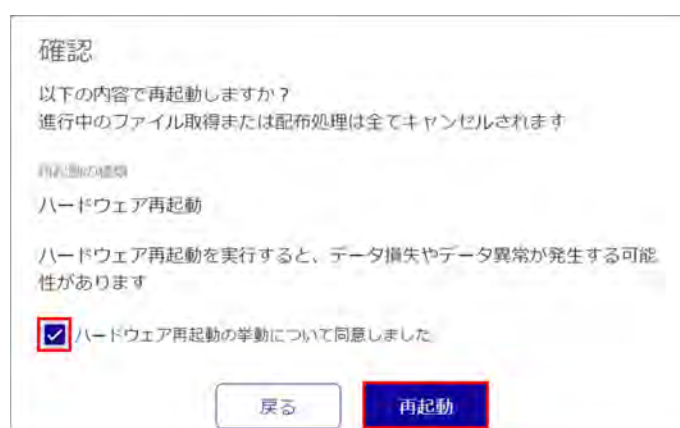
[再起動]をクリックします。(図②)

[ハードウェア再起動]を選択し、[確認]をクリックします。(図③)



2 ハードウェア再起動を実施します。

“ハードウェア再起動の挙動について同意しました”にチェックを入れ、[再起動]をクリックします。



3 再度、設定ファイルの取得/配布を実行します。

テナントに割り当てたデバイスが表示されない

2024年5月29日

サービス管理ポータルでデバイスの割り当て先のテナントを変更した場合、割り当て先のテナントのデバイス管理システム上で、割り当てたデバイスが正しく表示されないことがあります。その際に本機能を利用すると、デバイスリストが修復されてデバイスが正しく表示されるようになります。なお、修復対象のテナントは、実行したデバイス管理システムのテナントとそのサブテナント全てになります。

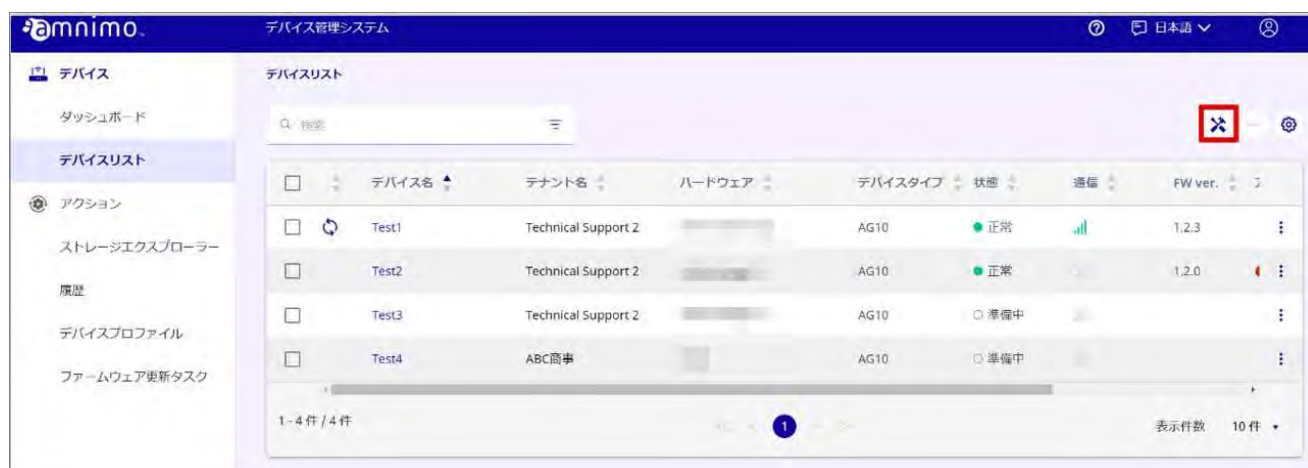
デバイスリストの修復手順

デバイスリストの修復手順を、以下の例を用いてご紹介します。

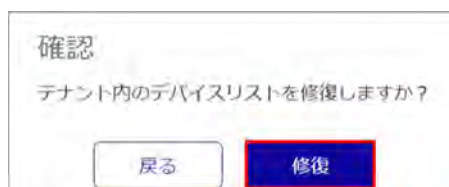
ケース：

テナント名「Technical Support 1」にデバイスを割り当てたにもかかわらず、テナント名「Technical Support 2」にデバイスが割り当てられているように表示されてしまっている。

- 1 デバイスリストで、デバイスリスト修復アイコンをクリックします。



- 2 「修復」をクリックします。



- 3 デバイスリストが修復され、正しいテナント名が表示されるようになります。

The screenshot displays the 'amnimo' Device Management System (デバイス管理システム) interface. The left sidebar contains navigation links: デバイス (Devices), ダッシュボード (Dashboard), デバイスリスト (Device List), アクション (Action), ストレージエクスプローラー (Storage Explorer), 履歴 (History), デバイスプロフィール (Device Profile), and ファームウェア更新タスク (Firmware Update Task). The main area, titled 'デバイスリスト', shows a table of devices with columns for selection, device name, tenant name, hardware, device type, status, communication, and firmware version. A search bar and a menu icon are at the top right of the table. A green notification banner at the bottom of the table states 'デバイスリストの修飾が完了しました' (Device list modification is complete). The bottom right corner shows '表示件数 10件' (Number of items displayed: 10 items).

	デバイス名	テナント名	ハードウェア	デバイスタイプ	状態	通信	FW ver.	
☐	Test1	Technical Support 2		AG10	● 正常		1.2.3	⋮
☐	Test2	Technical Support 2		AG10	● 正常		1.2.0	⋮
☐	Test3	Technical Support 2		AG10	○ 準備中			⋮
☐	Test4	Technical Support 2		AG10	○ 準備中			⋮

1 - 4 件 / 4 件

デバイスリストの修飾が完了しました

表示件数 10 件

ファームウェアの更新が進まない

2024年5月29日

ファームウェアの更新が正常に進まず、[FW更新中...] の表示が止まっている場合があります。
このような場合、更新を強制終了してから再度ファームウェア更新を実行したり、強制的に機器を再起動をすることで再度ファームウェアの更新を実行することができます。

更新を強制終了する

- 1 ファームウェア更新のプログレスバーにある、 ボタンをクリックします。



- 2 ファームウェアの更新がキャンセルされます。



- 3 再度、ファームウェアの更新を実行します。

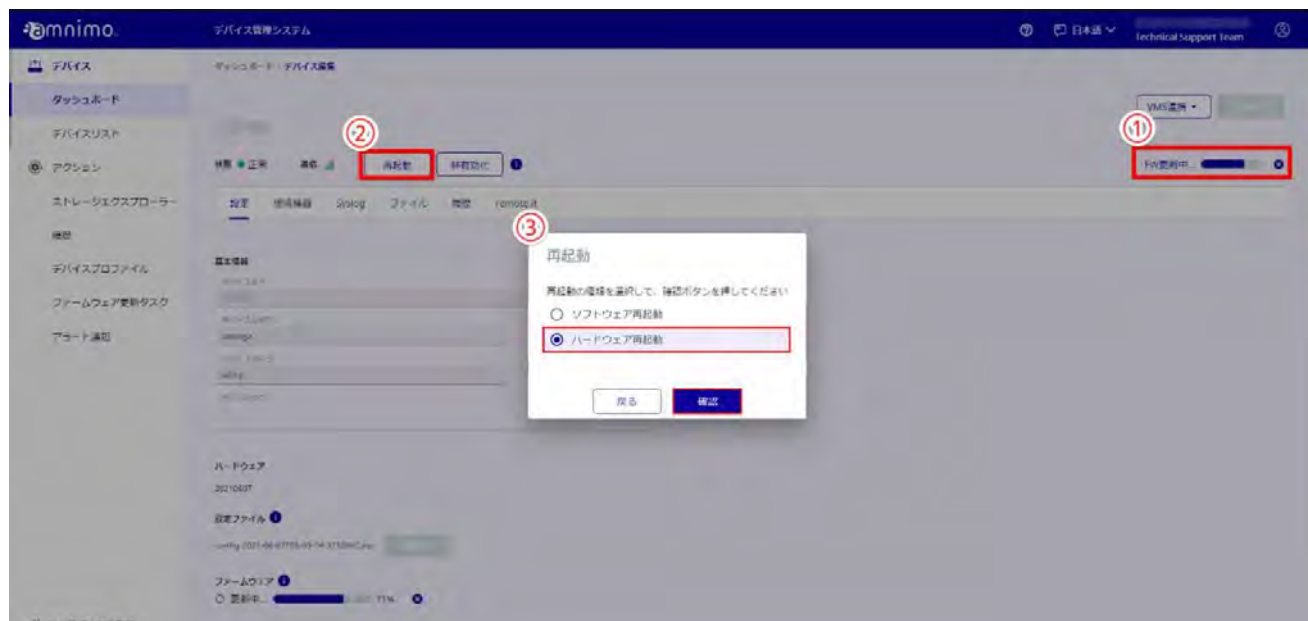
強制再起動の手順

1 ファームウェアの更新状態を確認します。

ファームウェアが更新中のまま進まないことを確認します。(図①)

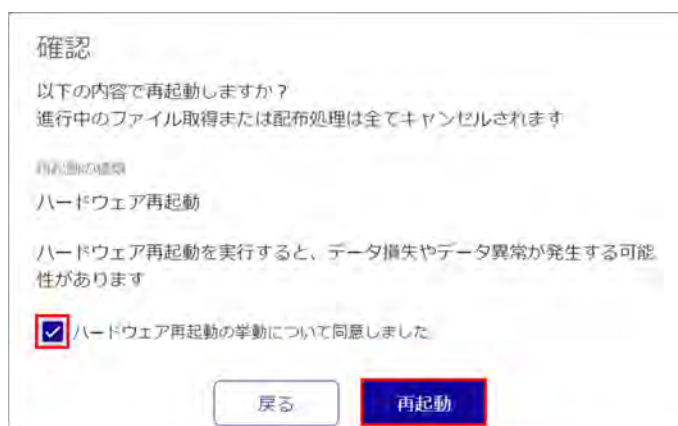
[再起動]をクリックします。(図②)

[ハードウェア再起動]を選択し、[確認]をクリックします。(図③)



2 ハードウェア再起動を実施します。

“ハードウェア再起動の挙動について同意しました” にチェックを入れ、[再起動]をクリックします。



3 再度、ファームウェアの更新を実行します。